

令和 7 年 度
教 育 要 覧

座間市教育委員会

座間市民憲章

私たち座間市民は、めぐまれた自然と、文化や伝統を誇りとし、明るい街づくりのために、全ての英知をそそぐことを誓って、この憲章を定めます。

- 1 清らかな空と水、緑あふれる郷土を誇りとします。
- 1 いのちを大切に、健やかな日々のために、力をわかちあいます。
- 1 仕事を生きがいとし、活力ある街をつくりまします。
- 1 学びあい、心をみがき、豊かな文化をきずきます。
- 1 思いやり、はげましあい、心と心の輪をひろげます。

制定年月日 昭和56年11月1日

座間市教育大綱

基本理念 座間市で育ち座間市を愛する人づくり

基本目標 (1) 未来を拓く子どもづくり
(2) 生涯に渡り健やかで活気あふれる人づくり

施策の方向 (1) 思いやりと規範意識を育む豊かな心の育成
(2) 書く力の向上を中心とする新しい時代に必要な力の育成
(3) 健やかな体の育成
(4) 情報化・グローバル化社会に対応できる資質・能力の育成
(5) 体験をとおして生き方を学ぶ教育の推進
(6) 地域とともに取り組む教育活動の推進
(7) 生涯学習の推進・文化芸術の振興・歴史と伝統の継承
(8) スポーツをとoshた生きがいのある生活の推進
(9) すべての人が楽しく子育てできる環境の整備
(10) 教育の出発点である家庭教育への支援

制定年月 令和5年4月

目 次

I 座間市の概要

沿革	1～5
地勢・位置	6
市章・シンボル・国際姉妹都市・友好交流都市	7
人口、世帯、児童生徒数の推移・学校別児童生徒数の推移	8

II 座間市教育大綱

はじめに	9
大綱の位置付け・大綱の期間	10
基本理念	11
基本目標	12
施策の方向	13～15

III 教育委員会

教育委員	16
歴代教育委員	17～20
沿革	21～25
教育委員会事務局機構と事務分掌	26～28
教育費	29～30

IV 学校教育

豊かな心を育むひまわりプラン	31～35
地域連携による学校づくり	36
児童生徒に適した指導・支援	36
国際教育の推進	37
学校教育の目標	37
指導係主要事業計画	38～46
市立学校一覧	47～48
学校施設	49～51
市立小・中学校の沿革	52～90
中学校卒業者の進路状況	91
特別支援教育	92～95
国際教室	96～98
学校保健	99～100
学校給食	101～104

V 教育研究所事業概要

設置目的・運営方針・機構・事業内容・・・・・・・・・・・・・105～110

VI 生涯学習

施設・設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・111～114

VII 令和7年度 事業計画

令和7年度生涯学習関係主要施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・115～117

生涯学習プランと各課事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・118～120

生涯学習事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・121～122

文化事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・122

市史・文化財事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・123

座間市公民館事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・124～125

北地区文化センター事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・126～127

東地区文化センター事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・128～129

青少年健全育成事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・130～131

スポーツ・レクリエーション事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・132～133

図書館事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・134～135

VIII 令和6年度 事業実績

生涯学習課

社会教育委員会議の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・136～140

成人・家庭教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・141～151

ざま生涯学習宅配便（出前講座）事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・152

学習情報提供刊行物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・152

座間市民活動サポートセンターとの連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・153

相互提案型協働事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・153

文化振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・155～160

文化財保護委員会・文化財調査員の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・161

文化財保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・162～169

市史編さん・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・170

座間市立公民館運営審議会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・171

座間市公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・172～186

北地区文化センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・187～200

東地区文化センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・201～211

こども育成課・こども家庭課

青少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・212～228

青少年センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・229～234

スポーツ課

社会体育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・235～238

社会体育関係団体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・239

社会体育施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・239

市立スポーツ施設開放・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・240～242

学校体育施設開放・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・243

図書館

図書館事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・244～254

視聴覚ライブラリー・・・・・・・・・・255

IX 参考資料

生涯学習等関係委員名簿・・・・・・・・・・256～260

I 座 間 市 の 概 要

1 沿革

奈良時代	続日本書紀宝亀2年の頃に旧東海道の「相模国夷参駅」として記載。
平安時代	倭名抄高座郡郷名の中に伊参郷として記載。星谷観音堂を創建。
鎌倉時代	渋谷庄座間郷と称せられ渋谷内膳重国が所領。星谷寺梵鐘佐々木信綱より寄進。
室町時代	応永3年足利氏満寄進状に「座間郷」として記載。上杉定正座間郷が所領。
戦国時代	天文年間北条高家が所領。
安土・桃山時代	北条氏照星谷寺観音堂造作料を寄進。天正年間徳川領。
江戸時代	幕府の天領（旗本支配地）。元和3年家康の柩を日光に移す行列が宗仲寺に休息。 万治年間座間村が座間宿村と座間入谷村に分離。 宝永4年富士山が大噴火。寛延2年星谷寺観音堂が現在地に移転。 天保12年頃勝田帯刀、大久保教文（座間宿村）、酒井弥間（入谷村）、太田資統、 山田立長、増田寿春（栗原村）、岡部長玄（新田宿村）、戸田靱負、森川鎌三郎、 高木富太郎（四ツ谷村）がそれぞれ所領。芝原の開拓開始。
	戸数 座間宿村 175 座間入谷村 159 栗原村 170 新田宿村 73 四ツ谷村 40 計 617
	文久2年栗原に郷学校「誠志館」が大矢弥市、大矢弥七兄弟によって設立される。
明治 6年	高座郡が第20大区に管轄。学制発布により、入谷村竜源院に風牛学舎、栗原村に協同学舎が発足。
明治 10年	人口3,786人（1月1日現在）
明治 22年	町村制実施により、新戸村（現相模原市）の飛地と五か村を合併して「座間村」が発足。
明治 28年	日新、真誠、湘川の三学校を統合して尋常高等座間小学校（のちの座間第一小学校現座間小学校）を開設（6月）
明治 33年	鈴木利貞が「幼年会」組織
明治 34年	新田宿が大火
大正 12年	関東大震災が発生（市域のほとんどの家屋が損傷、道路、庭等の地割れ甚だし）（9月）
大正 15年	神中線（現相模鉄道）、相模鉄道（現JR相模線）が一部開通。
昭和 2年	小田急小田原線が全線開通（4月）
昭和 6年	相模鉄道（現JR相模線）が全線開通。
昭和 12年	陸軍士官学校市ヶ谷より移設（9月）座間村が座間町に町制施行（12月）
昭和 16年	座間・上溝の二町、相原・麻溝・新磯・大沢・大野・田名の六ヶ村が合併して相模原町として町制施行。
昭和 20年	終戦により陸軍士官学校が閉鎖され、引き続き駐留軍が使用し、現在、在日米陸軍司令部が設置（9月）
昭和 22年	新制座間中学校が開校（5月）
昭和 23年	相模原町から分町し、座間町が発足。人口12,032人（9月）
昭和 25年	座間第二小学校（現栗原小学校）が開校（5月）
昭和 27年	市章を一般公募し、町議会全員協議会で決定（8月）
昭和 29年	座間町公民館が開館（11月）
昭和 30年	町営水道給水を開始（1月）
昭和 37年	座間第三小学校（現相模野小学校）が開校（4月）立野台プールが開設（8月）

昭 和	3 9 年	座間公園プールが開設（7月）
昭 和	4 1 年	座間町青少年問題協議会が発足（4月）
昭 和	4 2 年	西中学校が開校（4月） 広野プールが開設（7月）
昭 和	4 3 年	座間町文化福祉会館が開館
昭 和	4 4 年	町の花「ひまわり」と決定（1月） 東原プールが開設（8月） 町の人口5万人を突破（9月）
昭 和	4 5 年	「梨の木坂古墳」を発掘（1月） 相武台東小学校が開校（4月） 座間市消防庁舎落成（12月）
昭 和	4 6 年	ひばりが丘小学校が開校（4月） 市制を施行し座間市誕生（11月） 人口62,740人
昭 和	4 7 年	東中学校が開校（4月） 県立座間高校が開校（4月）
昭 和	4 8 年	公共下水道事業を開始（3月） 東原小学校が開校（4月）
昭 和	4 9 年	県道相武台入谷バイパスが全線開通・市民福祉憲章を制定（9月）
昭 和	5 0 年	県立座間青少年会館が開館（1月） 鳩川プールが開設（8月）
昭 和	5 1 年	相模が丘小学校が開校（4月） 歴史民族資料館が開館（5月） 相武台プール・ひばりが丘プールが開設（8月） 座間警察署が開署（11月）
昭 和	5 2 年	富士山公園に子どもの森が開設（3月） 立野台小学校・栗原中学校が開校（4月） 北地区文化センターが開館（4月）
昭 和	5 3 年	入谷小学校が開校（4月） 市立図書館が開館（6月）
昭 和	5 4 年	総合通園センター サンホープが開園（1月） 相模中学校が開校（4月） 栗原プールが開設（7月） 国際児童年記念タイムカプセル埋設（11月）
昭 和	5 5 年	旭小学校が開校（4月） 市の木モクセイと決定・新田宿グラウンドが開設（4月） 国勢調査実施（人口93,503人）（10月） 市民球場が相模が丘に開設（11月）
昭 和	5 6 年	東地区文化センターが開館（4月） 県立栗原高校が開校（4月） 市民憲章を制定・市制施行10周年記念式典を実施（10月）
昭 和	5 7 年	相模が丘プールが開設（7月）
昭 和	5 8 年	心身障害者訓練施設「もくせい園」が開設（4月） 図書館新館が開館（4月） 入谷プールが開設（4月）
昭 和	5 9 年	中原小学校が開校（4月） 第1回座間市民健康マラソンを開催（11月）
昭 和	6 0 年	旭プールが開設（3月） 相模川グラウンドが開設（4月） 国勢調査実施（人口100,000人）（10月）
昭 和	6 1 年	南中学校が開校（4月） かこが沢公園開園（4月） 市制15周年（11月） 第1回市民ふるさとまつりを開催（11月）
昭 和	6 2 年	核づくり事業がスタート（1月） 県立ひばりが丘高校が開校（4月） 市内初ドーム付全天候型プールとして中原プールが開設（4月） 特別養護老人ホーム「栗原ホーム」が開所（5月）
昭 和	6 3 年	東原さくら公園が開園（4月） 中学校にパソコン教室を設置（6月） 市民球場に夜間照明を設置（8月） 原水爆禁止協議会が平和祈念のモニュメントを設置（9月）
平 成	元 年	「生きがいセンター」がオープン（4月） 芹沢公園が開園（4月） 栗原中学校校庭に夜間照明を設置（11月）
平 成	2 年	立野台コミュニティセンターが開館（4月）

		東中学校校庭に夜間照明を設置（１０月）
平成	３年	第三次座間市総合計画がスタート（４月）清川自然の村がオープン（８月） アメリカ合衆国テネシー州スマーナ市と姉妹都市を提携（１１月）
平成	４年	小学校で生涯学習施設として教室を開放（４月） 小松原コミュニティセンターが開館（４月）学校週五日制月１回スタート（９月）
平成	５年	東原コミュニティセンターが開館（９月）
平成	６年	学校週五日制月２回実施を開始（４月）市民体育館が竣工（１０月）
平成	７年	学習検査から学習状況調査の改変実施（３月）市庁舎・市民文化会館竣工（８月）
平成	８年	市民健康センターが竣工（８月）相模が丘コミュニティセンター開館（１１月）
平成	９年	青少年センターが開館（県立座間青少年会館が県より市に移譲）（４月） 相武台コミュニティセンターが開館（１０月）
平成	１０年	第５３回国民体育大会かながわゆめ国体秋期大会 （バレーボール青年男女２部９人制）開催（１０月）
平成	１１年	座間中学校新体育館が竣工（３月） 特別養護老人ホーム「ベルホーム」が開所（５月） 県道藤沢・座間・厚木線「栗原巡礼大橋」が開通（８月）
平成	１２年	「座間市情報公開条例」、「座間市個人情報保護条例」が施行（２月）
平成	１３年	戸籍事務にコンピュータ導入（２月） 市制施行３０周年記念事業「春巡業大相撲座間場所」を開催（４月） 総合福祉センター（サニープレイス座間）がオープン（４月） 市制施行３０周年記念事業「ざま子ども市議会２１」を開催（８月） 市制施行３０周年記念式典を開催、市民の歌「WE LOVE ZAMA!」が誕生 （１０月） 第１子育て支援センター「ざまりんのおうち ゆめ」開所（１０月） ＩＳＯ１４００１（環境マネジメントシステム）の認証取得（１１月）
平成	１４年	座間市総合防災情報システムを導入（１月） 座間市行政評価システムを導入（４月） 「住民基本台帳ネットワークシステム」がスタート（８月） ファミリーサポート事業を開始（１０月） 「ざま生涯学習宅配便」がスタート（１１月）
平成	１５年	座間市地下水保全基本計画を策定（４月） 県道藤沢・座間・厚木線座間跨線橋が開通（６月） 谷戸山公園パークセンターが開設（６月）図書館蔵書検索システム導入（７月） ひばりが丘コミュニティセンターが開館（１１月）
平成	１６年	リサイクルプラザ（東原）がオープン（６月） 第２子育て支援センター「ざまりんのおうち ひまわり」開所（７月） ＩＳＯ１４００１（環境マネジメントシステム）認証を更新 公的機関にも拡大適用（１１月）市水道事業５０周年記念式典を実施（１１月） コミュニティバス運行を開始（１１月）
平成	１７年	生涯学習活動サポートセンターがオープン（１０月） 座間市子ども読書活動推進計画を策定（１１月）
平成	１８年	土曜開庁実施（４月）「ざま生涯学習宅配便」新メニュー集を刊行（７月）
平成	１９年	座間市協働まちづくり条例を制定（３月）

	全国学力・学習状況調査を実施（４月）座間市障害福祉計画を策定（４月）
	座間市緊急情報メール配信サービスを開始（９月）
	座間市民オペラ「けやき姫」を上演（１１月）座間市観光協会を設立（１１月）
平成 20年	後期高齢者医療制度スタート（４月）座間市景観条例を制定（４月）
	市民生活サポートセンターを開設（９月）
平成 21年	栗原コミュニティセンターが開館（１２月）
	県立栗原高等学校と県立ひばりが丘高等学校が統合のため３月に閉校となり、栗原高等学校跡地に県立座間総合高校が開校（４月）
平成 22年	座間中学校新１号棟改築工事完了（３月）子育て情報誌「ざまっぷ」発行（８月）
	神奈川県・座間市合同総合防災訓練実施（８月）
	県立ひばりが丘高等学校跡地に県立相模向陽館高校が開校（４月）
平成 23年	住民票の写し・印鑑登録証明書のコンビニ交付サービス開始（３月）
	第四次座間市総合計画がスタート（４月）
	市制施行40周年記念式典を開催（１１月）
	座間市マスコットキャラクター「ざまりん」誕生（１１月）
平成 24年	市こころの相談支援センター「noued（ヌー）」を新設（４月）
	こころの体温計（メンタルヘルスチェックシステム）のサービス開始（６月）
	座間市原水爆禁止協議会設立55周年・座間市核兵器廃絶平和都市宣言30周年記念事業を開催（８月）
	市民健康センター休日急患センターにて庵政三胸像除幕式実施（８月）
	市総合防災訓練における在日米陸軍との連携訓練の実施（９月）
	市消防と陸上自衛隊が合同野営施設訓練を実施（１１月）
平成 25年	座間市いっせい防災行動訓練「ShakeOut 2013 in ZAMA」実施（１月）
	福島県須賀川市と友好交流都市協定を締結（１１月）
平成 26年	本市初の座間市民栄誉賞をボクシングWBC世界ライトフライ級王座、井上尚弥氏に授与（５月）
	座間総合病院着工（１１月）
	市消防団第3分団が第24回全国消防操法大会準優勝（１１月）
平成 27年	秋田県大仙市と友好交流都市協定締結（３月）
	ご当地ナンバープレート交付開始（４月）
	「チャレンジデーZAMA2015」開催（５月）
	第3子育て支援センター「ざまりんのおうち かがやき」開所（６月）
	第20回国勢調査を実施（１０月）
平成 28年	座間総合病院開院（４月）中原児童ホーム開設（４月）
平成 30年	座間市新消防庁舎落成（２月）上下水道局庁舎開庁（４月）
	「ネウボラざまりん」開所（８月）
	芹沢公園に台湾少年工顕彰碑を建立（１０月）
	鳩川プール廃止（３月）
平成 31年	「高座クリーンセンター」開設（４月）
	第2子育て支援センター「ざまりんのおうち ひまわり」移転（４月）
令和 元年	市民交流プラザ「プラっとぞま」開所（１２月）
令和 3年	市制施行50周年記念式典を開催（１１月）
令和 4年	座間市ゼロカーボンシティを宣言（２月）

		スカイグリーンパークが開園（４月）
令 和	５年	第五次座間市総合計画ーざま未来プランー開始（４月）
		市立中学校に新しい標準服を導入（４月）
		座間市民栄誉賞をボクシングＷＢＡ世界バンタム級王座、井上拓真選手に授与（５月）
		栗原プール廃止（１０月）
令 和	６年	表裏型顔面把手が市指定重要文化財（考古資料）に指定（５月）
令 和	７年	青少年センター閉館（３月）

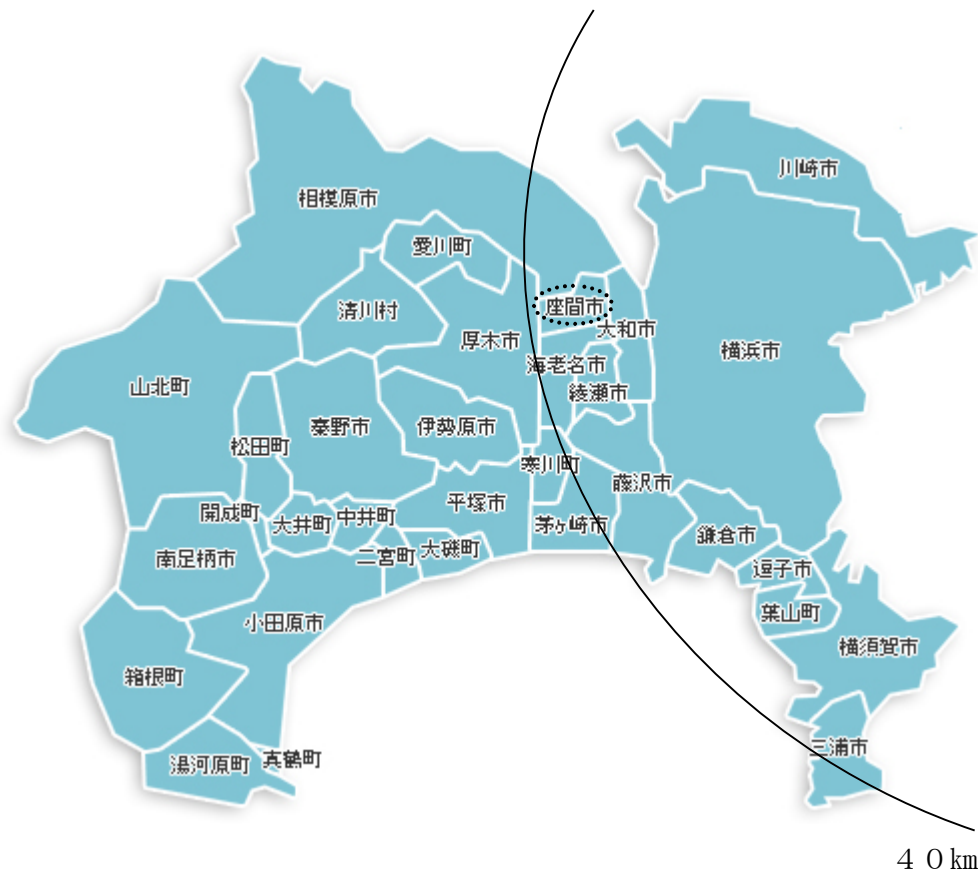
2 地勢・位置

座間市は、東京から南西へ約40キロメートル圏内、横浜から西へ約20キロメートルのところにあり、神奈川県ほぼ中央に位置しています。

市の面積は17.57平方キロメートルで、東西に約5.3キロメートル、南北に約4.0キロメートルの広がりを持ち、中央部を南北に縦断する座間丘陵を境として東部が相模野台地が、西部には相模川沖積低地と大きく地形が分かれ、中央部を目久尻川、西部を相模川が流れており、起伏に富んだ地形を構成しており、このため坂や段丘が多く、地域ごとに特色のある街なみが広がっています。

【地 勢】

面 積 (K㎡)	広 が り (Km)		海 抜 (m)		
	東 西	南 北	市役所	最 高	最 低
17.57	5.3	4.0	78.5	88.74	24.29



【位 置】

地 名	経 度	緯 度
市役所 (緑ヶ丘一丁目1番1号)	139° 24' 27"	35° 29' 19"

3 市章・シンボル・国際姉妹都市・友好交流都市



市章（制定 昭和27年8月13日）

座間市の「ザマ」を図案化したもので円形は市の融和と団結をあらわし、翼は市勢の飛躍発展を象徴しています。



市の花「ヒマワリ」（制定 昭和44年1月16日）

ヒマワリの枝葉の深緑は、たくましく発展を続ける市を、また大輪の花は、市民の皆さんが手を結び合い、明るく健康なまちづくりを目指す姿を象徴しています。



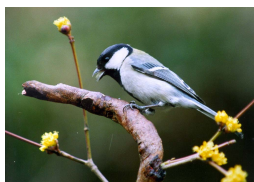
市の木「モクセイ」（制定 昭和55年4月1日）

みんなで樹木を守り育て、緑あふれるまちづくりをさらに進めようと、市民の皆さんが選んだ木です。



市のシンボルマーク（制定 平成3年4月1日）

座間の頭文字「Z」をモチーフに、中央のラインは市内を流れる三つの川（相模川・鳩川・目久尻川）を、だ円は太陽と豊かな自然を表したものです。



市の鳥「シジュウカラ」（制定 平成3年4月1日）

みんなで自然を大切に、鳥獣保護思想の普及・啓発を図るため、自然保護のシンボルとして市民の皆さんが選んだ鳥です。

市のカラー「みどり（ビビッドグリーン）」（制定 平成3年4月1日）

心にやすらぎと希望を与えてくれる、生き生きとした緑は郷土座間市を象徴する色として、市民の皆さんが選んだものです。

姉妹都市

アメリカ合衆国テネシー州スマーナ市
（平成3年11月1日提携調印）

友好交流都市

福島県須賀川市
（平成25年11月10日締結）
秋田県大仙市
（平成27年3月21日締結）

4 人口、世帯、児童・生徒数の推移

(各年5月1日現在)

年次	人口	世帯数	児童数	生徒数	児童・生徒数合計
令和2年	130,624	59,609	6,229	3,024	9,253
令和3年	130,680	60,247	6,152	3,071	9,223
令和4年	131,903	60,954	6,119	3,050	9,169
令和5年	132,028	61,789	5,961	3,101	9,062
令和6年	131,826	62,407	5,933	3,050	8,983
令和7年	131,969	63,211	5,850	3,030	8,880

学校別児童・生徒数の推移

(各年5月1日現在)

学校名	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
座間小	780	794	800	792	773	801
栗原小	666	658	687	649	650	638
相模野小	526	495	463	418	386	371
相武台東小	621	622	611	606	615	611
ひばりが丘小	377	362	346	351	347	327
東原小	571	555	548	533	507	500
相模が丘小	575	569	575	577	559	546
立野台小	708	710	694	680	668	664
入谷小	476	462	470	425	455	440
旭小	489	489	475	478	496	472
中原小	440	436	450	452	477	480
小計	6,229	6,152	6,119	5,961	5,933	5,850
座間中	542	521	539	543	549	515
西中	546	564	553	595	589	572
東中	596	578	567	542	530	517
栗原中	408	466	462	471	450	470
相模中	554	550	540	540	520	539
南中	378	392	389	410	412	417
小計	3,024	3,071	3,050	3,101	3,050	3,030
合計	9,253	9,223	9,169	9,062	8,983	8,880

Ⅱ 座 間 市 教 育 大 綱

1.はじめに

今日、人口減少・少子高齢化の本格的進行、地域コミュニティの希薄化、情報化・グローバル化の進展に加え、超スマート社会（Society5.0）の実現に向けた技術革新や持続可能な社会の実現に向けた国際目標であるSDGsへの対応など、社会を取り巻く環境は大きく変化しています。それらを受け、すべての年代のライフスタイルが刻々と変化している現在、新たな視点、柔軟な発想、様々な変化への対応力をもった、これから先の時代を見据えたまちづくりが求められています。

このような社会情勢等の変化を踏まえ、本市では令和5年4月からまちづくりの指針となる「第五次座間市総合計画—ざま未来プラン—」に掲げるまちの姿「ひと・まちが輝き 未来へつなぐ」の実現に向け、学校、家庭、地域、行政が一体となって連携・協働を図りながら、教育施策の推進に努めていきます。

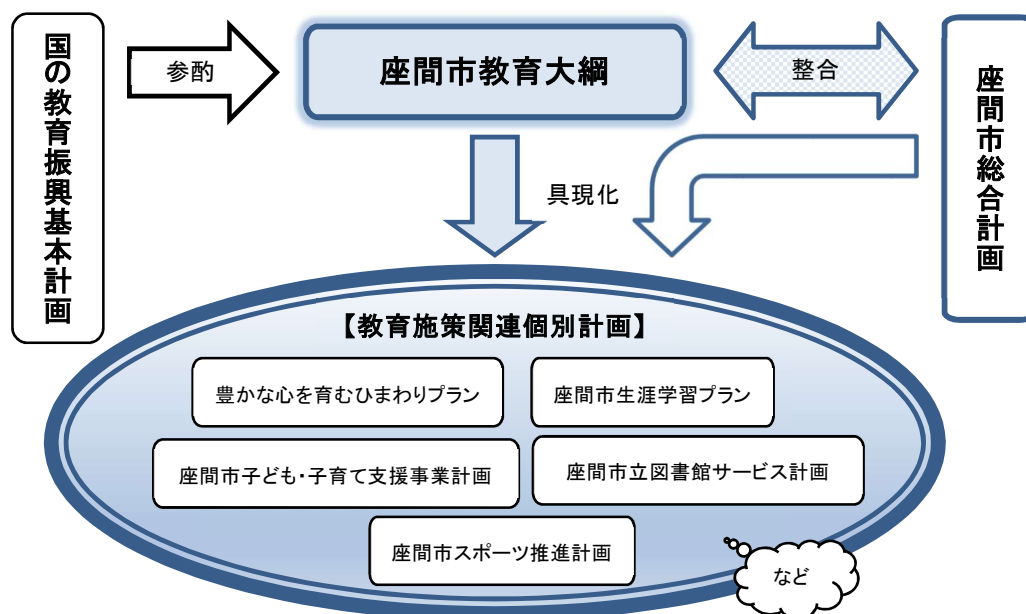
平成26年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、地方公共団体の長は、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされました。これを受け、本市では「座間市総合教育会議」において協議、調整し「座間市教育大綱（以下「大綱」という。）」を策定しました。

今回、令和元年度に改訂した第2期の大綱の計画期間が令和4年度で終了することから、社会情勢等の変化による新たな視点や課題などへ対応すべく、令和5年度から令和8年度までを計画期間とした、第3期の大綱を策定するものです。

2.大綱の位置付け

この大綱は、本市の教育行政を推進するための基本指針となるもので、本市の最上位計画である総合計画の基本構想に定める将来目標の達成に向け、教育分野の基本理念、基本目標及び今後取り組むべき施策の方向を示すものです。

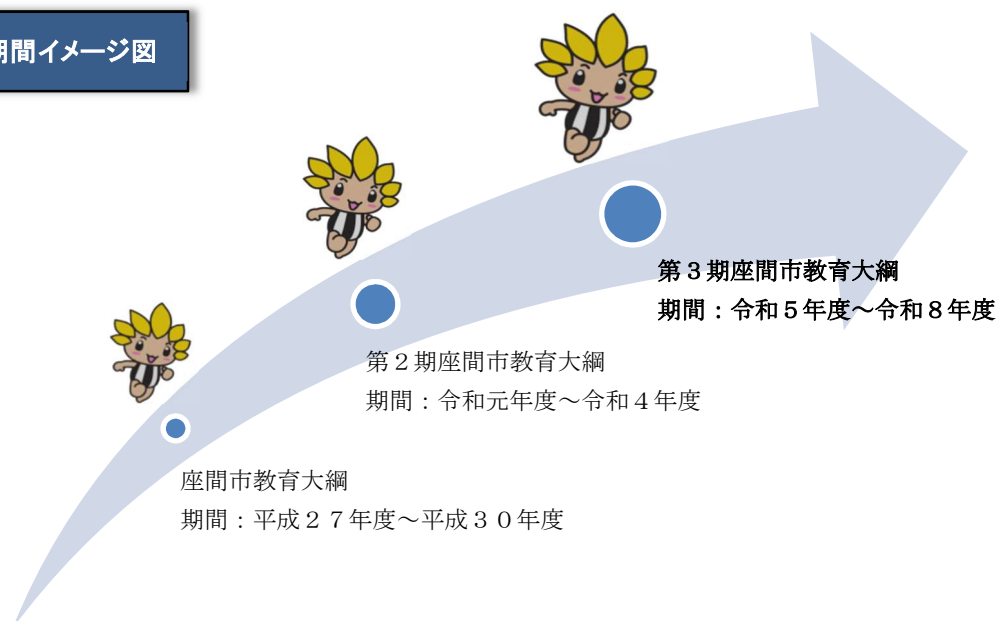
大綱の位置付けイメージ図



3.大綱の期間

第3期の大綱の期間は、令和5年度から令和8年度までの4年間とします。
ただし、今後の社会情勢等の変化を踏まえて、必要に応じて見直しを行います。

大綱の期間イメージ図



4.基本理念

座間市で育ち座間市を愛する人づくり

- 本市では、安全で安心できる居住環境の中で市民が集い、憩うことのできるまちづくりを進めています。
その「まちづくり」には「人づくり」が欠かせないことから、学校、家庭、地域での生涯に渡る教育が果たす役割は極めて大きいものがあります。
- 本市には、東部に相模原台地、西部に相模川の沖積低地が広がり、さらに、中央に目久尻川が流れ、坂や段丘が多く、地域ごとに特色のある景観や長年に渡って培われてきた伝統文化があります。
その中で、地域ごとに、子どもから大人までみんなが協力しあって子どもを育てる本市固有の取組であった「幼年会」の精神が現在に受け継がれてきました。
- このような特性を生かし、学校教育や生涯学習において「豊かな心」と「生きる力」を育み、大きく変化しつつある社会に対応できる「人づくり」を、市全体で連携して進めていくことが必要です。
- 座間市で学び育つ「ざまっ子」をはじめとした市民の誰もが、ふるさと座間の自然や歴史、文化に触れて、まちへの愛着を育み、共生社会の一員として協働しながら、社会の発展に貢献することで生きがいを感じられる「人づくり」を目指していきます。
そして、様々な災害に対応可能な危機管理体制を高めることにより、市民（住民、団体、企業など）が、生涯に渡って座間市に住み続けたいと思う安全・安心なまちづくりを目指していきます。

5.基本目標

基本理念を実現するため、二つの基本目標を掲げて教育と文化の振興を図ります。

(1) 未来を拓くざまっ子づくり

- 学校、家庭、地域、行政など、社会全体が連携して、豊かな心、確かな学力、健やかな体を育み、座間の子どもたち（ざまっ子）一人一人が個性を生かしてより良く生きることができるような「人づくり」に努めます。
- これからの情報化・グローバル化社会に対応し、学校における情報教育、外国語教育、国際理解教育を充実し、グローバルな視野で活躍するために必要な資質・能力を高めます。
- ざまっ子を育てる学校においては、特に地域との連携の下、安全・防災教育の充実を図り、行政においても学校と地域が連携する防災教育を推進するとともに、市民の生涯に渡る危機管理及び緊急時の対応力を高めます。

(2) 生涯に渡り健やかで活気あふれる人づくり

- 市は、市民一人一人が、生涯に渡って健康で豊かな生活が送れるよう、学習、スポーツ、読書及び芸術鑑賞の機会と場を提供し、同時に、その経験を生かした文化を創造・発信する環境を整えます。
- 子育て家庭のニーズに応じた幼児期の教育・保育環境の充実を図るとともに、放課後児童対策の充実などにより、子育てを社会全体で支える取組を進めます。

6.施策の方向

市は、基本目標を達成するため、保育、幼児教育、義務教育、その他の学校教育を経て社会で暮らしていく各ライフステージに応じた「縦の系」と、学校、家庭、地域、行政など、市全体で取り組む「横の系」との連携に留意しつつ、次の10施策を推進します。

(1) 思いやりと規範意識を育む豊かな心の育成

- 学校では、家庭や地域と連携した道徳教育、読書活動、郷土学習をはじめとするすべての教育活動をととして、発達段階に応じたルールや正義を尊ぶ心、自立と社会参加・貢献の心を育みます。
- 相手を思いやる心、平和を愛する心、人の役に立つ奉仕の心、「いのち」を大切に作る心など、豊かな心を育成します。
- 子どもの多様性を尊重し、共生社会の実現に向けインクルーシブ教育の実践に努めます。
- 個々の子どもの実態に応じた丁寧な指導を行うとともに、いじめや不登校などの教育課題の改善に努めます。

(2) 書く力の向上を中心とする新しい時代に必要な力の育成

- 学校では、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの指導方法の工夫や内容の改善に取り組み、学習の基礎・基本を定着させるとともに、実際の社会や生活で生きて働く知識・技能の習得を促す教育活動を推進します。
- 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な、柔軟性のある思考力、的確な判断力、豊かな表現力を育てます。特に、社会生活に必要な、論理的に正しく、明解で、説得力のある文章を書く力の向上に努めます。
- 社会と関わり、より良い人生を送るための学びに向かう力や人間性を育む教育活動を推進します。

(3) 健やかな体の育成

- 学校では、安全・防災教育、健康教育及び食育を推進します。
- 体育・保健体育の授業や、部活動等で日常的にスポーツに取り組み、生涯に渡ってスポーツに親しむとともに体力の向上を図ります。

(4) 情報化・グローバル化社会に対応できる資質・能力の育成

- 学校では、情報教育をととして子どもたちの情報活用能力の育成を図るとともに、情報モラル教育を推進し、情報化社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度が身につくように努めます。
- 外国語教育や国際理解教育をととして異なる言語や文化に触れるとともに、姉妹都市交流などの機会を活用してグローバルな視野を身につけ、世界の人々とコミュニケーションを図ることができる力を育てます。

(5) 体験をととして生き方を学ぶ教育の推進

- 学校では、小・中学校をととして、児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通せる教育を行い、進路指導の充実を図ります。
- 地域や企業などと連携し、発達段階に応じた体験学習に取り組み、変化の激しい社会で適性を活かして職業を選択できるよう実効性のあるキャリア教育の推進に努めます。
- 人生100年時代を見据え、若者から高齢者まで多様な世代が生涯を通じて自ら設計し、学び続け、学んだことを活かして活躍できる環境の推進に努めます。

(6) 地域とともに取り組む教育活動の推進

- 学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組むコミュニティ・スクールをととして、「地域とともにある学校づくり」の推進に努めます。
- 学校では、先人の知恵や体験の伝承、地域社会活動への子どもの参加、開かれた学校づくりなど、地域とともに取り組む教育活動の推進に努めます。
- 学校運営の安全・安心を確保するため、迅速かつ適切な対応が取れるよう危機管理力を向上させ、日頃から情報提供などによる家庭や地域との連携に努めます。

(7) 生涯学習の推進・文化芸術の振興・歴史と伝統の継承

- 市民の誰もが、自主的・自発的に学習、読書、文化芸術などの活動に参加できる機会の充実を図るとともに、特色ある文化を創造・発信できる環境をつくれます。
- 生涯学習の成果を地域コミュニティによるまちづくり活動に活かすことができる環境をつくれます。
- 図書館の機能の充実を図り、生涯に渡る学びを支える知の拠点として、市民ニーズに対応した情報の提供に努めます。
- 文化財の保護と積極的な活用、伝統文化の継承により、郷土愛の醸成を図ります。

(8) スポーツをとoshita生きがいのある生活の推進

- 市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に運動・スポーツに親しめる環境づくりを推進します。
- 生涯スポーツの普及を推進し、運動習慣の定着及び健康・体力づくりへの意識向上を図ります。

(9) すべての人が楽しく子育てできる環境の整備

- 市は、幼稚園や保育園などの環境整備、相談体制の充実、地域による子育て支援、放課後児童対策などを一体的に行い、すべての人が安心して子育てできる環境を整備します。

(10) 教育の出発点である家庭教育への支援

- 「豊かな心」と「生きる力」の基礎的な資質や能力は、多くの場合、家庭を基盤とする家族の絆や触れ合いにより育まれます。
家庭教育が教育の出発点であると捉え、学校や地域と連携しながら、家庭教育の充実に必要な取組について支援します。

Ⅲ 教 育 委 員 会

1. 教育委員

(令和7年5月現在)

職 名	氏 名	住 所
教育長	木 島 弘	座間市入谷西二丁目
教育長職務代理者	北 村 美奈子	座間市入谷東二丁目
委員	有 山 周 一	座間市入谷西二丁目
委員	馬 場 悠 男	座間市入谷東四丁目
委員	升 水 由 希	座間市栗原中央一丁目

2. 歴代教育委員

年 月	委 員 長	副委員長	委 員	委 員	委 員	教 育 長
昭和27年11月	平野 諒栄	中田 邦三	中戸川 操	本多 愛男	小泉 繁	小泉 豊治
昭和28年 3月	平野 諒栄	中田 邦三	石井 昌国	本多 愛男	小泉 繁	小泉 豊治
昭和28年 4月	平野 諒栄	中田 邦三	石井 昌国	本多 愛男	小泉 繁	大矢 喜三郎
昭和28年11月	中田 邦三	小泉 繁	平野 諒栄	石井 昌国	石井 昌国	大矢 喜三郎
昭和29年11月	小泉 繁	本多 愛男	平野 諒栄	石井 昌国	中田 邦三	大矢 喜三郎
昭和30年 4月	平野 諒栄	本多 愛男	石井 昌国	中田 邦三	小泉 繁	大矢 喜三郎

＊ 昭和31年6月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行により、委員1名減となる。

年 月	委 員 長	委員長職務代理者	委 員	委 員	委 員	教 育 長
昭和31年10月	稲垣 光晴	本多 愛男	山本 亀三	波多野 修		大矢 雄次
昭和32年10月	稲垣 光晴	山本 亀三	斉藤 隆寿	波多野 修		大矢 雄次
昭和33年10月	稲垣 光晴	山本 亀三	斉藤 隆寿	本多 愛男		大矢 雄次
昭和33年11月	山本 亀三	稲垣 光晴	斉藤 隆寿	本多 愛男		大矢 雄次
昭和35年 9月	斉藤 隆寿	稲垣 光晴	山本 亀三	本多 愛男		大矢 雄次
昭和35年10月	斉藤 隆寿	本多 愛男	鈴木 英夫	大矢 雄次		
昭和35年11月	斉藤 隆寿	本多 愛男	鈴木 英夫	大矢 雄次		小泉 豊治
昭和36年 9月	本多 愛男	大矢 雄次	鈴木 英夫	斉藤 隆寿		小泉 豊治
昭和36年10月	本多 愛男	大矢 雄次	鈴木 英夫	平野 仁司		小泉 豊治
昭和37年10月	大矢 雄次	本多 愛男	鈴木 英夫	平野 仁司		小泉 豊治
昭和38年10月	鈴木 英夫	本多 愛男	平野 仁司	大矢 雄次		小泉 豊治
昭和39年 8月	鈴木 英夫	平野 仁司	長谷川 泰雄	大矢 雄次		小泉 豊治
昭和40年10月	鈴木 英夫	大矢 雄次	平野 仁司	長谷川 泰雄		小泉 豊治
昭和42年 3月	鈴木 英夫	長谷川 泰雄	平野 仁司			小泉 豊治
昭和42年 5月	鈴木 英夫	長谷川 泰雄	平野 仁司	大木 進		小泉 豊治
昭和43年10月		長谷川 泰雄	平野 仁司	大木 進		小泉 豊治
昭和43年11月		大木 進	青木 久二	平野 仁司	馬場 菊江	長谷川 泰雄
昭和43年11月	大木 進	平野 仁司	青木 久二	馬場 菊江		長谷川 泰雄
昭和44年11月	大木 進	若林 則	青木 久二	馬場 菊江		長谷川 泰雄
昭和46年10月	若林 則	大木 進	青木 久二	馬場 菊江		長谷川 泰雄

年 月	委 員 長	委員長職務代理者	委 員	委 員	委 員	教 育 長
昭和47年 8月	若林 則		青木 久二	馬場 菊江		長谷川 泰雄
昭和47年10月	若林 則		青木 久二	馬場 菊江	大澤 清	長谷川 泰雄
昭和47年11月	若林 則		山本 次郎	馬場 菊江	大澤 清	長谷川 泰雄
昭和47年11月	若林 則	大澤 清	山本 次郎	遠藤 仙三		長谷川 泰雄
昭和49年11月	若林 則	大澤 清	山本 次郎	遠藤 仙三	加藤 武勇	
昭和49年12月	若林 則	大澤 清	山本 次郎	遠藤 仙三		加藤 武勇
昭和50年10月	若林 則	遠藤 仙三	山本 次郎	大澤 清		加藤 武勇
昭和51年 7月	若林 則	遠藤 仙三	山本 次郎	大澤 清		
昭和51年10月	若林 則	遠藤 仙三	山本 次郎	大澤 清		曾根 幸雄
昭和51年11月	若林 則	遠藤 仙三	井上 治夫	大澤 清		曾根 幸雄
昭和53年11月	大澤 清	遠藤 仙三	井上 治夫	若林 則		曾根 幸雄
昭和54年11月	遠藤 仙三	井上 治夫	若林 則	大澤 清		曾根 幸雄
昭和54年12月	遠藤 仙三	井上 治夫	若林 則	大矢 妙子		曾根 幸雄
昭和55年 7月	遠藤 仙三	井上 治夫	若林 則	大矢 妙子		
昭和55年 8月	遠藤 仙三	井上 治夫	若林 則	大矢 妙子		野島 正
昭和55年11月	若林 則	大矢 妙子	井上 治夫	遠藤 仙三		野島 正
昭和55年11月	若林 則	大矢 妙子	井上 治夫	武田 幸造		野島 正
昭和56年 7月	若林 則	大矢 妙子	井上 治夫	草薙 雄一		野島 正
昭和56年11月	井上 治夫	草薙 雄一	矢作 庄次郎	大矢 妙子		野島 正
昭和58年 7月	井上 治夫	草薙 雄一	矢作 庄次郎			野島 正
昭和59年 4月	井上 治夫	草薙 雄一	矢作 庄次郎	石川 重利		野島 正
昭和59年 8月	井上 治夫	草薙 雄一	矢作 庄次郎	石川 重利		
昭和59年 9月	井上 治夫	草薙 雄一	矢作 庄次郎	石川 重利		井上 忍
昭和59年11月	草薙 雄一	矢作 庄次郎	金子 恵子	石川 重利		井上 忍
昭和61年11月	石川 重利	矢作 庄次郎	金子 恵子	草薙 雄一		井上 忍
昭和61年12月	石川 重利	矢作 庄次郎	金子 恵子	草薙 雄一		小坂 昭三
昭和63年 4月	矢作 庄次郎	金子 恵子	草薙 雄一	石川 重利		小坂 昭三
昭和63年11月	矢作 庄次郎	金子 恵子	大川 英夫	石川 重利		小坂 昭三
平成 元年11月		金子 恵子	矢作 庄次郎	大川 英夫	石川 重利	小坂 昭三
平成 元年12月	石川 重利	金子 恵子	矢作 庄次郎	大川 英夫		小坂 昭三
平成 2年12月	金子 恵子	矢作 庄次郎	大川 英夫	石川 重利		佐野 淳一
平成 4年 4月	金子 恵子	矢作 庄次郎	大川 英夫	菊田 哲夫		佐野 淳一

年 月	委 員 長	委員長職務代理者	委 員	委 員	委 員	教 育 長
平成 4 年 1 1 月	矢作 庄次郎	大川 英夫	金子 恵子	菊田 哲夫		佐野 淳一
平成 5 年 1 1 月	大川 英夫	菊田 哲夫	金子 恵子	村川 俊彦		佐野 淳一
平成 6 年 1 1 月	菊田 哲夫	金子 恵子	村川 俊彦	大川 英夫		佐野 淳一
平成 7 年 1 1 月	金子 恵子	村川 俊彦	大川 英夫	菊田 哲夫		佐野 淳一
平成 8 年 8 月	金子 恵子	村川 俊彦	菊田 哲夫			佐野 淳一
平成 8 年 1 1 月	菊田 哲夫	村川 俊彦	酒井 繁	佐藤 節子		佐野 淳一
平成 9 年 4 月	菊田 哲夫	村川 俊彦	酒井 繁	佐藤 節子		金子 功雄
平成 9 年 1 1 月	村川 俊彦	酒井 繁	佐藤 節子	菊田 哲夫		金子 功雄
平成 1 0 年 1 1 月	酒井 繁	佐藤 節子	村川 俊彦	菊田 哲夫		金子 功雄
平成 1 1 年 1 1 月	佐藤 節子	菊田 哲夫	酒井 繁	村川 俊彦		金子 功雄
平成 1 2 年 4 月	佐藤 節子	村川 俊彦	酒井 繁	大塚 知子		金子 功雄
平成 1 2 年 1 1 月	村川 俊彦	酒井 繁	佐藤 節子	大塚 知子		金子 功雄
平成 1 3 年 1 1 月	酒井 繁	大塚 知子	片野 一二	佐藤 節子		金子 功雄
平成 1 4 年 1 1 月	大塚 知子	佐藤 節子	酒井 繁	片野 一二		金子 功雄
平成 1 5 年 1 1 月	佐藤 節子	片野 一二	酒井 繁	大塚 知子		金子 功雄
平成 1 6 年 1 1 月	片野 一二	大塚 知子	馬場 悠男	伊藤 恵		金子 功雄
平成 1 7 年 1 1 月	大塚 知子	片野 一二	馬場 悠男	伊藤 恵		金子 功雄
平成 1 8 年 1 1 月	片野 一二	伊藤 恵	大塚 知子	馬場 悠男		金子 功雄
平成 1 8 年 1 2 月	片野 一二	伊藤 恵	大塚 知子	馬場 悠男		金子 槇之輔
平成 1 9 年 1 1 月	伊藤 恵	片野 一二	大塚 知子	馬場 悠男		金子 槇之輔
平成 2 0 年 4 月	伊藤 恵	片野 一二	馬場 悠男	小野田 順子		金子 槇之輔
平成 2 0 年 1 1 月	片野 一二	馬場 悠男	伊藤 恵	小野田 順子		金子 槇之輔
平成 2 1 年 1 1 月	馬場 悠男	小野田 順子	片野 一二	伊藤 恵		金子 槇之輔
平成 2 2 年 1 1 月	小野田 順子	伊藤 恵	馬場 悠男	片野 一二		金子 槇之輔
平成 2 3 年 1 1 月	伊藤 恵	片野 一二	馬場 悠男	小野田 順子		金子 槇之輔
平成 2 3 年 1 2 月	伊藤 恵		馬場 悠男	小野田 順子		金子 槇之輔
平成 2 4 年 1 月	伊藤 恵	馬場 悠男	小野田 順子			金子 槇之輔
平成 2 4 年 4 月	伊藤 恵	馬場 悠男	小野田 順子	滝 久美子		金子 槇之輔
平成 2 4 年 1 1 月	馬場 悠男	小野田 順子	滝 久美子	鈴木 義範		金子 槇之輔
平成 2 5 年 1 1 月	小野田 順子	鈴木 義範	馬場 悠男	滝 久美子		金子 槇之輔
平成 2 6 年 1 1 月	鈴木 義範	滝 久美子	馬場 悠男	小野田 順子		金子 槇之輔
平成 2 7 年 1 1 月	滝 久美子	馬場 悠男	小野田 順子	鈴木 義範		金子 槇之輔

年 月	委 員 長	委員長職務代理者	委 員	委 員	委 員	教 育 長
平成28年 4月	滝 久美子	馬場 悠男	鈴木 義範	小井田 由美子		金子 槇之輔
平成28年11月	馬場 悠男	小井田 由美子	滝 久美子	鈴木 義範		金子 槇之輔
平成29年11月	小井田 由美子	鈴木 義範	天野 久美	馬場 悠男		金子 槇之輔

＊ 平成27年4月施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により、平成30年10月1日から教育委員長職が廃止となる。

年 月	教 育 長	教育長職務代理者	委 員	委 員	委 員
平成30年10月	木島 弘	馬場 悠男	鈴木 義範	小井田 由美子	天野 久美
令和 元年10月	木島 弘	鈴木 義範	天野 久美	小井田 由美子	馬場 悠男
令和 2年10月	木島 弘	天野 久美	小井田 由美子	馬場 悠男	鈴木 義範
令和 3年10月	木島 弘	小井田 由美子	馬場 悠男	鈴木 義範	北村 美奈子
令和 4年10月	木島 弘	馬場 悠男	鈴木 義範	北村 美奈子	有山 周一
令和 5年10月	木島 弘	鈴木 義範	北村 美奈子	有山 周一	馬場 悠男
令和 6年10月	木島 弘	北村 美奈子	有山 周一	馬場 悠男	升水 由希

3. 沿 革

昭和27年	11月	座間町教育委員会発足
昭和29年	11月	児童文化展発足 座間町公民館開館
昭和32年	4月	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」施行 (教育委員会の公選制を廃止し、任命制になる)
昭和37年	4月	座間第三小学校(現相模野小学校)開校
	4月	町営グラウンド竣工
	8月	立野台プール竣工
昭和38年	4月	教科書無償制度発足(学年進行による)
	8月	「少年少女球技大会」加わる(少年野球大会発足 27年8月)
昭和39年	7月	座間公園プール竣工
昭和41年	6月	移動図書館ひまわり号巡回
昭和42年	4月	西中学校開校
	7月	広野プール竣工
昭和44年	8月	東原プール竣工
昭和45年	4月	相武台東小学校開校
昭和46年	4月	ひばりが丘小学校開校
	11月	市制施行 座間市教育委員会と改称
昭和47年	4月	東中学校開校
	4月	県立座間高等学校開校
昭和48年	4月	東原小学校開校
	4月	座間第1、第2、第3小学校名変更
	4月	重度心身障がいひまわり園開園
昭和49年	4月	社会科副読本「私たちの座間」初版発刊
昭和50年	1月	県立座間青少年会館開館
	8月	鳩川プール竣工
昭和51年	4月	相模が丘小学校開校
	4月	言語障害児「ことばの教室」開設
	5月	歴史民族資料館開館
	7月	ひばりが丘プール竣工
	8月	相武台プール竣工
昭和52年	4月	立野台小学校開校
	4月	栗原中学校開校

昭和52年	4月	北地区文化センター開館
	4月	市図書館開館（公民館内に開設）
昭和53年	4月	青少年相談室開設
	4月	入谷小学校開校
昭和54年	4月	相模中学校開校
	4月	教育課程推進校制度発足
	4月	養護学校設置義務化
	4月	座間養護学校開校
	7月	栗原プール竣工
	11月	国際児童年式典
昭和55年	4月	旭小学校開校
	4月	新田宿グラウンド開設
	11月	市民球場開設
	11月	青少年芸術祭発足
昭和56年	4月	体育課、教育研究所開設
	4月	教育相談員制度発足
	4月	県立栗原高等学校開校
	4月	東地区文化センター開館
	7月	中学生の主張コンクール発足
昭和57年	4月	相模が丘プール竣工
昭和58年	4月	入谷プール竣工
	4月	市図書館新築移転
	4月	学校災害見舞金制度発足
昭和59年	4月	中原小学校開校
	9月	会計検査院定数監査
昭和60年	1月	郷土カルタ発刊
	3月	旭プール竣工
	4月	相模川グラウンド開設
	4月	青少年課開設
昭和61年	4月	南中学校開校
	4月	小学校40人学級発足（学年進行による）
昭和62年	4月	県立ひばりが丘高等学校開校
	4月	中原プール竣工
昭和63年	8月	市民球場に夜間照明設置

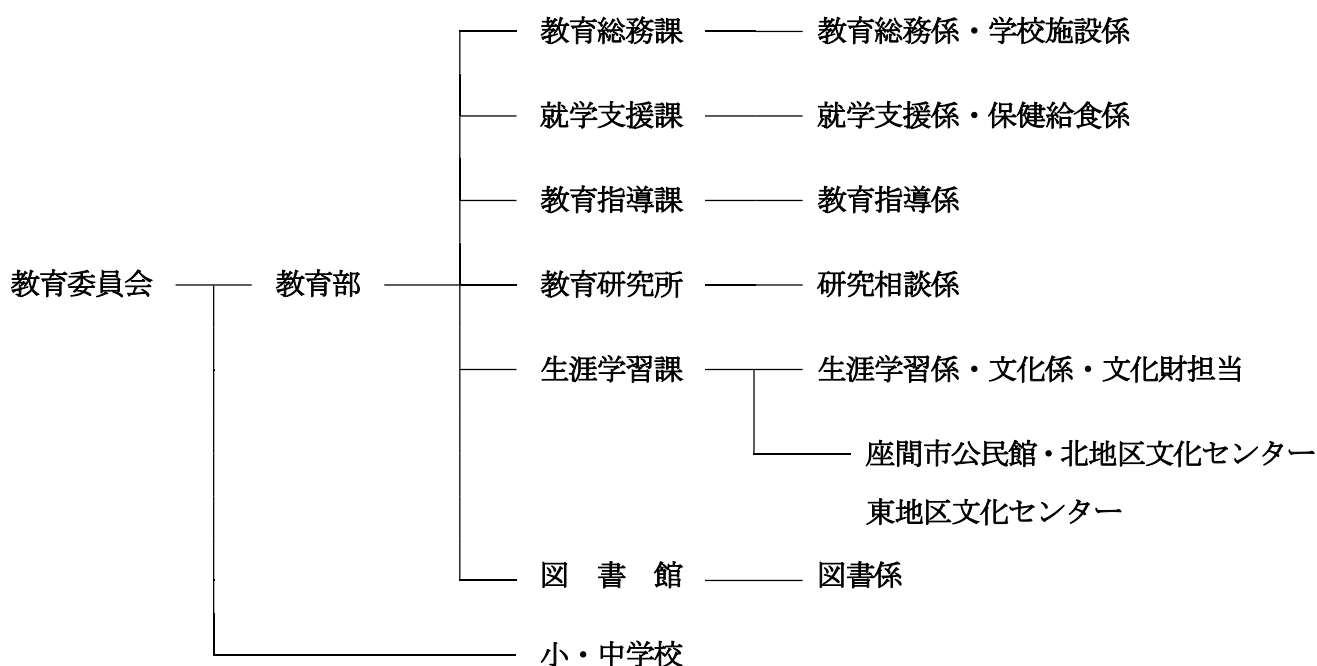
平成	元年	4月	中学校40人学級発足（学年進行による）
		11月	栗原中学校校庭に夜間照明設置
平成	2年	10月	東中学校校庭に夜間照明設置
平成	3年	8月	清川自然の村オープン
平成	4年	4月	小学校学習施設（教室）開放
		4月	障害児介助員制度発足
		9月	学校週五日制月1回スタート
		10月	相模中学校校庭に夜間照明設置
平成	6年	4月	学校週五日制月2回実施の開始
		10月	市民体育館オープン
平成	7年	8月	市教育委員会事務局新庁舎に移転
		8月	市民文化会館オープン
平成	8年	3月	学習状況調査開始（学習検査を改める）
平成	9年	4月	市青少年センター開館
		4月	教育研究所が青少年センターに移転
		4月	適応指導教室「つばさ」が教育研究所内に開設
		9月	西、東、栗原中学校に教育用コンピュータ導入（1校21台）
平成10年		9月	座間、相模、南中学校に教育用コンピュータ導入（1校21台）
平成11年		3月	座間中学校新体育館竣工
平成13年		4月	小・中学校の教科書採択が座間市独自で実施
		11月	市内小学校全校に教育用コンピュータ導入（1校22台）
平成14年		4月	市立小・中学校で学校週5日制を完全実施
平成15年		5月	学校評議員制度実施
		10月	中学校教育用コンピュータ導入更新（1校55台）
平成16年		4月	言語通級指導教室「入谷小学校ことばの教室」開設
平成17年		10月	生涯学習活動サポートセンター開設
平成18年		4月	特別支援教育補助員制度発足
		7月	特別支援教育基本計画策定
		12月	小学校教育用コンピュータ導入更新（1校43台）
平成19年		4月	栗原小学校に「国際教室」を開設
		5月	小・中学校で「レッツトライひまわり環境I昭和O」認定
		6月	市内全中学校と図書館にAED（自動体外式除細動器）を配備
平成20年		4月	東原小学校に「国際教室」を開設
平成20年		11月	中学校教育用コンピュータ導入更新（1校41台）

平成 22 年	3 月	小中学校の普通教室に電子黒板の導入を開始
	3 月	国庫補助金による小・中学校情報通信技術環境整備事業を実施
平成 23 年	3 月	座間中学校新 1 号棟改築工事完成
	3 月	豊かな心を育むひまわりプラン策定
	3 月	座間市生涯学習プラン策定
	4 月	スポーツ課 組織改正により市長部局へ移管
	5 月	小学校全校に学校図書館司書配置
平成 24 年	4 月	旭小学校、ひばりが丘小学校に「国際教室」を開設
	5 月	中学校全校に学校図書館司書配置
	11 月	「椿」（ヤブツバキ）を重要文化財に指定
	3 月	清川自然の村 廃止
平成 25 年	8 月	小学校 3 校（座間小学校、相武台小学校、ひばりが丘小学校）及び中学校 3 校（西中学校、相模中学校、南中学校）にエアコンを賃貸借にて設置
平成 26 年	4 月	中原小学校、東中学校に「国際教室」を開設
	7 月	副読本「郷土の先人に学ぶ」発行
	8 月	小学校 6 校（東原小学校、相模が丘小学校、立野台小学校、入谷小学校、旭小校、中原小学校）及び中学校 3 校（座間中学校、東中学校、栗原中学校）にエアコンを賃貸借にて設置
平成 27 年	6 月	座間市総合教育会議設置
	9 月	中学校給食（選択式）試行実施（東中学校、栗原中学校）
	12 月	座間市いじめ防止基本方針策定
	1 月	座間市教育大綱策定
平成 28 年	4 月	青少年課 組織改正により市長部局へ移管
	4 月	座間小学校、相武台東に「国際教室」を開設
平成 29 年	9 月	中学校給食（選択式）本格実施（全校）
平成 30 年	4 月	立野台小学校に「国際教室」を開設
	10 月	平成 27 年 4 月施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により新教育委員会制度がスタート
	3 月	鳩川プール廃止
平成 31 年	4 月	第 2 期座間市教育大綱策定
令和 2 年	3 月	新型コロナウイルス感染症対策として、市立小学校及び中学校の一斉臨時休業を実施（令和 2 年 5 月まで）
令和 2 年	4 月	座間中学校に「国際教室」を開設

		8月	夏季休業期間を8月8日から8月26日の18日間に短縮 学校閉庁日を実施（8月9日から8月15日の6日間）
令和	3年	2月	GIGAスクール構想として、全小・中学校の児童生徒に1人1台端末を配備
		3月	1人1台端末の利用開始
		4月	各小・中学校において、「教育情報セキュリティに関するガイドライン」を作成 学級編成の標準を、計画的に35人に引き下げる法律案が成立 栗原中学校に「国際教室」を開設
令和	4年	2月	「郷土博物館整備に係る提言に関する意見書」を市長に手交
		4月	組織改正により、教育研究所が設置
令和	5年	4月	第3期座間市教育大綱策定 学校教育課 組織改正により就学支援課へ課名変更 市立中学校に新しい標準服を導入
		10月	栗原プール 廃止
令和	6年	4月	「ざま魅力ある学校づくり方針～今後の学校施設の在り方及び望ましい規模・配置について～」を市長に手交 入谷小学校、西中学校に「国際教室」を開設
		4月	座間市包括施設管理業務委託導入
		5月	表裏型顔面把手が市指定重要文化財（考古資料）に指定
令和	7年	3月	青少年センターが閉館し、4月1日からサニープレイス座間へ移転
		4月	南中学校に「国際教室」を開設

4 教育委員会事務局機構と事務分掌

令和7年4月1日現在



教 育 部

教育総務課

- (1) 部内の連絡調整に関すること。
- (2) 教育委員会の会議に関すること。
- (3) 教育委員会の交際及び秘書に関すること。
- (4) 教育委員会の式典、叙位及び叙勲並びに表彰に関すること。
- (5) 総合教育会議の連絡調整に関すること。
- (6) 教育行政に関する相談に関すること。
- (7) 人権教育行政の連絡調整に関すること。
- (8) 公印の管理に関すること。
- (9) 例規の制定及び改廃に関すること。
- (10) 市費負担職員の人事等に関すること。
- (11) 教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の安全衛生に関すること。
- (12) 学校配当予算（保健給食関係は除く。）の執行管理に関すること。
- (13) 学校教材その他校具の整備に関すること。
- (14) 地方教育費等の調査及び統計等に関すること。
- (15) 学校施設の整備計画に関すること。
- (16) 学校その他教育機関の設置、変更及び廃止の届出に関すること。
- (17) 学校施設の管理に関すること。
- (18) 学校施設の使用に関すること。

就学支援課

- (1) 学校教職員の任免、服務その他人事に関すること。
- (2) 学校の組織及び学級編制に関すること。
- (3) 学齢簿の編成及び整理保管に関すること。
- (4) 児童生徒の就学に関すること。
- (5) 通学区域の設定及び変更に関すること。
- (6) 教職員互助会に関すること。
- (7) 就学援助費（特別支援教育就学奨励費を含む。）に関すること。
- (8) 奨学金に関すること。
- (9) 座間市奨学金基金に関すること。
- (10) 学校施設の環境衛生に関すること。
- (11) 児童生徒及び教職員の保健安全に関すること。
- (12) 学校医、歯科医、薬剤師及び学校保健団体に関すること。
- (13) 学校給食施設の整備計画及び管理に関すること。
- (14) 学校給食の運営指導助言に関すること。
- (15) 小学校給食費の徴収及び経理に関すること。
- (16) 通学路に関すること。
- (17) 学校災害見舞金に関すること。

教育指導課

- (1) 教科用図書及び準教科書の採択に関すること。
- (2) 各教科、道徳、特別活動等の指導助言に関すること。
- (3) 児童生徒指導、学校保健安全指導、食に関する指導並びに進路指導に関すること。
- (4) 教員の研修に関すること。
- (5) 座間市学校課題協議会の庶務に関すること。
- (6) 座間市学校運営協議会の庶務に関すること。
- (7) その他学校教育の専門的事項の指導に関すること。

教育研究所

- (1) 教育に関する調査及び研究に関すること。
- (2) 教育関係職員の研修に関すること。
- (3) 教育に関する図書及び資料の収集及び整備に関すること。
- (4) 教科用図書その他教材の取扱い、研究及び指導に関すること。
- (5) 教材の開発及び研究に関すること。
- (6) 情報教育に関すること。
- (7) 教育史の編さんに関すること。
- (8) 教育相談に関すること。
- (9) 教育支援教室の運営に関すること。
- (10) 特別支援教育の研究及び指導に関すること。
- (11) 座間市教育支援委員会の庶務に関すること。
- (12) 就学相談に関すること。
- (13) 公印の管理に関すること。
- (14) その他教育研究所の目的達成に必要なこと。

生涯学習課

- (1) 生涯学習の推進に関する事。
- (2) 公民館の支援及び連絡調整に関する事。
- (3) 社会教育施設の整備計画及び管理に関する事。
- (4) 座間市社会教育委員の庶務に関する事。
- (5) 市民文化の振興に関する事。
- (6) 市民文化会館の管理運営に関する事。
- (7) 公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団との連絡調整に関する事。
- (8) 文化財保護に関する事。
- (9) 座間市文化財保護委員会の庶務に関する事。
- (10) 開発事業に伴う埋蔵文化財保護に係る協議及び指導に関する事。
- (11) 市史関連刊行物の編さんに関する事。
- (12) 市史資料の収集・保存及び調査研究・公開に関する事。
- (13) 座間市市史編さん審議会の庶務に関する事。

公民館

- (1) 公民館事業の企画及び実施に関する事。
- (2) 公民館施設の管理及び利用に関する事。
- (3) 図書室の管理及び利用に関する事。
- (4) 社会教育関係団体及び機関の連絡調整に関する事。
- (5) 社会教育関係団体の育成及び支援に関する事。
- (6) 座間市立公民館運営審議会の庶務に関する事。
- (7) 公印の管理に関する事。

図 書 館

- (1) 図書館運営の企画及び調査に関する事。
- (2) 図書館施設の維持管理に関する事。
- (3) 公印の管理に関する事。
- (4) 座間市立図書館協議会の庶務に関する事。
- (5) 図書館資料の収集、整理及び保存に関する事。
- (6) 図書館資料の閲覧及び貸出に関する事。
- (7) 読書案内及び調査研究の相談に関する事。
- (8) 読書普及活動に関する事。
- (9) 移動図書館の運営に関する事。
- (10) 他の図書館との連絡及び協力に関する事。
- (11) 図書館関係団体及び機関との連絡及び協力に関する事。
- (12) 視聴覚ライブラリーに関する事。
- (13) その他図書館の目的達成に必要な事。

5. 教 育 費

令和7年度 教育費等予算(歳入)

(単位：千円)

款	項	目	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
使用料及び手数料	使 用 料	教育使用料	31,870	24,300	7,570	31.2%
		(節)小学校使用料	9,551	9,244	307	3.3%
		(節)中学校使用料	3,754	3,733	21	0.6%
		(節)社会教育使用料	18,565	11,323	7,242	64.3%
国庫支出金	国庫補助金	教育費国庫補助金	78,820	80,859	△2,039	△2.5%
		(節)教育総務費補助金	5,460	6,257	△797	△12.7%
		(節)小学校費補助金	10,529	7,255	3,274	45.1%
		(節)中学校費補助金	4,372	3,149	1,223	38.8%
		(節)社会教育費補助金	58,459	64,198	△5,739	△8.9%
県支出金	県補助金	教育費県補助金	2,861	2,763	98	3.5%
		(節)教育総務費補助金	2,527	2,430	97	4.0%
		(節)社会教育費補助金	334	333	1	0.3%
	委託金	教育費委託金	0	0	0	0.0%
	小 計		2,861	2,763	98	3.5%
財産収入	財産運用収入	利子及び配当金	0	0	0	0.0%
繰入金	基金繰入金	教育施設整備基金繰入金	0	0	0	0.0%
		奨学金基金繰入金	200	200	0	0.0%
	小 計		200	200	0	0.0%
諸収入	貸付金元利収入	高校進学資金貸付金元利収入	20	20	0	0.0%
	雑 入	雑 入	392,335	337,606	54,729	16.2%
		(節)教育費雑入	392,335	337,606	54,729	16.2%
	小 計		392,355	337,626	54,729	16.2%
市 債	市 債	教 育 債	1,975,500	468,000	1,507,500	322.1%
教 育 費 歳 入 合 計			2,481,606	913,748	1,567,858	171.6%

◎教育部所管事業の歳入のみ

令和 7 年度 教育費等予算（歳出）

※人件費を含む（単位：千円）

項	目	令和 7 年度	令和 6 年度	増減額	増減率
教育総務費	教育委員会費	4,522	4,523	△ 1	0.0%
	事務局費	441,860	416,263	25,597	6.1%
	教育研究所費	78,871	73,483	5,388	7.3%
	教育指導費	233,748	230,315	3,433	1.5%
	小 計	759,001	724,584	34,417	4.7%
小学校費	学校管理費	641,566	587,975	53,591	9.1%
	給食費	629,665	553,905	75,760	13.7%
	教育振興費	256,389	301,728	△ 45,339	△ 15.0%
	小 計	1,527,620	1,443,608	84,012	5.8%
中学校費	学校管理費	283,590	239,088	44,502	18.6%
	教育振興費	175,087	220,241	△ 45,154	△ 20.5%
	給食費	101,312	91,655	9,657	10.5%
	小 計	559,989	550,984	9,005	1.6%
合 計（学校教育等）		2,846,610	2,719,176	127,434	4.7%
社会教育費	社会教育総務費	291,064	301,718	△ 10,654	△ 3.5%
	公民館費	173,987	148,466	25,521	17.2%
	資料館費	240	349	△ 109	△ 31.2%
	図書館費	177,512	104,968	72,544	69.1%
	視聴覚教育費	1,056	1,056	0	0.0%
	市史編さん費	1,161	1,086	75	6.9%
	市民文化会館費	2,172,406	971,157	1,201,249	123.7%
合 計（社会教育）		2,817,426	1,528,800	1,288,626	84.3%
教 育 費 等 歳 出 合 計		5,664,036	4,247,976	1,416,060	33.3%

◎教育部所管事業の歳出のみ

IV 学 校 教 育

第 1 豊かな心を育むひまわりプラン

I 豊かな心を育むひまわりプラン改訂の趣旨

教育の基本理念は、人格の形成にあります。そして、その理念を達成するために学校教育は知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒の育成をめざすことが求められます。これには、学校教育の目標をふまえ、一層充実した教育効果をあげられるよう、積極的な教育の向上を図ることが重要です。

これからの社会において、児童生徒が心豊かに主体的・創造的に生きることができる資質や能力（「生きる力」）を育成するために、学校教育においては基礎基本の徹底を図り、一人一人の個性を生かす教育を推進することが求められます。

さらに、家庭・地域と連携し、児童生徒に豊かな心が育まれる教育を一層、深化・浸透に努めることが肝要です。

座間市教育委員会では、平成23年度に「豊かな心を育むひまわりプラン」を策定し、座間市の学校教育の方向性を示すものとして位置づけ、それに基づいた学校教育を推進してまいりました。「豊かな心を育むひまわりプラン」の計画期間は、平成23年から令和2年度の10年間でしたが、次期座間市総合計画との整合性を図りながら定める実施計画であるため、令和4年度末まで継続するものとししました。新たな計画期間を迎えるにあたり、同プランの改訂に向け令和3年度から、「豊かな心を育むひまわりプラン」の改訂委員会を設置し、同プランの成果と課題を明らかにしながら、協議を進めました。

この間の社会の変化は著しく、特にグローバル化は社会に多様性をもたらし、急速な情報化や技術革新は人間生活を変化させ、子どもたちを取り巻く環境にも大きな影響を及ぼしています。たとえば、保護者の価値観の多様化、地域とのつながりの希薄化などが起こっています。このような状況下では、学校が子どもの教育をこれまでと同じように担っていくことは難しくなっており、各学校はコミュニティ・スクールによる学校運営を図り、地域と共にある学校づくりを推進しています。

なお、学校教育の中では、これまでの教員の働き方を見直す動きも出てきました。勤務時間の短縮が求められますが、教師と子どもが接する時間を十分にとれるよう工夫していきます。

子どもたちは、家庭、地域、学校などで様々な人と関わりながら学び、その学びを通じて、自分の存在が認められることや、自分の活動によって何かを変えたり、社会をよりよくしたりすることなどの実感を持つことができます。学校、家庭、地域が連携を深め、多様な人々とつながりを保ちながら学ぶことのできる、開かれた環境を整えることは、子どもたちに新しい時代を切り拓いていくために必要な資質・能力を獲得するためにも必要となります。

そのような環境を整えるために今回の「豊かな心を育むひまわりプラン」の改訂にあたっては、「豊かな心」とは何であるかをより丁寧に探ることで、学校、家庭、地域に関わる方々が共通のイメージを持っていけるようにしたいと考え、協議を進めてきました。また、同プラン策定から12年が経過したことから新たな目で検討を進め「学校では」「家庭では」「地域では」のそれぞれの立場で子どもをどのように育成していけばよいかをより明確にすることを心がけ改訂にあたりました。

II 期間

「豊かな心を育むひまわりプラン」は、座間市の最上位の計画である「第五次座間市総合計画」と整合性を図りながら定める実施計画として位置づけられています。

「第五次座間市総合計画」は、令和12年度を目標年次とする8年でめざすべき将来目標を設定し、実現に向けて基本構想を策定しています。そのため本プランの実施期間は、令和5年度から令和12年度までの8年間とします。

III 「豊かな心を育むひまわりプラン」の位置づけ

1 「学校教育指導計画」との関係

「豊かな心を育むひまわりプラン」は、教育指導課が所管する8年間のすべての事業の根幹をなすものであり、座間市教育委員会の学校教育の方向性を示すものとして位置づけます。

「学校教育指導計画」は、「豊かな心を育むひまわりプラン」に基づいて、毎年改訂します。



2 「第五次座間市総合計画」との関係

第五次座間市総合計画は、令和12年度を目標年次とする8年でめざすべき将来目標を設定し、実現に向けて基本構想を策定しています。子ども分野における将来目標は、「共に学び、健やかに育つまちづくり」と決めました。

そして、「豊かな心を育むひまわりプラン」は、座間市教育委員会教育指導課が、この第五次座間市総合計画と整合性を図りながら定める実施計画であり、実施計画事業として位置づけられています。

IV めざす大人像

現在の社会は大きく変動し多様化しているため、この先の社会のありようを長期的に見通すことは困難です。だからこそ教育の果たす役割は大きいと言えます。一人一人が人間として自立し、それぞれの個性を伸ばし、その可能性を開花させることが重要です。そのためには、家庭、地域の協力を得て、義務教育の充実が求められます。

第1期「豊かな心を育むひまわりプラン」が策定されるまでは、学校教育指導計画にある「学校教育の目標」に沿って豊かな心の育成を図ってきました。この「学校教育の目標」を達成できた姿が、豊かな心の育った、めざす子ども像となるわけです。

当初、策定委員会では、「具体的にイメージできるめざす子ども像」、「めざす姿に近づくための日々の行動」の2つを記述する方向で討議が進みました。しかし、何度も話し合いを重ねる中で、めざす子ども像は、「こんな大人になってほしい」という姿にたどり着く過程の姿であると捉え「めざす大人像」を明らかにすることとしました。

座間の教育を受けながら、やがてその子たちが大人になったときには、こうなっていてほしいというめざす姿に向けて、学校教育の目標を大事にしながら、豊かな心を育成していこうという結論になりました。この考えは、今後も継続していくことを確認しました。

「こんな大人になってほしい」

- 自分のよさを大切にし、健康で自立した生活を送る。
- 正義を尊び、自らを律し、責任ある行動をとる。
- 目標に向かって学び続け、新たな価値を創造する。
- 温かな心で人とのかかわり合い、奉仕の心で人の役に立つ。
- 郷土への愛と誇りをもち、国や社会の発展に尽くす。

なお、「学校教育の目標」は「豊かな心を育むひまわりプラン」では、保護者や地域の方にも親しみやすいように、「学校がめざしていること」としています。

V 豊かな心とは

「豊かな心」とは、自分らしく自由に、他者と分かち合いながら、しなやかに、たくましく、おだやかに、よりよく生きようとする心です。

自分の存在が認められること。世界の美しさや不思議さ、人々がこれまで築いてきた価値の尊さに感動すること。地に足をつけ、自分のこととして考えること。共に手を取り合いながら行動し、自分や周りの人々、物事がよりよくなること。できることが増えていくこと。このような経験の積み重ねで、「豊かな心」は育まれていきます。

心は見えませんが、行動にあらわれます。子どもたちの日々の行動に、私たちは「豊かな心」のあらわれを見ることができます。

興味をもって学ぶ。自然や芸術に感動する。科学や歴史を究めようとする。困難にめげずに立ち直る。困っている人を助ける。あやまちを正そうとするなど。私たち大人は、子どもの日々のふるまいから、「豊かな心」の芽生えを見つけ、大切に育み、一人一人にその子らしい花を咲かせてあげたいと思います。

「豊かな心を育むひまわりプラン」が最終的に願うのは、一人一人が伸びやかにそして周りの人々とともに前向きに幸せに生きることです。

例えば、

- ある児童は、体育の時間にどうしても鉄棒で逆上がりができず、休み時間も放課後も手にまめを作りながら何度も繰り返し練習をしていました。その子を励ましながら一緒に練習を見守った友人は、その子が初めて逆上がりできたとき、まるで自分のことのように喜びました。

目標に向かってあきらめずにがんばり続ける児童にも、それを見守る友人にも心の豊かさを感じます。



- 突然転校することになったある小学生は、下校時に毎日優しく声をかけて自分たちの安全を見守ってくれた地域の方に、感謝のお手紙を渡しました。

毎日見守ってくれていた地域の方への思いを心の中にしまっていたのでは、相手に伝わりません。自分の思いを手紙に託したことで、心が目に見える形となってあらわれたのです。

- 以前、ある中学校から駅までの通りは空き缶やペットボトルなどが散乱し、生徒達が一斉にゴミ拾いをしても、次の週には再びゴミでいっぱいになってしまうような状態でした。このような中、中学生でも何か役に立てることはないだろうかと生徒会で話し合い、地域の方々とともに通りに花壇を作る取組が始まりました。やがて、春は菜の花、夏はひまわり、秋には赤やピンクのコスモスの群生が道行く人の目を楽しませるようになると、いつの間にかゴミのポイ捨てがなくなったそうです。

地域を大切に思う生徒達の心が美しい環境を作り出し、本来人の持つ心の優しさや感性を引き出したのではないのでしょうか。

- ・ 地域のいっぺい窪のホタルを見に行った姉弟は、ホタルを守る活動をしている方々の存在を知りました。その後二人は、その方たちと一緒に、湧水付近および通学路の清掃活動を平成19年から続けています。

まちの環境美化活動を続ける姉弟の行動は、座間の宝物である湧水を守りたいという強い思いが、行動となって奉仕の心や感謝の心となって表れた姿であり、豊かな心が育っている姿と捉えられます。

このように、人間としてこうやっていきたい、こうなりたいという心の動きや高まりが表出されたときに、ああこの子は育ってきたなあと感じられるのです。

つまり、座間市教育委員会としては、行動に表れているということ、豊かな心が育っていると捉えたいと考えています。

VI 豊かな心を育むために

座間市教育委員会では、めざす大人像として「こんな大人になってほしい」を定めましたが、豊かな心を生涯にわたって育成していく上で、それを支えるのは学校と家庭と地域に他なりません。

しかし近年、家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化等を背景とした地域等のつながりや支え合いの希薄化によって、「地域の学校」「地域で育てる子ども」という考え方が次第に失われてきたことが指摘されています。家庭や地域が、教育の場として十分な機能を発揮することなしに、子どもの健やかな成長はあり得ません。特に義務教育段階にある子どもにとってはなおさらなことです。座間市に住む大人みんな、見えなくても確かにある一人一人の輝きを信じて、どの子にもその子らしい花を咲かせてあげたいと考えています。

学校・家庭・地域の三者が、本市の教育の特色である「豊かな心を育成する」という意識を共有し、同じ方向を向いて共に連携・協力していくことが何よりも大切です。

そのためには、それぞれの役割の大切さと、豊かな心の育成につながる活動を明確にすることが重要です。そこで、改訂委員会では、「より浸透しやすいように」という視点で見直しを図り、次のように改めました。



1 学校では

- 心豊かな児童生徒を育てます。
- 心身ともに健康な児童生徒を育てます。
- 強い意志をもって、自ら意欲的に学ぶ児童生徒を育てます。
- 進んで働き、よりよい社会をめざす児童生徒を育てます。
- わが国の文化や伝統を尊重するとともに、世界の人々と共生できる児童・生徒を育てます。

2 家庭では

- お互いにあいさつをしましょう。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」を意識して、生活習慣を整えましょう。
- 心にゆとりをもって、会話をする時間をつくりましょう。
- 家族の一員として、子どもにも役割をもたせましょう。

- 善悪の区別をきちんと教えましょう。
- 子どものよさを認め、がんばったことをほめましょう。
- 感謝の気持ちを伝え合いましょう。

3 地域では

- あいさつを交わしましょう。
- 優しい心と笑顔で、子どもたちを育みましょう。
- 大人が手本となり、子どもたちに社会のルールを教えましょう。
- 心安らぐ町になるように、地域の環境に目を配りましょう。
- 子どもたちが地域の一員として、様々な体験をする機会を増やしましょう。

VII 「豊かな心を育むひまわりプラン」のイメージ図

「豊かな心を育む」には、学校、家庭、地域が一緒に取り組むことが必要です。そのためには、「豊かな心を育む」イメージを共有できるようにする必要があると考えました。

そこで、「豊かな心を育むひまわりプラン」の全体像を絵で表現しました。

子どもたちの健やかな成長を願って揚げられる大風、市民に親しみの深い大山を背景に、ふるさと座間で「豊かな心」が育まれていくことをあらわしています。ひまわりが育っていく様子は、「豊かな心」が芽生え、大人がそれを見つけ大切に育んでいくことで、一人一人がその子らしい花を咲かせる過程をあらわしています。

その後ろにあるたくさんのひまわりは、周りの人々と共に前向きに幸せに生きる姿をあらわしています。

この絵を「豊かな心を育むひまわりプラン」の広報などに使うことで、多くの方々に親しみを持ってこのプランをとらえていただけるようにしたいと思います。



VIII ざまっ子 八つの誓い

- 1 明るく元気にあいさつをします。
- 2 家族を大切にします。
- 3 友だちを大切にします。
- 4 困っている人に優しく接します。
- 5 人の役に立つことを進んでします。
- 6 いろいろなことにチャレンジし、ねばり強く取り組みます。
- 7 約束やきまりを守ります。
- 8 自然を大切にし、地球に優しい生活をします。

第2 地域連携による学校づくり

1 こころ・ときめきスクール推進事業

市内小・中学校が、座間市の特色ある教育である「豊かな心の育成」に積極的に取り組むとともに、児童生徒一人ひとりの「生きる力」の育成を目指して外部教育力を活かした教育活動等を展開し、創意に富んだ特色ある学校づくりを学校運営協議会等と連携・協働しながら推進できるよう、各小・中学校の研究及び実践活動を推進する。

2 学校安全対策事業

- ・ 学校への不審者侵入、登下校時の不審者、変質者との遭遇等に備え、学校安全対策指導員を1人配置して学校の安全管理体制の充実と安全意識の向上を図る。
- ・ 防犯ブザーを小学校の児童（1年生）に支給することで、安全意識を高揚するとともに、事故を未然に防ぐことに役立てる。

年 度 項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学校安全対策指導員勤務日数（日）	243	243	243	243
防犯ブザー購入配付個数（個）	1,050	980	1,030	984

第3 児童生徒に適した指導・支援

1 中学校部活動指導者派遣事業

- ・ 令和2年度から部活動指導員（2名）を2校に配置
- ・ 部活動の専門的技術を補うために、学校の実情にあわせ、顧問教員の協力者として学校の教育方針にあった部活動指導協力者を派遣する。

年 度 項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
中学校部活動指導協力者派遣回数（回）	1,800	1,800	1,680	1,680

2 特別支援教育事業（特別支援教育支援員）

通常級に在籍する、発達特性がある等特別な支援を必要とする児童・生徒に対し、一人ひとりの教育的ニーズに合ったきめ細かな支援を行う。また、特別支援学級に在籍する障がい児の学校生活における身辺処理の介助や移動時の安全確保、医療的ケア等を行う。担任教諭の指示により職務に従事することで、担任教諭は集団全体に目を向けた指導に専念できるなど、特別支援教育の充実を図る。

第4 国際教育の推進

1 外国語教育推進事業

- 外国語指導助手（ALT）^{注1}派遣の実施

国際社会の一員として世界の人々と心を開いて交流することができるよう、小・中学校とも外国語指導助手（ALT）を外国語活動及び外国語の授業に派遣する。

（小学校）目的：国際理解とコミュニケーション能力を養う。

派遣日数：年間1,206日 全小学校3・4年生：各クラス年間平均35時間

5・6年生：各クラス年間平均40時間

全小学校でEnglish Dayを実施

（中学校）目的：英語教育の充実と国際理解を深める。

派遣日数：年間374日 全中学校1～3年生：各クラス年間平均20時間

全中学校特別支援学級：各クラス年間平均5時間

注1：ALTとは、Assistant Language Teacherの略で、外国語指導助手のことを指しています。

2 日本語指導等協力者派遣事業

- 日本語指導を必要とする児童・生徒のために、学校の要請に応じて日本語指導等協力者を派遣し、学習、生活の両面から円滑な学校生活が送れるよう支援する。
- 個人面談の折には通訳者を派遣し、保護者の教育相談にも対応する。

〔日本語指導等協力者派遣回数〕当初予算

年度 項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指導回数※ （通訳含む）（回）	1,309	1,610	1,610	1,754	1,755

※令和元年度までは、1回2時間。令和2年度からは、1回1時間。

第5 学校教育の目標

1 心豊かな児童生徒の育成

- （1） まわりの人たちと協力しながら、より高い目標に向かって努力する心を育てる。
- （2） 礼儀や思いやり、感謝の心、感動する心など豊かな心を育てる。

2 心身ともに健康な児童生徒の育成

- （1） 健康的で望ましい生活習慣を身につけようとする態度を育てる。
- （2） 自らの人生をたくましく切りひらく強い心とからだを育てる。

3 強い意志を持って、自ら意欲的に学ぶ児童生徒の育成

- （1） 自ら課題をもち、忍耐強く解決しようとする学習態度を養う。
- （2） 問題解決のために必要な知識や技能を、進んで身につけようとする態度を養う。

4 進んで働き、よりよい社会をめざす児童生徒の育成

- （1） 社会のために進んで働こうとする強い意志と責任感を育てる。
- （2） 真理を愛し、正義を尊び、互いの人格を尊重する態度を養う。

5 わが国の文化や伝統を尊重するとともに世界の人々と共生できる児童生徒の育成

- （1） 座間市の文化や風土を愛し、よりよい郷土づくりに努力する態度を養う。
- （2） わが国の文化や伝統を愛し、世界の平和と人類の幸福の実現に役立つ人を育てる。

第6 指導係主要事業計画

1 学校訪問

(1) A訪問

趣 旨	学校教育目標の具現化と質の高い授業の実現をめざして、日常の教育活動や校内研究の進め方等について、指導主事と学校が相互に協議し合い、より高い教育の実践を図る。		
訪問者	教育長、教育指導課長、教育指導係長、指導主事、(教育委員 任意)		
訪問校 期 日	東 原	小学校	令和7年 6月17日(火)
	相模が丘	小学校	令和7年10月 8日(水)
	入 谷	小学校	令和7年10月21日(火)
	栗 原	中学校	令和7年10月23日(木)
	西	中学校	令和7年11月25日(火)
	中 原	小学校	令和8年 2月17日(火)

(2) B訪問

趣 旨	教育委員会による学校視察及び教職員との協議を通して、学校の現状を知り、学校教育の向上を図る。		
訪問者	教育長、教育長職務代理者、教育委員、教育部長、教育総務課長、学校再編推進担当課長、就学支援課長、保健給食担当課長、教育指導課長、教育研究所長、教育指導係長、研究相談係長、指導主事		
訪問校 期 日	栗 原	小学校	令和7年 7月 3日(木)
	東	中学校	令和7年11月 4日(火)
	座 間	小学校	令和8年 2月 5日(木)

(3) C訪問

趣 旨	教育委員会による教育活動視察(体験活動や授業など)及び管理職との協議を通して、学校の現状を知り、学校教育の向上を図る。		
訪問者	教育長、教育長職務代理者、教育委員、教育部長、就学支援課長、教育研究所長、教育指導課長、教育指導係長		
訪問校 期 日	相模野	小学校	令和7年 7月 1日(火)
	座 間	中学校	令和7年 7月 7日(月)
	立野台	小学校	令和7年 9月29日(月)
	相 模	中学校	令和7年12月15日(月)
	相武台東	小学校	令和8年 1月14日(水)
	ひばりが丘	小学校	令和8年 1月29日(木)

(4) 視点

- ア 各教科・道徳・特別活動の授業に関すること
- イ 校内研究に関すること
- ウ 児童生徒指導、進路指導に関すること
- エ 学校・学年・学級経営に関すること
- オ 教育環境に関すること

(5) 配慮事項

- ア 訪問日の日程や運営については、教育指導課指導係と学校で調整する。
なお、研究発表を行う学校については、これを学校訪問に代えるものとする。
- イ 学習指導案(A訪問のみ)、配付資料を訪問日の10日前までに、A訪問は13部、B訪問は20部、C訪問は10部指導係まで提出する。
- ウ A・B訪問は実施2か月前までに、C訪問は実施1か月前までに学校と指導係で事前打ち合わせを行う。

2 各種研究等

(1) 座間市教育課程等指定研究校

学 校 名	研究領域	研 究 主 題 等	年 度 (令和)	スーパー バイザー等
相模が丘 小学校	国語	言葉の力を活かして、自ら考え表現する子の育成	7・8	横須賀市立鴨居中学校 安齋 友貴 氏
入谷小学校	国語	自ら学ぶ児童の育成 ～『まなびたい』『かんがえたい』『またやりたい』～	7・8	山梨大学教授 茅野 政徳 氏
旭小学校	全領域	「学ぶ喜びにあふれた子をめざして」 ～学び方を選び、自分の考えを表現する子を育む授業 づくり～	6・7	神奈川県教育委員会教育局 インクルーシブ教育推進課 指導主事 村井 宏行 氏 川原 那花 氏
栗原中学校	防災教育	未来を「生きる力」の育成 防災教育を通して育む「自ら考え、行動できる 生徒～総合的な学習を中心に～」	7・8	東京大学大学院 総合文化研究科准教授 小田 隆史 氏
相模中学校	全領域 (防災)	一人ひとりが成長を実感できる授業づくり ～生徒の中から問いが生まれる授業～	6・7	横浜国立大学教授 加藤 圭司 氏
南中学校	全領域	生徒の学ぶ力を引き出す授業づくり ～一人一人が輝く学級を目指して～	6・7	横浜国立大学教授 池田 敏和 氏

(2) 研究発表会

学 校 名	研究領域	期 日	スーパーバイザー等
旭小学校	全領域	令和8年 1月30日(金)	神奈川県教育委員会教育局 インクルーシブ教育推進課 指導主事 村井 宏行 氏 川原 那花 氏
南中学校	全領域	令和7年10月31日(金)	横浜国立大学教授 池田 敏和 氏

(3) 座間市立小学校教育評価研究 座間市立小学校教育評価研究会

(4) 座間市特別支援教育研究 座間市特別支援教育研究会

(5) 座間市ころ・ときめきスクール推進事業 市内17校のころ・ときめきスクール推進研究会

3 指導者等派遣

- (1) ① 中学校部活動指導協力者（6校 1, 680回）
座間中学校（280回） 西 中学校（280回） 東 中学校（280回）
栗原中学校（280回） 相模中学校（280回） 南 中学校（280回）
- ② 部活動指導員（4校4人）
1人当たり：週5日、平日2時間、休日3時間程度
- (2) 外国語指導助手
① 小学校（11校）：3・4年生（35時間程度） 5・6年生（40時間程度）
② 中学校（6校）：全学年（18時間程度） 特別支援学級（5時間程度）
イングリッシュデイ（小・中学校全校1日）
- (3) 日本語指導等協力者
日本語指導・通訳（1, 755回分）市内小・中学校
- (4) 学校体育実技指導協力者（3校のべ5人）
1校当たり：23時間程度
○ 座間中学校 ○ 栗原中学校 ○ 南中学校

4 学校農園実施校（1校）

- 入谷小学校

5 会議計画

	会 議 名	期 日	会 場	趣 旨・内 容
1	定例校長会議	①令和7年 4月 3日午前 ②令和7年 6月 19日午前 ③令和7年 10月 3日午前 ④令和8年 1月 9日午後 ⑤令和8年 3月 6日午後	①全員協議会室 ②全員協議会室 ③全員協議会室 ④全員協議会室 ⑤全員協議会室	校長と教育委員会事務局とが学校教育の望ましい在り方を協議するとともに、両者の連携を図る。
2	定例教頭会議 (①は補助金担当者会議も含める)	①令和7年 4月 11日午前 ②令和8年 1月 13日午前	①5-2, 3 ②5-4, 5	当面する教育上の課題の協議と情報交換を行い、学校と教育委員会との連携を深める。
3	教務担当者会議	令和7年 4月 11日午後	4-2, 3	教育課程編成の説明及び課題協議と情報交換を行い事務等の円滑化を図る。
4	教育支援委員会	①令和7年 9月 4日午後 ②令和7年 10月 9日午後 ③令和7年 11月 6日午後 ④令和7年 12月 14日午後 ⑤令和8年 2月 5日午後 ⑥令和8年 3月 5日午後	① 5-1, 5 ②4-1, 5-4 ③4-3, 3-2 ④4-1, 5-1 ⑤ 5-4, 5 ⑥4-2, 5-1	障がいの状態に応じた適正就学について協議する。
5	特別支援教育担当者会議	令和7年 4月 14日午後	5-1	特別支援や就学の連絡・調整を図る。
6	通級指導教室担当者会議	令和7年 4月 22日午後	5-4	通級指導教室(情緒・言語)について連絡・調整を図る。
7	児童生徒指導担当者会議	令和7年 6月 13日午後	5-4, 5	小・中学校間での連携や望ましい指導の在り方について協議し、児童生徒指導上の諸問題の解決を図る。
8	教科書事務担当者会議	令和8年 3月 27日午後	未定	教科書関係の事務が適正に行われるように協議する。
9	英語教育推進会議	①令和7年 4月 9日午後 ②令和8年 2月 6日午後	①4-2, 3 ② 5-1	外国語活動及び英語教育に関する協議と情報交換を行い、円滑な実施を図る。
10	子どもの健康・体力についての連絡会	令和7年 5月 20日午後	5-1	小・中学校の担当で、子どもの健康・体力についての情報交換・意見交換等を行う。
11	食育推進担当者会議	①令和7年 5月 29日午後 ②令和8年 2月 3日午後	①5-1 ②5-1	小・中学校における食育推進のあり方について協議し、推進を図る。
12	薬物乱用・いじめ防止等対策連絡協議会	令和7年 5月 26日午後	5-4, 5	青少年の薬物乱用・いじめ防止などについて関係機関で協議する。
13	国際教室及び日本語指導担当者の連絡協議会	令和7年 5月 9日午後	5-2	外国にかかわる児童・生徒の指導について情報交換や協議を行う。
14	コミュニティ・スクール推進協議会	①令和7年 7月 17日午後 ②令和7年 12月 18日午後	①5-1 ②5-1	コミュニティ・スクールの在り方や推進体制等について研究するとともに、学校運営協議会関係者の資質向上を図る。

6 研修計画

	事業名	趣旨・内容	対象
1 学校経営研修	(1)校長研修会	学校教育目標の具現化に向けて学校経営の充実と円滑化を図る。	校長
	(2)教頭研修会	教頭としての指導力の向上と管理面の充実を図る。	教頭
	(3)リーダー研修会	学校運営推進者として学校の諸課題についての理解を深め、学校運営の改善・充実に向けて資質の向上を図る。	総括教諭 または中堅教諭 (新任総括は除く) 各校2名
2 教育指導研修	(4)学級経営研修会	学級経営の意義と役割について理解を深め、望ましい学級経営の在り方について研修し、資質の向上を図る。	1年経験者全員 1年経験者不在校は経験年数4年以内の学級担任(臨任可) ※経験年数4年以内の教員に限り複数名の参加可(臨任可)
	(5)道徳教育研修会	道徳教育および「特別の教科道徳」の指導を充実するために、道徳の授業力向上を図る。	各校1名以上*
	(6)初任者研修会 (別掲参照)	教職員の服務及び学習指導上の基本的事項について研修を深め、教職員としての資質と指導力の向上を図る。	初任者 他
	(7)学校図書館担当教員及び学校図書館司書研修会	学校図書館担当教員と図書館司書が連携・協力し情報交換や協議を行い、進んで読書に親しむ児童生徒の育成を図る。司書教諭、学校図書館司書の資質向上を図る。	学校図書館司書 学校図書館担当教諭
3 課題研修	(8)児童生徒理解研修会	児童生徒理解と望ましい指導の在り方、保護者対応について研修し、指導力の向上や小・中連携、指導体制の充実を図る。	教諭 ①②を同じ教諭が参加。希望参加可。(2人目以降の参加者は①②どちらかのみでもよい)
	(9)人権教育研修会	人権教育について正しい理解と認識を深め、校内における人権教育の推進を図る。	教諭 (未受講者) ①②を同じ教諭が参加。
	(10)今日的課題研修会 (いじめ)	教育における今日的課題等について研修を深め、その解決に資する。	教諭 (未受講者)
	(11)今日的課題研修会 (国際教室)	教育における今日的課題等について研修を深め、その解決に資する。	国際級担当者

(令和7年5月末現在)

	期 日	テ ー マ ・ 内 容 等	会 場	形式	講 師
(1)	6月27日(金) 14:45	これからの学校教育について	5-4, 5	講義	元芝園小学校校長 國香真紀子氏
(2)	7月31日(木) 13:15	これからの教師に求められる 資質・能力とは	5-1	講義	元芝園小学校校長 國香真紀子氏
(3)	8月5日(火) 14:30	複線型授業の実践方法、授業 づくり等について (実践例も含めて)	5-4, 5	講義	春日井市立高森 台中学校 (R6年 度) 教頭 小川 晋氏
(4)	6月24日(火) 14:45	学級経営の意義や担任の役 割について理解を深める (個に応じた指導を中心に)	5-4, 5	講義 演習	関東学院大学准教授 鈴木 公基 氏
(5)	6月12日(木) 14:45	小中学校における道德の授業 の進め方	5-1	講義	十文字学園女子大学 教育人文学部 児童 教育学科教授 浅見 哲也 氏
(6)	4月2日(水)他	<ul style="list-style-type: none"> 座間市の教育の概要 教員としての服務 児童・生徒理解 教育支援教室見学 授業の進め方、学級経営 	5-2, 3 他	講義 協議 実技等	行政関係者等
(7)	9月5日(金) 14:00	「学校図書館を活用した授 業」(仮)	5-1	講義	全国学校図書館協議 会 スーパーバイザー 村山 正子 氏
(8)	①5月22日(木) ②11月13日(木) 全 14:45	問題を抱える児童・生徒への 対応、保護者対応	5-1	講義 演習	県スクールカウンセラー・ アドバイザー 小見 祐子 氏
(9)	①5月27日(火) ②11月18日(火) 全 14:45	人権教育の推進	①5-4, 5 ② 5-1	講義 演習	人権教育担当 指導主事
(10)	5月23日(金) 14:45	いじめ防止基本方針の理解そ の他について	5-4, 5	講義 演習	児童生徒指導担当 指導主事
(11)	5月9日(金) 14:45	<ul style="list-style-type: none"> 国際教室の運営の仕方 個別指導計画の立て方等 	5-2, 3	講義	東京学芸大学 教職員大学教授 齋藤 ひろみ 氏

7 小・中学校教育課程研究会
地区小・中学校教育課程研究会

部 会	会 場	期 日
社会 外国語活動、外国語 生活、特別活動 理科 道徳	厚木市 大和市 海老名市 座間市 綾瀬市	7月29日（火） 午後
音楽 家庭、技術・家庭、総則 体育、保健体育、図画工作、美術 国語 総合的な学習の時間 算数、数学	厚木市 大和市 海老名市 座間市 綾瀬市 愛川町	7月30日（水） 午後
特別支援教育	座間市	8月 1日（金）

8 キャンプ・修学旅行（令和7年度）

小 学 校 名	キ ャ ン プ		修学旅行	中 学 校 名	修学旅行
座 間 小 学 校	7月 8日－9日	②	10月17日－18日	座 間 中 学 校	6月10日－12日
栗 原 小 学 校	12月 3日－4日	②	10月12日－13日	西 中 学 校	6月16日－18日
相 模 野 小 学 校	12月 8日－9日	②	10月23日－24日	東 中 学 校	6月 9日－11日
相 武 台 東 小 学 校	7月10日－11日	①	10月10日－11日	栗 原 中 学 校	6月10日－12日
ひばりが丘小学校	7月 3日－4日	②	10月10日－11日	相 模 中 学 校	6月17日－19日
東 原 小 学 校	7月 8日－9日	①	10月24日－25日	南 中 学 校	6月16日－18日
相 模 が 丘 小 学 校	12月 4日－5日	①	10月24日－25日		
立 野 台 小 学 校	12月10日－11日	②	10月10日－11日		
入 谷 小 学 校	7月 3日－4日	①	10月17日－18日		
旭 小 学 校	7月 3日－4日	②	10月 3日－4日		
中 原 小 学 校	11月27日－28日	①	10月 9日－10日		
行き先 宿泊施設	①ふじの体験の森やませみ ②相模川ビレッジ若あゆ		日光方面	京都・奈良方面	

9 初任者研修計画

校外研修									
令和7年度 初任者研修（校外研修17日）年間予定（修正版）									
座間市教育委員会									
月 日	曜 日	実施主体	区分・回	加付 日数	会 場	対 象			
						小学校		中学校	
						C	D	C	D
4月2日	水	座間市教委①	人格的資質向上①（モラルアップ）	0.5日	座間市庁舎	○	○	○	○
4月22日	火	総合教育C	人格的資質向上②	1日	総合教育C	○		国理保体技家	
4月23日	水	総合教育C	人格的資質向上②	1日	総合教育C		○	社数音美外	
机上研修		総合教育C	人格的資質向上①（4月23日～5月8日までに実施）	0.5日	勤務校	○	○	○	○
机上研修		総合教育C	授業力向上①（5月8日～授業力②までに実施）	0.5日	勤務校	○	○	○	○
机上研修		総合教育C	人格的資質向上③（5月8日～課題②までに実施）	0.5日	勤務校	○	○	○	○
5月13日	火	県央教育事務所	1 授業力向上 C PM	1日	海老名市役所	○		○	
5月20日	火	県央教育事務所	1 授業力向上 D PM	1日	海老名市役所		○		○
6月3日	火	総合教育C	授業力向上② PM	0.5日	横国大附鎌倉中			国理保体技家	
6月10日	火	総合教育C	授業力向上② PM	0.5日	横国大附鎌倉中			社数音美外	
6月17日	火	総合教育C	授業力向上② PM	0.5日	総合教育C	○			
6月24日	火	総合教育C	授業力向上② PM	0.5日	総合教育C		○		
机上研修		総合教育C	授業力向上③（7月1日～授業力④までに実施）	0.5日	勤務校	○	○	○	○
机上研修		総合教育C	問題解決力向上①（7月1日～授業力④までに実施）	0.5日	勤務校	○	○	○	○
机上研修		県央教育事務所	2 授業力向上（7月22日の「2 授業力向上」前日までに実施）	0.5日	勤務校	○	○		
7月22日	火	県央教育事務所	2 授業力向上	0.5日	総合教育C	○AM	○PM		
7月24日	木	座間市教委②	課題解決力向上①（児童・生徒理解）	1日	座間市庁舎	○	○	○	○
7月28日	月	総合教育C	授業力向上④〈ICT〉 AM又はPM	0.5日	総合教育C			○	
7月29日	火	総合教育C	授業力向上④〈ICT〉 AM又はPM	0.5日	総合教育C				○
机上研修		県央教育事務所	2 授業力向上（8月5日の「2 授業力向上」前日までに実施）	0.5日	勤務校			○	○
8月5日	火	県央教育事務所	2 授業力向上 AM又はPM	0.5日	総合教育C			教科毎 （人数を見て決定）	
8月7日	木	総合教育C	課題解決力向上②	0.5日	総合教育C	○AM		PM:国理保体技家	
8月8日	金	総合教育C	課題解決力向上②	0.5日	総合教育C		○AM	PM:社数音美外	
8月19.20日	火水	座間市教委③	人格的資質向上②	2日	ふじの体験の森 やませみ	○	○	○	○
8月19日	火	総合教育C	授業力向上⑤	1日	総合教育C			保体	
8月21日	木	総合教育C	授業力向上⑤	1日	総合教育C			保体以外	
9月2日	火	総合教育C	授業力向上④〈ICT〉 PM	0.5日	総合教育C		○		
9月9日	火	総合教育C	授業力向上④〈ICT〉 PM	0.5日	総合教育C	○			
10月28日	火	総合教育C	授業力向上⑤	1日	総合教育C		○		
11月4日	火	総合教育C	授業力向上⑤	1日	総合教育C	○			
11月25日	火	総合教育C	人格的資質向上④	1日	総合教育C			○	○
1月15日	木	座間市教委④	課題解決力向上②（学級経営） 座間市立旭小学校	0.5日	市内小学校	○	○	○	○
1月20日	火	総合教育C	人格的資質向上④	1日	総合教育C	○			
1月27日	火	総合教育C	人格的資質向上④	1日	総合教育C		○		
2月3日	火	県央教育事務所	3 授業力向上	1日	総合教育C	○AM	○PM	○AM	○PM
各校設定		他校	授業力向上（他校訪問）	1日	他校	○	○	○	○
後日調整		勤務校	授業力向上（研究授業）	1日	各勤務校	○	○	○	○
各校設定		勤務校	授業力向上（校内授業研究）	1日	各勤務校	○	○	○	○

* 原則として、Cグループの初任者はC日程の研修に、Dグループの初任者はD日程の研修に、年間通じて参加する。
 * 教科指定のある研修は、C・Dグループにかかわらず、担当教科の日程に参加する。
 * 「他校訪問」は他校に出かけ、〔授業参観〕＋〔研究協議〕＋〔他校訪問レポート〕で1日のカウントとする。

10 校内研究計画

学 校 名	領域等	講師等	研 究 主 題
座 間 小 学 校	国語	東京学芸大学教授 中村 和弘 氏	「考えたい・表現したい・生かしたい」を引き出す 国語の授業づくり
栗 原 小 学 校	国語	小田原市立酒匂小学校 総括教諭 片岡 寛仁 氏	夢に向かって学び続ける児童の育成 ～どの子も「わかる・できる」授業づくりを通して～
相 模 野 小 学 校	全領域	東京学芸大学教授 高橋 純 氏	生涯に渡り学び続ける人の育成 子供が主語の学び
相武台東小学校	全領域	平塚市立 土屋小学校校長 五十嵐 透 氏	ともに学び合い みんなが高まる授業 ～それぞれの学びをみんなの学びに みんなの学びをそれぞれの学びに～
ひばりが丘小学校	全領域	春日井市教育委員会教育研究所 水谷 年孝 氏 (夏の研修会の1回のみ)	自分で考え、判断し、共に学びを深めていく子の育成 ～ICTを活用した授業づくりを通して～
東 原 小 学 校	国語・算数 社会・生活	横浜国立大学附属 鎌倉小学校 稲男 幸恵 氏 他	やってみたい！知りたい！学びたい！を引き出す授業
相模が丘小学校	国語	横須賀市立鴨居中学校 安齋 友貴 氏	言葉の力を活かして、自ら考え表現する子の育成
立 野 台 小 学 校	全領域	未定	自らの学びをデザインできる子の育成 ～個別最適な学び⇔協働的な学び～
入 谷 小 学 校	国語	山梨大学教授 茅野 政徳 氏	自ら学ぶ児童の育成 ～『まなびたい』『かんがえたい』『またやりたい』～
旭 小 学 校	全領域	神奈川県教育委員会教育局 インクルーシブ教育推進課 村井 宏行 氏	学ぶ喜びあふれた子をめざして ～学び方を選び、 自分の考えを表現する力を育む授業づくり～
中 原 小 学 校	学び方 (学習形態等)	東京学芸大学教授 高橋 純 氏	自ら学び、自ら考え、豊かな心を持つ子の育成 ～一人一人が活躍できる学び～
座 間 中 学 校	全教科	十文字学園女子大学 教育 人文学部児童教育学科教授 浅見 哲也 氏 大妻女子大学大学院 人間文化研究科 人間生活科学専攻教授 澤井 陽介 氏	授業力向上 ～生徒の実態を踏まえた課題への取り組み～
西 中 学 校	全領域	東京学芸大学教授 高橋 純 氏	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の 一体的な充実
東 中 学 校	総合的な 学習の時間	国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官	3年間を貫いた「総合的な学習の時間」の計画と 実践の見直し ～自分を見つめることから自己の生き方へ～
栗 原 中 学 校	防災教育	東京大学大学院 総合文化研究科准教授 小田 隆史 氏	未来を「生きる力」の育成 防災教育を通して育む「自ら考え、行動できる生徒 ～総合的な学習を中心に～」
相 模 中 学 校	全領域	横浜国立大学教授 加藤 圭司 氏	一人ひとりが成長を実感できる授業づくり ～生徒の中から問いが生まれる授業～
南 中 学 校	全領域	横浜国立大学教授 池田 敏和 氏	生徒の学ぶ力を引き出す授業づくり ～一人一人が輝く学級を目指して～

第7 市立学校一覧

(令和7年4月1日現在)

学校名	創立年	校 長 名			所 在 地	電 話
		令和5年度	令和6年度	令和7年度		
座間小学校	明治28年	大谷 一	大谷 一	石田 正行	座間2丁目3133番地	251-0009
栗原小学校	昭和25年	柏木 直樹	柏木 直樹	鳥淵 美和子	栗原中央六丁目8番1号	251-0074
相模野小学校	昭和37年	山手 温子	田中 恵子	田中 恵子	広野台一丁目41番1号	251-0625
相武台東小学校	昭和45年	山崎 聡子	山崎 聡子	柏木 直樹	栗原1302番地	251-6446
ひばりが丘小学校	昭和46年	小宮 美紀	小宮 美紀	小宮 美紀	ひばりが丘四丁目4番1号	252-1124
東原小学校	昭和48年	栗林 祥子	栗林 祥子	栗林 祥子	東原二丁目6番1号	253-3145
相模が丘小学校	昭和51年	西條 かおり	橋本 恵美子	橋本 恵美子	相模が丘三丁目1番1号	254-8202
立野台小学校	昭和52年	浜田 佐織	浜田 佐織	浜田 佐織	立野台一丁目1番3号	254-8100
入谷小学校	昭和53年	鳥淵 美和子	鳥淵 美和子	武富 美由紀	入谷西五丁目8番1号	253-7211
旭小学校	昭和55年	橋本 恵美子	西條 かおり	西條 かおり	ひばりが丘五丁目43番1号	253-2255
中原小学校	昭和59年	田中 恵子	野澤 慎	野澤 慎	西栗原二丁目16番1号	251-3882
座間中学校	昭和22年	宮崎 広孝	宮崎 広孝	江崎 厚史	緑ヶ丘四丁目6番10号	251-0135
西中学校	昭和42年	牧野 淳志	大西 さくら	大西 さくら	座間2丁目1230番地	251-2277
東中学校	昭和47年	大沢 奈緒美	大沢 奈緒美	宮崎 広孝	ひばりが丘五丁目57番1号	253-3357
栗原中学校	昭和52年	崔田 晃子	崔田 晃子	崔田 晃子	栗原中央六丁目4番1号	254-9977
相模中学校	昭和54年	小川 雅嗣	小川 雅嗣	小川 雅嗣	相模が丘六丁目35番1号	253-2183
南中学校	昭和61年	梶 弘之	梶 弘之	碓井 浩枝	南栗原三丁目8番1号	256-0700

学校名	学級数 (特別支援学級数)			教 員 数			職 員 数		
	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
座間小学校	30 (6)	31 (7)	31 (6)	44	46	46	7	9	8
栗原小学校	25 (5)	25 (5)	27 (6)	37	39	40	5	5	7
相模野小学校	18 (3)	19 (5)	18 (5)	32	28	28	4	5	5
相武台東小学校	20 (2)	22 (3)	21 (3)	28	31	30	5	6	6
ひばりが丘小学校	16 (4)	17 (5)	16 (4)	25	24	25	6	6	6
東原小学校	20 (2)	21 (3)	22 (4)	28	30	31	5	7	7
相模が丘小学校	24 (6)	25 (7)	24 (6)	35	36	36	5	5	5
立野台小学校	27 (5)	28 (7)	28 (7)	42	41	40	8	7	8
入谷小学校	18 (4)	19 (4)	19 (4)	26	29	31	6	5	6
旭小学校	19 (3)	21 (4)	20 (5)	28	32	31	6	6	6
中原小学校	16 (2)	20 (5)	22 (5)	27	29	30	6	6	6
計	233 (42)	248 (55)	248 (55)	352	365	368	63	67	70
座間中学校	18 (3)	18 (3)	17 (3)	37	36	35	2	2	2
西中学校	22 (6)	19 (3)	20 (4)	35	38	35	2	1	1
東中学校	19 (4)	20 (5)	20 (5)	37	34	35	1	1	1
栗原中学校	15 (2)	15 (2)	17 (4)	29	31	33	1	1	1
相模中学校	18 (3)	18 (3)	19 (4)	35	35	36	1	2	1
南中学校	15 (3)	16 (4)	16 (4)	27	27	28	1	1	1
計	107 (21)	106 (20)	109 (24)	200	201	202	8	8	7

※ 特別支援学級数は学級数の内数

(数値は学校基本調査による)

教員数＝校長＋教頭＋教諭＋養護教諭＋栄養教諭

職員数＝栄養士＋事務＋給食調理員

第8 学校施設

1 学校施設の状況

令和7年5月1日現在

区分 学校名	校地面積 (単位：㎡)	建物面積 (単位：㎡)	内 訳			屋内運動場	教室数(単位：室)	
			鉄 筋 コンクリート造	鉄骨造	木造		普 通	特 別
座 間 小 学 校	15,981.00	6,090	5,964	118	8	892	31	8
栗 原 小 学 校	16,545.00	5,860	5,788	72	0	979	25	12
相 模 野 小 学 校	17,651.00	5,721	5,634	87	0	967	19	10
相 武 台 東 小 学 校	16,231.00	6,217	6,121	96	0	874	22	10
ひばりが丘小学校	19,602.00	6,412	6,284	128	0	892	17	10
東 原 小 学 校	20,581.00	7,141	7,070	71	0	878	21	12
相 模 が 丘 小 学 校	14,375.00	6,100	6,036	64	0	853	25	13
立 野 台 小 学 校	15,803.21	6,319	6,299	10	10	886	28	12
入 谷 小 学 校	18,865.00	7,430	7,347	83	0	886	19	13
旭 小 学 校	13,779.00	6,680	6,596	84	0	886	21	11
中 原 小 学 校	15,564.00	6,531	6,531	0	0	902	20	9
小 計	184,977.21	70,501	69,670	813	18	9,895	248	120
座 間 中 学 校	33,278.00	5,970	5,471	499	0	1,326	18	22
西 中 学 校	21,919.00	6,141	5,619	522	0	1,247	19	17
東 中 学 校	24,825.08	6,673	6,521	152	0	1,203	20	20
栗 原 中 学 校	22,020.00	7,186	7,098	88	0	1,203	15	21
相 模 中 学 校	23,623.74	6,355	6,260	95	0	1,203	18	20
南 中 学 校	16,643.31	6,488	6,488	0	0	1,361	16	16
小 計	142,309.13	38,813	37,457	1,356	0	7,543	106	116
合 計	327,286.34	109,314	107,127	2,169	18	17,438	354	236

2 学校施設の整備状況

(1) 小学校施設整備状況

年 度	事 業 名	学 校	事 業 費 (円)
令和元	屋上防水改修工事	中原小学校A棟	41,247,800
	便所改修工事設計委託	座間小学校屋外便所	2,000,900
	小規模工事		2,597,240
	合 計		45,845,940
令和2	屋上防水改修工事	中原小学校B、C、D棟	64,631,600
	屋上防水改修工事	東原小学校2号棟	34,538,900
	便所改修工事	座間小学校屋外便所	29,546,000
	外壁及び屋上防水改修工事設計委託	相模野小学校1号棟	2,508,000
	外壁改修工事設計委託	栗原小学校1号棟	2,178,000
	小規模工事		2,598,400
	合 計		136,000,900
令和3	外壁改修工事	相武台東小学校1号棟（Ⅰ期）	88,449,900
	外壁改修工事	栗原小学校1号棟	105,056,600
	外壁及び屋上防水改修工事	相模野小学校1号棟	100,795,200
	外壁改修工事監理委託	相武台東小学校1号棟（Ⅰ期）	3,454,000
	外壁改修工事監理委託	栗原小学校1号棟	4,871,900
	外壁改修工事設計委託	ひばりが丘小学校2号棟及び屋内運動場	3,575,000
	小規模工事		2,589,200
	合 計		308,791,800
令和4	外壁改修工事	相武台東小学校1号棟（Ⅱ期）	55,401,500
	外壁改修工事	ひばりが丘小学校2号棟	66,121,000
	外壁及び屋上防水改修工事設計委託	相模野小学校2号棟	2,695,000
	外壁改修工事監理委託	相武台東小学校1号棟（Ⅱ期）	2,409,000
	外壁改修工事監理委託	ひばりが丘小学校2号棟	2,388,100
	外壁及び屋上防水工事設計委託	相模が丘小学校校舎及び屋内運動場	6,838,700
	屋根改修工事設計委託	中原小学校屋内運動場	2,126,300
	合 計		137,979,600
令和5	外壁改修工事	相武台東小学校1号棟（Ⅲ期）	56,089,000
	外壁改修工事	東原小学校1号棟	91,663,000
	外壁及び屋根改修工事	相模が丘小学校屋内運動場	73,821,000
	外壁改修工事監理委託	相武台東小学校1号棟（Ⅲ期）	2,640,000
	外壁及び屋根改修工事監理委託	相模が丘小学校屋内運動場	2,420,000
	小規模工事		1,594,450
	合 計		228,227,450
令和6	外壁改修工事	相模野小学校2号棟	112,090,000
	外壁及び屋根改修工事	ひばりが丘小学校屋内運動場	106,931,000
	外壁及び屋上防水改修工事	相模が丘小学校北棟	147,730,000
	外壁及び屋根改修工事監理委託	ひばりが丘小学校屋内運動場	2,750,000
	外壁改修工事設計委託	入谷小学校北棟・昇降口棟	2,849,000
	エレベーター設置工事設計委託	旭小学校	8,428,200
	小規模工事		1,625,800
	合 計		382,404,000

(2) 中学校施設整備状況

年 度	事 業 名	学 校	事 業 費
令和元	外壁及び屋上防水改修工事	東中学校 2 号棟	58,371,500
	小規模工事		2,484,000
	合 計		60,855,500
令和 2	外壁及び屋上防水改修工事設計委託	西中学校	4,488,000
	給水管改修工事設計委託	東中学校	2,750,000
	小規模工事		2,563,000
	合 計		9,801,000
令和 3	外壁及び屋上防水改修工事	西中学校 2 号棟	65,755,800
	給水管改修工事	東中学校 1 号棟	28,824,400
	便所改修工事設計委託	西中学校 2 号棟	3,336,300
	小規模工事		2,594,000
	合 計		100,510,500
令和 4	便所改修工事	西中学校 2 号棟	82,203,000
	給排水管改修工事	東中学校 2 号棟	26,125,000
	便所改修工事監理委託	西中学校 2 号棟	3,498,000
	給排水管改修工事監理委託	東中学校 2 号棟	1,947,000
	エレベーター設置工事設計委託	東中学校	6,349,200
	屋根・外壁・床改修工事設計委託	栗原中学校屋内運動場	2,816,000
	合 計		122,938,200
令和 5	外壁及び屋上防水改修工事	西中学校 1 号棟・昇降口	119,130,000
	エレベーター設置工事	東中学校	108,185,000
	屋根・外壁・床改修工事	栗原中学校屋内運動場	124,190,000
	外壁及び屋上防水改修工事監理委託	西中学校 1 号棟・昇降口	3,520,000
	エレベーター設置工事監理委託	東中学校	6,457,000
	屋根・外壁・床改修工事監理委託	栗原中学校屋内運動場	2,392,500
	小規模工事		779,900
	合 計		364,654,400
令和 6	外壁及び屋根改修工事設計委託	座間中学校技術科室・屋内運動場	5,610,000
	トイレ改修工事設計委託	西中学校 1 号棟	5,830,000
	小規模工事		1,458,600
	合 計		12,898,600

第9 市立小・中学校の沿革

座間小学校

明治 6年	明治5年8月3日学制が發布されたことに伴い座間入谷村に風牛学舎を設け、座間入谷村、座間村、新田宿村、四ツ谷村を通学区とした（7月）
明治 9年	学舎を学校と改称した。風牛学舎を分離して、座間学校と座間村学校の二つとした。座間学校は座間入谷村（入谷・新田・四ツ谷）に、座間村学校は座間村に置いた（9月）
明治18年	村内3小学校を廃して座間に至誠学校を栗原に馴養学校を設置した（8月）
明治19年	新たに小学校令が制定されたのを機に、至誠学校を廃し座間入谷村に日新小学校、座間村に真誠小学校、新田宿村に湘川小学校、栗原村に馴養小学校を置いた（4月9日）
明治28年	尋常馴養小学校のみを存し、他の3校を廃して尋常高等座間小学校を創立、新田宿に分教場を置いた（6月7日）。初代校長山口光太郎氏就任（12月18日）
明治33年	2代校長井上連作氏就任（11月19日）
明治45年	3代校長小島常吉氏就任（2月29日）
大正 5年	4代校長篠崎太一氏就任（3月31日）
大正 7年	5代校長笠間義治氏就任（8月31日）
大正10年	6代校長安西義一氏就任（3月31日）
大正11年	尋常栗原小学校を合併し、旧栗原小学校を分教場とした（3月31日）
大正12年	尋常高等座間小学校を座間尋常高等小学校と改称、栗原分教場の5年以上本校に通学校舎狭隘のため2・3学年は2部教授を実施（4月1日）
大正13年	7代校長杉崎正義氏就任（3月31日）
大正15年	8代校長仙波乗正氏就任（6月30日）
昭和13年	9代校長池田初蔵氏就任（8月31日）
昭和15年	10代校長杉崎正義氏就任（3月31日）
昭和16年	国民学校令が公布され座間国民学校となる（4月1日） 町制施行により相模原座間国民学校と改称（4月29日）
昭和18年	11代校長小方仙太郎氏就任（9月10日）
昭和23年	相模原町からの分町に伴い座間町立座間小学校と改称（9月1日）
昭和24年	12代校長加藤昌栄氏就任（6月10日）
昭和25年	栗原分教場の独立に伴い座間町立座間第一小学校と改称（4月25日）
昭和30年	創立60周年記念事業として校歌が制定された（11月23日）
昭和34年	13代校長押田福蔵氏就任（8月1日）
昭和35年	学校給食開始
昭和37年	座間第一小学校の分身校として座間第三小学校が新設された（4月1日）
昭和38年	14代校長関弥一氏就任（9月1日） 学校給食優良校として文部省、神奈川県教育委員会より表彰を受ける（9月26日）
昭和39年	第一校舎建設落成（12月）
昭和40年	健康優良校として神奈川県教育委員会、神奈川県学校保健連合会、朝日新聞社より表彰を受ける（10月17日）
昭和41年	15代校長山田嘉茂氏就任（9月1日）

昭和42年	学校放送研究委嘱校として日本放送協会より感謝状を受ける（3月31日）
昭和43年	環境美化優良校として神奈川県教育委員会より表彰を受ける（2月24日）
昭和45年	16代校長飯島和治氏就任（9月1日）
昭和46年	市制施行により座間町立座間第一小学校を座間市立座間第一小学校と改称（11月1日）
昭和47年	17代校長塩脇文氏就任（9月1日）
昭和48年	座間市立座間第一小学校を座間市立座間小学校と改称（4月1日）
昭和50年	創立80周年記念事業として教育史料館が建設された
昭和51年	18代校長石井輝男氏就任（9月1日）
昭和53年	座間市立座間小学校の分身校として、座間市立入谷小学校が新設された（4月4日）
	19代校長萩原達夫氏就任（9月1日）
昭和55年	20代校長佐藤利孝氏就任（9月1日）
昭和58年	21代校長伊東行雄氏就任（9月1日）
昭和60年	創立90周年記念事業として飼育小屋が建設された
昭和61年	22代校長小畑玄功氏就任（4月1日）
	運動場の改修（盛土・排水工事）が行われた（7月～8月）
平成 元年	23代校長嶋村與四松氏就任（4月1日）
	第一校舎外装工事（8月）
平成 2年	第一校舎屋上改修（4月）
	給食室周囲工事（7月）
平成 4年	24代校長大谷之彦氏就任（4月1日）
	学校施設開放教室設置（第一校舎）（7月）
	市教育委員会教育課程等研究推進校（国語）となる。
平成 5年	第一校舎外壁改修工事（7月～8月）
	テレビ取替え工事。市教育委員会教育課程等研究推進校（国語）として研究発表会開催（11月30日）
平成 7年	25代校長金子功雄氏就任（4月1日）
	創立100周年記念式典挙行。記念事業として、記念碑建立・記念音楽会開催・記念誌発行（10月28日）
平成 8年	給食室屋根改修工事（7月）
	屋内運動場外壁及び屋根改修工事（7月～8月）
	消火栓・警報機改修工事（7月～8月）
	第三校舎屋上防水工事（8月～9月）
平成 9年	26代校長河合寛行氏就任（4月1日）
平成10年	「PTA発足50周年を語る会」開催。歴代PTA会長・校長参加（5月16日）
	1号棟耐震工事並びにトイレ改修工事（7・8月）
平成11年	米海軍厚木航空施設に勤務する米国人の保護者を中心とした人たちのボランティア活動により、タイヤ跳び・回旋塔・防玉ネット・渡り廊下の壁面等の修理・設置等が行われた（2月～4月）
	2号棟耐震工事及びトイレ・理科室改修工事（7月～9月）

- 「座間幼年会に学ぼう」をテーマにPTAとの共催で懇話会を開催。出席者は、初代PTA会長井上治夫氏始め、パネラー6名（10月19日）
- 平成12年 ボランティア活動により鶏小屋の金網張替え（6月17日）
27代校長印牧勲氏就任（4月1日）
- 平成13年 ボランティア活動により鶏小屋のトタンの張替え（6月30日）
1号棟1階2教室及び2階3教室の改修工事、2号棟2階パソコン設置工事（7～8月）
校内研究発表会「21世紀に生きる心豊かな人間の育成 ～地域に根ざした総合的な学習の実践～」（11月22日）
- 平成14年 3号棟耐震工事及びトイレ改修工事（6月～10月）
- 平成15年 28代校長石附富美夫氏就任（4月1日）
- 平成16年 PTAの協力により1号棟3階教室の後方掲示板の整備（7月25日）
- 平成17年 座間市小学校教育研究会主催の研究発表会で、「総合的な学習の時間」の研究発表（2月16日）
29代校長日野孝一氏就任（4月1日）
PTAの協力により2号棟3階教室の後方掲示板の設置（7月17日）
第1回「ごまっ子まつり」開催（11月20日）
- 平成18年 体育館耐震工事、2号棟屋上雨漏り防止工事及び1号棟教室・屋上で入り口天井アスベスト除去工事
- 平成19年 PTA成人講座「座間の宝物・幼年会を知っていますか」を開催（2月22日）
座間市教育課程研究推進校として、総合的な学習の時間の研究発表（11月2日）
- 平成20年 安心・安全掲示板の設置（5月）
PTA総会にて米作り31年目、指導者 鈴木彰氏表彰
- 平成21年 30代校長島田克己氏就任（4月1日）
- 平成22年 座間小学校教育研究会主催の研究発表会で、研究テーマ「21世紀に生きる心豊かな人間の育成」で研究発表（2月10日）
- 平成23年 学校銘板書き換え（8月）
座間市教育課程等研究推進校として国語科の研究発表（11月22日）
- 平成24年 31代校長唐木田正富氏就任（4月1日）
1号棟、消火管漏水修繕のための工事が行われる
- 平成25年 肢体不自由学級「つばめ」設置（4月）
通級指導教室設置（4月）
普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成26年 3号棟外壁改修工事及び屋上防水工事
- 平成27年 PTAベルマークセメダインキャンペーン全国第1位（3月3日）
病弱虚弱学級「ふたば級」設置（9月26日）
創立120周年記念式典を挙行し記念誌を発行（10月31日）
- 平成28年 32代校長日向野亨氏就任（4月1日）
国際教室設置（4月1日）
2号棟、3号棟、屋内運動場の外壁改修工事（7月～9月）
- 平成31年 33代校長小宮美紀氏就任（4月1日）

令和 元年	P T A総会にて野菜づくり（畑）指導者 吉川正昭氏表彰（5月17日）
令和 2年	外トイレ改修工事（10月） 放課後子ども教室「ざまっ子教室」開設（9月）
令和 3年	病弱虚弱学級「ふたば級」閉級、特別支援学級の名称を「つぐみ級」に改名（4月1日）
令和 4年	給食室空調設備設置（2月）
令和 5年	34代校長大谷一氏就任（4月1日） 照明設備LED化工事（8月）
令和 6年	座間市教育課程等研究推進校として国語科の研究発表（11月21日）
令和 7年	35代校長石田正行氏就任（4月1日）

栗原小学校

昭和25年	座間小学校より独立し、座間第二小学校として開校 児童数430名、学級数11 栗原学校の校舎を移築し講堂として使用（5月） 初代校長古矢哲太郎氏就任（8月31日）
昭和26年	村上ミキ氏よりピアノ寄贈（10月20日）
昭和33年	2代校長清水正之氏就任（7月1日）
昭和34年	県教育委員会の研究委嘱校として理科教育の研究発表会開催（2月6日）
昭和35年	創立10周年記念事業として校旗を作成し校歌を制定（5月1日）
昭和36年	鼓笛隊創立（9月30日）
昭和37年	座間第三小学校の開校に伴い、学区の一部を分離（4月1日）。 3代校長青木金弥氏就任（9月1日） 栗原学校創立100周年記念事業として「栗原の歴史を語る」を発刊（11月15日）
昭和38年	学校給食開始
昭和42年	南校舎竣工（3月） 4代校長塩脇文氏就任（9月2日） 屋内運動場竣工（11月）
昭和45年	北校舎竣工（3月） 学区の一部が相武台東小学校として開校（4月）
昭和46年	市制施行により座間市立座間第二小学校となる（4月1日）
昭和47年	5代校長石井輝男氏就任（9月1日）
昭和48年	県教育委員会より交通安全優良校として表彰される（4月1日） 座間市立栗原小学校と改称。学区の一部が東原小学校として開校（4月1日）
昭和51年	6代校長山崎蕃氏就任（9月1日）
昭和52年	学区の一部が座間市立立野台小学校として開校（4月1日）
昭和54年	7代校長大塚昇氏就任（9月1日）
昭和55年	創立30周年記念事業として、史料室設置。「栗原の歴史を語る」再刊（5月1日）
昭和59年	県社会福祉研究普及校として研究発表会開催（2月22日） 給食調理室新築完成（3月1日） 8代校長嶋津豊氏就任（4月1日）

	学区の一部が座間市立中原小学校として開校（４月１日）
	北校舎屋上改修工事（９月）
昭和６１年	南校舎屋上工事（９月）
昭和６２年	９代校長諸節秀夫氏就任（４月１日）
昭和６３年	南校舎外装工事（８月）
平成 元年	北校舎外装工事（８月）
平成 ２年	１０代校長西野達雄氏就任（４月１日）
平成 ４年	県学校運営のありかた等研究実践校として研究発表会開催（２月２１日）
平成 ５年	県学校運営のありかた等研究実践校として研究発表会開催（２月１６日）
	１１代校長宇佐正昭氏就任（４月１日）
平成 ６年	学校運営のありかた等研究実践校３年目として「社会の変化に対応し得る新たな教育活動をめざして」をテーマに研究発表会を開催（２月４日）
平成 ７年	「児童が意欲的に学び基礎的な力をつける算数指導～教材・教具の工夫～」をテーマに研究に着手（４月１７日）
平成 ８年	国際交流教育実践研究校の委託を受け１年目の研究に着手
平成 ９年	１号棟１階西側トイレ改修、併せて昇降口に車椅子の通路を整備（３月４日）
	１２代校長大谷徹氏就任（４月１日）
	２号棟１・２階のトイレの改修（１０月２０日）
平成１１年	国際交流教育については継続して「ふれあい教育」で推進。
	算数科の研究（校内研究）５年目に着手
	屋内運動場床の一部張替え（８月２５日）
	保健室空調設備完備（９月２４日）
	１号棟耐震工事
平成１２年	市小学校教育研究会で校内研究発表（２月）
	「人間性豊かで自立できる子の育成ー生活科・総合的な学習の実践を通してー」を研究テーマとして生活科・総合的な学習の研究に着手（～１３年度の２年間）
	２号棟耐震工事
	創立５０周年記念式典開催（１０月２８日）
平成１３年	生活科・総合的な学習の校内研究２年目に着手
	南校舎屋上防水工事（９月）
	ＰＣ教室開設（１１月１日）
平成１４年	門扉改修工事（４箇所）完了（３月１日）
	１３代校長宅間二郎氏就任（４月１日）
	座間市教育課程等研究推進校に指定される（１４、１５年度）
	生活科・総合的な学習の時間研究（テーマ：人間性豊かで自立できる子の育成）（４月）
	屋外便所及び体育器具庫改修工事
	公共下水道接続工事（第１期）
平成１５年	バリアフリー工事（玄関）公共下水道接続工事（第２期）
	温度保持除湿防音工事（７月～平成１６年９月）
	座間市教育課程等研究推進校としてテーマ「人間性豊かで自立できる子の育成」の研究

	発表会を開催（１１月２８日）
平成１６年	１４代校長亀岡初雄氏就任（４月１日） バリアフリー工事（体育館への渡り廊下）（８月）
平成１７年	１５代校長三浦博昭氏就任（４月１日） 座間市小学校教育研究発表会にて「生活科・総合的な学習の時間の研究：人間性豊かで自立のできる子の育成」の研究発表 国語科校内研究に着手
平成１８年	１号棟西側トイレ改修工事（７月～８月）
平成１９年	１６代校長平野昭雄氏就任（４月１日） 屋内運動場耐震補強工事（６月～８月） １号棟西側トイレ改修工事（７月～８月） 特別支援学級・情緒障害級「わかば級」開設 国際教室開設
平成２０年	座間市教育課程等研究推進委託校（１年目） １号棟東側トイレ改修工事（７月～８月）
平成２１年	国語科校内研究（５年目） 座間市教育課程等研究推進委託校（２年目） 座間市教育課程等研究推進委託校研究発表会（１１月）
平成２２年	１７代校長平本岳男氏就任（４月１日） 創立６０周年記念航空写真（５月）
平成２３年	座間市小学校教育研究会にて研究発表会（２月） ２号棟外壁工事及び屋上防水工事（７月～８月）
平成２４年	１号棟屋上防水工事（７月～９月）
平成２５年	屋内運動場床工事（７月～９月）
平成２６年	１８代校長山近佐知子氏就任（４月１日）
平成２７年	教室ロッカー清掃用具入れ改修工事（７月～８月）
平成２８年	座間市教育課程等研究推進委託校研究発表会（１１月）
平成２９年	１９代校長直井恵子氏就任（４月１日）
平成３０年	特別支援学級・肢体不自由級「どんぐり級」開設
令和 元年	座間市姉妹都市アメリカテネシー州スマーナ市 市長他派遣団来校（５月）
令和 ２年	２０代校長柏木直樹氏就任（４月１日） 座間市教育課程等指定研究校（１年目） 放課後子ども教室「栗っ子教室」開設（９月）
令和 ３年	南校舎外壁工事 座間市教育課程等研究推進委託校研究発表会（１１月） ２号棟２階３階トイレ改修工事（１２月～令和４年４月）
令和 ４年	学校運営協議会の設置（４月） 普通教室等空調設備更新工事（７月～８月） 給食室空調設備設置（２月）
令和 ５年	照明設備ＬＥＤ化工事（８月）
令和 ７年	２１代校長鳥淵美和子氏就任（４月１日）

< 参 考 >

文久 2年	栗原小学校の前身である郷学校「誠志館」が大矢弥市氏、弥七氏兄弟の尽力により大矢弥市氏の南屋敷内に開設
明治 2年	「誠志館」を廃し「協同学舎」と改称
明治 6年	学制発布にともない公立学校として「協同学舎」として発足
明治 7年	「協同学舎」を「栗原学校」と改称
明治12年	5間×8間亜鉛引き鉄板葺二階建洋風校舎竣工（現専福寺境内）
明治20年	教育令の改正により尋常訓養小学校と改称
明治40年	小学校令改正により栗原小学校と改称
大正11年	座間小学校に統合され栗原分教場となる。

相模野小学校

昭和37年	座間第一小学校、座間第二小学校より独立、座間中学校体育館を間仕切りし仮校舎とし、座間第三小学校として開校 児童数340名、学級数8 初代校長飯島和治氏就任（4月1日） 新校舎竣工、現在地に移転、校旗作成、校歌制定（11月25日）
昭和38年	学校給食開始（2月25日）
昭和39年	県交通安全協会より交通安全指導優良校として感謝状を受ける（9月21日） 県教育委員会より交通安全優良校として表彰される（12月25日）
昭和40年	新館（第2棟）竣工（12月23日）
昭和42年	屋内運動場竣工
昭和43年	県教育委員会の指定による算数研究発表会開催（2月）
昭和45年	相武台東小学校分離独立（4月1日） 2代校長山崎蕃氏就任（9月1日）
昭和46年	交通安全教育校として研究発表会開催（10月） 市制施行に伴い座間市立座間第三小学校と改称（11月1日）
昭和48年	座間市立相模野小学校と改称（4月1日） 3代校長石川重利氏就任（4月1日）
昭和51年	相模が丘小学校分離独立 4代校長萩原達夫氏就任 言語学級を設置（4月1日）
昭和53年	5代校長波多野良子氏就任（9月1日）
昭和55年	旭小学校分離独立（4月1日）
昭和56年	6代校長斎藤憲一氏就任（9月1日） 創立20周年記念式典を挙行（11月25日）
昭和59年	7代校長澤田安夫氏就任（4月1日）
昭和61年	8代校長麻生恂氏就任（4月1日） 創立25周年記念事業として、航空写真撮影（11月11日） 市教育委員会指定国語科研究発表会開催（12月2日）

平成 元年	9代校長外山勉氏就任（4月1日）
平成 3年	創立30周年記念式典を挙行（10月19日）
平成 4年	10代校長小野優氏就任（4月1日）
平成 5年	市教育委員会より理科の研究指定を受ける（4月1日）
平成 6年	理科・生活科研究発表会（11月16日）
平成 7年	11代校長片寄勝恵氏就任（4月1日）
平成 8年	県ボランティア協力校（～3年間）（4月1日）
平成 9年	県教育委員会より、いじめ問題研究推進校の指定を受ける（4月1日）
平成10年	12代校長宮地春雄氏就任（4月1日）
平成11年	市教育委員会より国際交流教育実践研究の委託を受ける（4月1日）
平成12年	市教育委員会より教育課程等研究推進校（生活科・総合的な学習）として委託を受ける（～12年度）
平成12年	校舎温度保持除湿防音工事（～13年）
平成13年	13代校長青木千津子氏就任（4月1日） 市教育委員会教育課程等推進校として、生活科・総合的な学習研究発表会の開催（10月31日）
平成15年	座間市情報教育推進事業の委託を受ける。
平成16年	テディベアプロジェクトに参加
平成17年	14代校長福田耕児氏就任（4月1日）
平成18年	市教育委員会より教育課程等研究推進校（生活科・総合的な学習）として委託を受ける（～19年）
平成19年	屋内運動場耐震補強及び改修工事（6月～12月）
平成20年	下水道接続工事及び外トイレ改修工事（6月～10月）
平成21年	15代校長吉川俊彦氏就任（4月1日） 学校名札書き換え（金子教育長書）（8月） 本館トイレ改修工事（6月～8月） 50インチテレビ全教室に配置（12月）
平成22年	新館児童昇降口改修工事（2月） 本館東側階段手すり増設工事（8月） 池の改修工事（8月）
平成23年	市教育委員会より教育課程等研究推進校（ICTの活用）として受託（～24年） 創立50周年記念式典（10月29日）
平成24年	市教育委員会教育課程等研究推進校として、研究発表会の開催（11月22日）
平成25年	16代校長木島弘氏就任（4月1日）
平成27年	17代校長橋本武氏就任（4月1日）
平成28年	市教育委員会より教育課程等研究推進校として受託（～29年）
平成29年	市教育委員会教育課程等研究推進校として、研究発表会の開催（1月18日）
平成31年	18代校長山手温子氏就任（4月1日）
令和 3年	創立60周年記念航空写真撮影（4月19日） 放課後子ども教室「のこのこ教室」開設（5月）

- 令和 4年 本館校舎外壁工事（7月～12月）
普通教室等設空調備更新工事（7月～8月）
給食室空調設備設置（2月）
- 令和 5年 照明設備LED化工事（8月）
- 令和 6年 19代校長田中恵子氏就任（4月1日）
新館校舎外壁工事（6月～3月）

相武台東小学校

- 昭和45年 座間第三小学校より独立
座間第三小学校の校舎の一部を仮校舎とし、座間町立相武台東小学校として開校
児童数620名、学級数18
初代校長和田泰比古氏就任（4月1日）
- 昭和46年 校舎竣工、校旗作成、校歌制定（3月4日）
現在地に移転（3月6～7日）
市制施行に伴い座間市立相武台東小学校と改称（11月1日）
- 昭和47年 第二校舎竣工（3月15日）
2代校長大舘鎮夫氏就任（4月1日）
- 昭和48年 屋内運動場竣工（2月28日）
特殊学級（精神薄弱学級）「たんぼぼ学級」を設置（4月）
- 昭和49年 県教育委員会指定交通安全教育研究発表会開催（2月18日）
- 昭和50年 交通安全子ども自転車大会にて優勝（6月22日）
- 昭和51年 第18回交通安全国民運動大会にて全日本交通安全協会より表彰（1月20日）
2号棟増築工事竣工（3月25日）
3代校長頼住権平氏就任（9月1日）
- 昭和54年 4代校長伊東行雄氏就任（9月1日）
- 昭和55年 開校10周年記念式典（3月5日）
- 昭和58年 5代校長三矢智光氏就任（9月1日）
算数科「数と計算」の領域を通して市の推進校として発表会開催（11月14日）
- 昭和61年 6代校長嶋村與四松氏就任（4月1日）
- 昭和62年 体育科「基本の運動・器械運動」の領域を通して市の推進校として発表会開催
（11月25日）
- 平成 元年 7代校長石川稔氏就任（4月1日）
アスベスト完全撤去工事、第2棟暖房機交換（8月）
- 平成 2年 開校20周年記念式典を挙行、記念事業として和室を設置（3月5日）
1号棟出入口鋼製建具・屋上防水・外壁・屋上手摺及び屋内運動場照明改修工事（8月）
- 平成 3年 8代校長石村恭子氏就任（4月1日）
- 平成 4年 2号棟出入口鋼製建具・屋上防水及び手摺・外壁改修工事（8月）
- 平成 7年 9代校長若林重一氏就任（4月1日）
屋内運動場屋根塗装工事（8月）
- 平成 8年 1・2号棟上水道配管更生工事（8月）

平成10年	10代校長牧野征太郎氏就任（4月1日） 市教育委員会教育課程等研究推進校（国語）の委託を受ける（～11年度）
平成11年	市教育委員会教育課程等研究推進校として国語科研究発表会の開催（12月3日）
平成12年	1号棟耐震補強工事及び便所改修工事（8月）
平成13年	2号棟耐震補強工事及び便所改修工事（8月） 耐震性貯水槽（飲料水兼用）設置工事（11月～3月） 国際交流教育実践研究の委託を受ける（～14年度）
平成14年	11代校長小林義幸氏就任（4月1日） 1号棟昇降口嵩上げ工事（8月）
平成16年	市教育委員会教育課程等研究推進校の指定を受ける。 心の通い合う学びを求めて、生活科・総合的な学習の時間を中心に、テーマ「心情豊かに生き生きと活動する子の育成」 2号棟昇降口嵩上げ工事（8月）
平成17年	屋内運動場ライン引き作業（7月） 1号棟配膳室他改修工事（8月） 市教育委員会教育課程等研究推進校として研究発表会（生活科・総合的な学習の時間）の開催（11月22日）
平成18年	12代校長砂田有三氏就任（4月1日）
平成20年	特別支援学級（情緒級）「たんぼぼ学級2組」を新設（4月1日）
平成21年	13代校長黒川裕行氏就任（4月1日） 屋外便所改築及び公共下水道接続工事（5月～12月）
平成22年	学校IT化事業により校内LAN、電子黒板、教員用PC、大型テレビ等整備（3月） 市教育委員会教育課程等研究推進校の指定を受ける（4月） 知的障害学級「たんぼぼ学級3組」を増設（4月） 家庭科室改修工事（2月～5月）
平成23年	用務員室改修工事（8月） 市教育課程等推進校として研究発表会の開催（11月11日）
平成24年	14代校長小井田由美子氏就任（4月1日）
平成25年	弱視級「なのはな」級開設（4月） 視覚障がい学級の増設に伴い、「たんぼぼ学級3組」を「つくし」級に名称変更（4月） 普通教室等空調整備工事（6月～8月）
平成26年	屋内運動場外壁工事及び職員トイレ改修工事（7月）
平成27年	1号棟屋上防水工事 校庭東側法面地盤調査
平成28年	15代校長金子憲勝氏就任（4月1日） 肢体不自由級「れんげ級」開設（4月） 国際教室開設（4月）
平成29年	市教育委員会教育課程等研究推進校の指定を受ける（4月） 「心豊かに生き生きと活動する子を目指して」～学び合うことを中心に～ 東側法面保護工事
平成30年	市教育委員会教育課程研究推進校として研究発表会（全領域）の開催（2月1日）

	2号棟外壁工事
	放課後子ども教室「ひまわり」開設
平成31年	指定研究発表（2月1日） 「心豊かに生き生きと活動する子を目指して」 ～学びあいを通して、みんなとわかる～
令和 元年	創立50周年記念式典挙行（10月19日）
令和 2年	16代校長浜田佐織氏就任（4月1日）
令和 3年	市教育委員会教育課程等研究推進校の指定を受ける（4月） 1号棟校舎（西側）外壁改修工事（7月～12月）
令和 4年	1棟校舎（中央部）外壁改修工事（7月～12月） 指定研究発表（11月15日） 「心豊かに生き生きと活動する子を目指して」 ～書くことを通して考え、学び合う授業づくり～ 給食室空調設備設置（2月）
令和 5年	17代校長山崎聡子氏就任（4月1日） 照明設備LED化工事（4月） 1号棟（東側）外壁改修工事（7月～11月）
令和 6年	移動図書館ひまわり号開設 水泳指導（ルネサンス・イオンモール座間24） 相武台児童ホーム、相武台地区児童ホーム開設（12月）
令和 7年	18代校長柏木直樹氏就任（4月1日）

ひばりが丘小学校

昭和46年	座間第二小学校より独立、座間第二小学校の校舎の一部を仮校舎とし、座間町立ひばりが丘小学校として開校 初代校長萩原達夫氏就任（4月1日） 児童数419名、学級数13（4月10日） 新校舎竣工落成、現在地に移転（8月31日） 市制施行に伴い座間市立ひばりが丘小学校と改称（11月1日）
昭和47年	校歌制定（1月26日）校旗作成（10月28日）
昭和48年	県教育委員会より環境美化優良校として表彰（12月1日）
昭和49年	北校舎及び屋内運動場竣工（3月25日）
昭和51年	県教育委員会指定学校保健研究発表会開催（2月19日） 北校舎増築竣工（3月25日） 2代校長佐藤利孝氏就任（4月1日） 県学校保健・健康優良校として表彰（12月1日）
昭和52年	良い歯の学校として県表彰（10月19日） 県学校保健・健康優良校として表彰（11月22日）
昭和53年	ひばり学級（特殊学級）を新設（4月1日） 県学校保健・県健康優良校として表彰（11月21日）

昭和54年	全日本健康優良校県代表として、朝日新聞、文部省、厚生省より表彰（11月3日）
昭和55年	3代校長藤野建造氏就任（9月1日） 創立10周年記念式典（11月15日）
昭和57年	県健康教育研究発表会（11月12日）
昭和59年	県学校給食優良校表彰（1月24日） 4代校長福田範子氏就任（4月1日） 昭和59・60年度市教育委員会教育課程等研究推進校の委託を受ける（4月1日）
昭和60年	県教育委員会教育課程研究推進校並びに市教育課程等研究推進校・道徳教育研究発表会（11月22日）
昭和63年	5代校長和田重雄氏就任（4月1日）
平成 2年	市教育委員会教育課程等研究推進校・道徳教育研究中間発表会（3月2日） 市教育委員会教育課程研究推進校・道徳教育研究発表会（11月20日）
平成 3年	6代校長日高悦夫氏就任（4月1日）
平成 5年	市教育委員会より国際交流教育実践研究校の委託を受ける（一次）
平成 6年	7代校長庄子正彦氏就任（4月1日）
平成 7年	市教育委員会より国際交流教育実践研究校の委託を受ける（二次）
平成 8年	平成8・9年度市教育委員会教育課程等研究推進校の委託を受ける（4月1日）
平成 9年	市教育委員会教育課程等研究推進校・研究発表会「全領域」（11月28日）
平成10年	8代校長片寄勝恵氏就任（4月1日） 東中学校区道徳実践活動推進事業に参加（～12年度）
平成12年	創立30周年記念こども音楽会を開催（11月10日）
平成13年	市教育委員会教育課程等研究推進校として「自ら学び行動する子の育成～総合的な学習の研究を通して～」を研究（～14年度） 南棟耐震補強工事
平成14年	9代校長大谷徹氏就任（4月1日） 北棟耐震補強及び便所改修工事
平成15年	市教育委員会教育課程等研究推進校研究発表会「総合的な学習の時間」（2月7日） 市教育委員会より国際交流教育実践研究校の委託を受ける（一次）
平成16年	市教育委員会より国際交流教育実践研究校の委託を受ける（二次）
平成17年	10代校長若山正治氏就任（4月1日）
平成18年	子ども読書活動推進モデル地区校の指定を受ける。（4月1日） 学校コンサルテーション事業に参加（4月1日）
平成19年	平成19・20年度市教育委員会教育課程等研究推進校の委託を受ける（4月1日）
平成20年	ひばり憩いの広場完成（6月） 市教育委員会教育課程等研究推進校研究発表会「国語科」（11月21日）
平成21年	11代校長尾崎幸利氏就任（4月1日） 屋内運動場耐震補強工事（7月～平成22年8月）
平成22年	北棟家庭科室改修工事（3月～6月） 南棟外壁改修工事（7月～9月） 創立40周年記念航空写真撮影（10月13日）

- 平成24年 市小研研究発表会において研究実践発表（2月8日）
12代校長八木正純氏就任（4月1日）
平成24・25年度市教育委員会教育課程等研究推進校の委託を受ける（4月1日）
国際教室新設（4月）
- 平成25年 普通教室等空調整備工事（3月～10月）
- 平成26年 日産財団理科教育助成を受け「自ら学び行動する子の育成～理科・生活科を通して～」を研究（1月～平成27年12月）
市教育委員会教育課程等研究推進校研究発表（2月14日）
- 平成27年 南棟屋上防水改修工事（6月～9月）
- 平成28年 13代校長有川正則氏就任（4月1日）
- 平成29年 放課後子ども教室「ひばりっ子」開設（4月）
北棟屋上防水改修工事（3月）
- 平成30年 座間市小学校教育研究会発表（2月）
職員玄関ドア改修工事（3月）
平成30・31年度市教育委員会教育課程等研究推進校「全領域」の研究委託を受ける。（4月1日）
南棟給水管修理工事（7月～8月）
- 平成31年 14代校長鍛代哲也氏就任（4月1日）
- 令和2年 市教育委員会教育課程等研究推進校として『「自分を表現し、互いに学び合う子の育成」～聴いて、考えて、つなげる授業を生かして～』研究発表会（全領域）の開催（1月23日）
肢体不自由級「ひばり4組」開設（4月）
- 令和2年 創立50周年記念式典挙行（11月25日）
- 令和3年 15代校長西川麻里子氏就任（4月1日）
南棟3階 教室・トイレ修繕（6月～8月）
- 令和4年 南棟1階 職員トイレ修繕（6月）
南棟2階 教室・廊下・トイレ修繕（12月）
北棟外壁工事（5月～12月）
給食室空調設備設置（2月）
- 令和5年 16代校長小宮美紀氏就任（4月1日）
令和5・6年度市教育委員会教育課程等研究推進校の研究指定を受ける（4月1日）
北棟2階 教室・廊下・トイレ修繕（8月）
照明設備LED化工事（8月）
- 令和6年 屋内運動場外壁及び屋根改修工事（2月終了）
- 令和7年 市教育委員会教育課程等指定研究校として研究発表「国語」（1月30日）

東原小学校

- 昭和48年 栗原小学校より独立、座間市立東原小学校として開校
児童数548名、学級数16
初代校長山崎蕃氏就任（4月1日）

	校旗作成（１０月７日）
	座間市より東原児童会表彰（１１月３日）
昭和４９年	県教育委員会の学校放送モニター校となる（４月１日）
昭和５１年	屋内運動場竣工（２月１３日）校歌制定（３月１０日）
	県教育委員会より特別活動研究指定校（４月１日）
	２代校長大舘鎮夫氏就任（９月１日）
昭和５３年	座間地区交通安全優良校として表彰（１月２３日）
昭和５４年	県学校給食優良校として表彰（１月２３日）
	県交通安全優良校として表彰（２月６日）
	３代校長斎藤憲一氏就任（９月１日）
昭和５５年	２号棟校舎竣工（４月１日）
昭和５６年	４代校長嶋津豊氏就任（９月１日）
昭和５７年	県・市社会福祉研究普及校となる（４月１日）
	開校１０周年記念式典（１１月９日）
昭和５９年	５代校長加藤一夫氏就任（４月１日）
平成 元年	６代校長大谷之彦氏就任（４月１日）
平成 ２年	県社会福祉協議会のボランティア協力校となる（４月１日）
平成 ４年	７代校長外山勉氏就任（４月１日）
	開校２０周年記念式典（１０月３１日）
平成 ８年	８代校長笠井武彦氏就任（４月１日）
平成１０年	平成１０・１１年度市教育委員会教育課程等研究推進校となる（４月１日）
	校地外周フェンス改修工事（８月）
平成１１年	屋内運動場床面の改修工事及び１号棟外壁改修工事（８月）
	市教育課程等推進校として「児童指導」に関する研究を発表（１１月２６日）
平成１２年	９代校長宇佐正昭氏就任（４月１日）
平成１３年	１号棟耐震補強工事（７月～８月）
平成１４年	創立３０周年記念祭（１０月２６日）
平成１５年	１０代校長浅田マリ子氏就任（４月１日）
平成１６年	県教育委員会「子どもキラキラタイム」実践研究拠点校指定（４月）
	「子どもと親の相談員」配置（７月１日）
平成１８年	１１代校長石原朗宏氏就任（４月１日）
平成１９年	平成１９・２０年度市教育委員会教育課程等研究推進校となる（４月１日）
平成２０年	国際教室開設（４月）
	市教育委員会教育課程等研究推進校「生活科総合的な学習の時間」研究発表会（１１月２８日）
平成２２年	１２代校長西山正成氏就任（４月１日）
	屋内運動場耐震工事、２号棟トイレ改修工事及び１号棟事務室・相談室新設工事（８月）
	地上波デジタル工事（８月）
平成２４年	１３代校長黒川裕行氏就任（４月１日）
	平成２４・２５年度市教育委員会教育課程等研究推進校となる（４月１日）

平成25年	市小学校教育研究所にて、研究発表（2月13日）
平成26年	市教育委員会教育課程等研究推進校「表現する力を育てる国語科の指導」研究発表会（1月24日） 普通教室等空調整備工事（6月～8月）
平成27年	14代校長有山周一氏就任（4月1日） 2号棟外壁補修・塗装工事（7月～9月）
平成28年	1号棟屋上防水工事（7月～8月）
平成29年	平成29・30年度市教育委員会教育課程等研究推進校となる（4月1日）
平成30年	放課後子ども教室「ひがしっ子」開設（5月） 市教育委員会教育課程等研究推進校「たくましく 心豊かに生きる子の育成」～考え、学び合う道徳の授業を目指して～研究発表会（11月15日）
平成31年	座間市小学校教育研究会発表（2月） 15代校長大谷一氏就任（4月1日）
令和2年	日産財団理科教育助成を受ける。（1月～令和4年12月）
令和3年	「学校運営協議会」を設置（4月） 「P'sラボ」を設置（7月）
令和4年	創立50周年記念式典挙行（10月15日） 令和4・5年度市教育委員会教育課程等研究推進校となる（4月1日） 給食室空調設備設置（2月）
令和5年	16代校長栗林祥子氏就任（4月1日） 1号棟外壁改修工事（7月～12月） 市教育委員会教育課程等研究推進校「たくましく 心豊かに生きる子の育成」～読む力を高めて 自分の考えを広げる～研究発表会（11月7日） 照明設備LED化工事（12月）

相模が丘小学校

昭和51年	相模野小学校より独立し、相模が丘小学校として開校 初代校長石川重利氏就任、校旗作成（4月1日） 開校式 鹿野市長宣言、児童数1,078名、学級数28、職員数45名（4月2日） 開校記念日を10月19日と制定（7月20日） 校歌制定（12月6日）
昭和52年	鼓笛隊編成（9月1日）
昭和53年	屋内運動場竣工（2月25日）
昭和54年	県教育委員会実験校及び市教育委員会研究指定校として「児童指導」の中間研究発表（2月28日） 児童指導の研究により学研教育賞受賞（11月17日）
昭和55年	県教育委員会より学校給食優良校として表彰（1月24日） 県教育委員会実験校及び市教育委員会研究指定校として「児童指導」の研究を発表（2月5日） 学校給食優良校として文部大臣より表彰（10月30日）

昭和56年	2代校長波多野良子氏就任（9月1日）
昭和59年	市教育委員会研究推進校として「児童指導」による研究の中間発表（2月27日） 3代校長川口博氏就任（4月1日）
昭和60年	市教育委員会研究推進校として「児童指導」の研究を発表（2月14日）
昭和61年	開校10周年記念式典挙行（10月19日）
昭和63年	4代校長藤野建造氏就任（4月1日）
平成元年	県視聴覚・放送教育合同研究大会の授業公開（11月17日）
平成3年	県教育委員会推薦校及び市教育委員会研究推進校として研究を発表（11月14日）
平成5年	5代校長中島七海雄氏就任（4月1日）
平成8年	6代校長牧野征太郎氏就任（4月1日）
平成10年	7代校長庄子正彦氏就任（4月1日）
平成11年	市教育委員会教育課程等研究推進校（～12年度の2年間）
平成12年	ミレニアム2000年記念全校児童教職員集合写真航空写真の撮影（2月23日） 市教育委員会教育課程等研究推進校「生活科・総合的な学習の時間」研究発表会 （11月22日）
平成13年	8代校長藤井正巳氏就任（4月1日） C棟1階教材室、PC教室改造工事（7月～8月）
平成14年	「生活科・総合的な学習の時間」の保護者・地域への公開発表（11月9日）
平成15年	全校舎耐震補強工事及びC棟トイレ改修工事（7月～8月） 「生活科・総合的な学習の時間」の保護者・地域への公開授業（10月25日） （神奈川県教育委員会各種教育課題研究委託校）
平成16年	9代校長進士隆行氏就任（4月1日） B棟トイレ改修工事（9月） 座間市教育委員会教育課程等研究推進校受託（平成16～17年度） 「生活科・総合的な学習の時間」の公開授業（平成16～17年度）地域への発信
平成17年	開校30周年記念航空写真「かがやけ」撮影（5月10日） A棟及び職員トイレ改修工事（7月末～8月末） 開校30周年記念式典・記念音楽会（10月18日） 「生活科・総合的な学習の時間」の公開授業（11月5日）
平成18年	座間市教育課程等研究推進校「生活科・総合的な学習の時間」研究発表（2月10日） 座間市教育課程等研究推進校委託校終了（3月31日） プラネタリウム内機器修繕（10月5日）
平成19年	10代校長三浦博昭氏就任（4月1日）
平成20年	座間市小学校教育研究会発表「豊かに感じ自ら学ぶ子の育成をめざして」 ～一人ひとりの児童に寄り添う活動を通して～（全域） 神奈川県公立学校学力向上研究委託（平成20年度）（4月1日） 屋内運動場耐震改修工事（7月～12月）
平成22年	屋内運動場床改修工事（7月～8月）
平成24年	11代校長齋藤征志氏就任（4月1日）
平成25年	座間市小学校教育研究会発表「豊かに感じ自ら学ぶ子の育成をめざして」

	～一人ひとりの児童に寄り添うことを通して～（全域）（2月13日）
	家庭科室ガス配管改修工事（11月～12月）
平成26年	防災用地下貯水槽遮断弁取換工事（2～3月）
	12代校長有川正則氏就任（4月1日）
	市教育課程等研究推進委託校（1年目）
	普通教室等空調整備工事（6月～8月）
	A棟屋上防水工事（12月～3月）
平成27年	市教育課程等研究委託校（2年目）
平成28年	座間市教育課程等研究推進校「豊かに感じ、自ら学ぶ子の育成をめざして」
	～子どもたちの言葉と心をつなぐ授業作りを通して～研究発表（1月29日）
	駐車場改修工事（3月）
平成28年	13代校長宮下美江子氏就任（4月1日）
平成29年	平成29年度道徳実践研究協力校（国立教育政策研究所事業）
	プラネタリウム機械修繕
	うさぎ小屋改修工事
平成30年	平成30年度道徳実践研究協力校（国立教育政策研究所事業）
平成31年	情緒通級指導教室開設（4月）
	平成31年度実践研究協力校（国立教育政策研究所事業）
	平成31年度道徳教育抜本的改善・充実に係る支援事業
	平成31年度インクルーシブ教育校内支援体制整備事業
令和 元年	全国小学校道徳教育研究会 第42回研究発表大会にて発表
令和 2年	令和2年度 インクルーシブ教育校内支援体制整備事業
	座間市教育課程等指定研究校（1年目）
令和 3年	14代校長西條かおり氏就任（4月1日）
	座間市教育課程等指定研究校（2年目）
	放課後子ども教室「おかっ子教室」（5月）
令和 4年	「学校運営協議会」を設置（4月）
	コミュニティ・スクール「ゆずり葉」教室を設置（4月）
	給食室空調設備設置（2月）
令和 5年	照明設備LED化工事（4月）
	屋内運動場外壁工事及び屋根改修工事（6月～11月）
令和 6年	15代校長橋本恵美子氏就任（4月1日）
	A棟外壁及び屋上防水改修工事（5月～令和7年2月）
	コミュニティ・スクール「ゆずり葉」教室を閉鎖（4月）
令和 7年	創立50周年記念式典挙行（11月15日）
	座間市教育課程等指定研究校（1年目）
	B棟・C棟外壁工事及び屋上防水改修工事（6月～）

立野台小学校

昭和52年 栗原小学校より独立し、座間市立立野台小学校として開校

	学級数24 初代校長嶋津豊氏就任（4月1日）
	開校式（4月4日）
昭和53年	校旗作成・校歌制定（3月1日）
	開校記念日を5月4日と制定（3月3日）
昭和54年	屋内運動場落成（1月31日）
	昭和54年度学園緑化の指定校となる。
昭和55年	昭和55・56年度県教育委員会教育課程研究推進校及び同市教育委員会教育課程等研究推進校（国語科教育）となる。（4月5日）
昭和56年	県・市教育課程研究推進校として国語科教育の中間発表（2月10日）
	2代校長石川重利氏就任（9月1日）
昭和57年	県・市教育課程研究推進校として国語科教育の研究発表（1月28日）
昭和59年	3代校長和田重雄氏就任
	学区の一部が中原小学校として開校、児童240名移籍（4月1日）
昭和61年	開校10周年記念式典（11月1日）
昭和63年	4代校長川口博氏就任（4月1日）
	市教育委員会教育課程研究推進校図画工作科教育の指定（4月5日）
平成 2年	市教育委員会教育課程研究推進校図画工作科教育の研究発表（2月8日）
	5代校長井上收一氏就任（4月1日）
平成 4年	6代校長柴田豊氏就任（4月1日）
	平成4・5年度市国際交流教育実践研究校の指定（4月5日）
	開校記念日を6月1日に変更（12月15日）
平成 5年	市小学校教育研究会において図画工作の研究発表（2月12日）
	7代校長金子功雄氏就任（4月1日）
平成 7年	8代校長宮地春雄氏就任（4月1日）
	市教育委員会教育課程研究推進校として図画工作科教育の指定（4月5日）
平成 8年	市教育委員会教育課程研究推進校として図画工作科教育の研究発表（11月28日）
平成 9年	市小学校教育研究会において図画工作科の研究発表（2月12日）
	指定緑化事業による植栽（10種・60本）（11月）
平成10年	9代校長藤井正巳氏就任（4月1日）
平成13年	10代校長庄子正彦氏就任（4月1日）
平成14年	平成13・14年度市教育課程等研究推進校として総合的な学習の時間・生活科の研究発表（11月22日）
平成15年	市小学校教育研究会において総合生活科の研究発表（2月19日）
	平成15・16年度市国際交流教育実践研究委託校（4月5日）
	校舎東側耐震補強工事（8月）
平成16年	11代校長宅間二郎氏就任（4月1日）
	校舎西側耐震補強工事及び便所改修工事（8月）
平成17年	主要地方道県道42号藤沢座間厚木線拡幅工事に伴う2F玄関門扉改修工事（8月）
平成18年	北門改修工事（8月）
平成19年	12代校長八木正純氏就任（4月1日）

平成21年	平成21・22年度市教育委員会教育課程研究推進校として理科・生活科教育の指定 (4月5日)
平成23年	平成21・22年度教育課程研究推進校研究発表(理科・生活科)(2月4日) 屋内運動場耐震工事(7月～2月) 第33回神奈川県小学校理科教育研究大会川東地区座間大会(12月2日)
平成24年	13代校長赤井諭氏就任(4月1日)
平成25年	市小学校教育研究会において理科・生活科の発表(2月19日)
平成26年	普通教室等空調整備工事(6月～8月)
平成27年	14代校長鈴木直人氏就任(4月1日) 校舎外壁工事(6月～10月)
平成28年	平成28・29年度市教育委員会教育課程研究推進校の指定
平成29年	15代校長山近佐知子氏就任(4月1日) 放課後子ども教室「たちの教室」開設(5月8日)
平成30年	平成28・29年度教育委員会教育課程研究発表(2月2日) 国際教室開設(4月1日)
平成31年	病弱・身体虚弱学級「みどり級」開設(4月1日)
令和2年	16代校長窪田晃子氏就任(4月1日)
令和3年	令和3・4年度市教育委員会教育課程研究推進校の指定
令和4年	給食室空調設備設置(2月) 令和3・4年度市教育委員会教育課程研究発表(2月3日)
令和5年	17代校長浜田佐織氏就任(4月1日) 病弱・身体虚弱学級「みどり級」開設(4月1日) 照明設備LED化工事(8月)
令和6年	難聴級「みどり級1」開設(4月1日) 病弱・身体虚弱学級を「みどり級2」とする(4月1日)

入谷小学校

昭和53年	座間小学校より独立し、座間市立入谷小学校として開校 児童数906名、学級数24 初代校長小畑玄功氏就任(4月1日) 校歌制定(12月21日)
昭和54年	校旗作成(3月22日) 屋内運動場竣工(12月18日)
昭和56年	文部省、県教育委員会、市教育委員会推進校として、体力づくり研究発表会を開催 (11月27日)
昭和57年	増築校舎完成(6教室、第2理科室)(2月16日)
昭和58年	2代校長佐藤利孝氏就任(9月1日)
昭和61年	3代校長熊谷省自氏就任(4月1日)
昭和62年	開校10周年記念式典(10月31日)
昭和63年	4代校長福田範子氏就任(4月1日)

平成 元年	福祉教育研究発表会（１１月２８日）
平成 ３年	５代校長石川稔氏就任（４月１日）
平成 ４年	県教育委員会ふれあい教育実践推進校に委嘱される。
平成 ５年	県ボランティア協力校に委嘱される。
平成 ６年	６代校長住谷繁氏就任（４月１日）
平成 ９年	文部省及び市教育委員会の教育課程等研究推進校として、道徳教育研究発表会を開催 （２月２１日）
	開校２０周年を祝う会（６月６日）
平成１１年	７代校長宇佐正昭氏就任（４月１日） 市教育委員会国際交流教育実践研究校の指定（～１２年度）
平成１２年	８代校長石附富美夫氏就任（４月１日）
平成１３年	市教育委員会情報教育推進委託事業研究校の指定（～１４年度）
平成１５年	９代校長河野香代子氏就任（４月１日） 市教育委員会教育課程等研究推進校（～１６年度）
平成１６年	言語通級教室設置（４月１日） 市教育委員会教育課程等研究推進校として生活科・総合的な学習研究発表会開催 （１１月２６日）
平成１７年	特別支援教育推進研究協力校（県） 学校給食を生かした食育の推進事業協力校（県）
平成１９年	１０代校長赤羽孝秀氏就任（４月１日） 学校給食を生かした地産地消推進事業協力校（県） 開校３０周年記念式典（１０月２７日）
平成２１年	情緒障害児学級設置（４月１日） 小学校外国語活動研究委託校（２１年度） 市教育課程等研究推進委託校・外国語活動（２２年度） 座間市善行章受章（環境委員会）
平成２２年	１１代校長平野昭雄氏就任（４月１日） 昇降口棟及び北棟外壁改修工事
平成２３年	市教育委員会教育課程等研究推進校として、外国語活動研究発表会開催（１月２８日） 肢体不自由児学級設置（４月１日） 学力把握実践研究協力校（文部科学省）（～２年間）
平成２４年	屋内運動場耐震補強工事完了 ざま学びづくり推進事業委託校
平成２５年	学力把握実践研究協力校（文部科学省）（１年間）
平成２６年	１２代校長中木原利一氏就任（４月１日） 普通教室等空調整備工事（６月～８月） かながわ子どもスマイルウェーブ地域フォーラム開催（１１月） 校舎屋上防水改修工事（１１月～３月）
平成２７年	南棟外壁改修工事
平成２８年	１３代校長唐木田正富氏就任（４月１日）

	放課後子ども教室「入谷っ子」開設（４月）
	市教育課程等研究推進委託校・防災教育（２８年度～２９年度）
	南棟トイレ改修工事（７月～９月）
平成２９年	開校４０周年記念行事（５月１６日）
	北棟トイレ改修工事（７月～８月）
平成３０年	１４代校長西川麻里子氏就任（４月１日）
平成３１年	難聴児学級設置（４月１日）
令和　２年	入谷地区住居表示変更により学校住所変更（２月３日）
	座間市教育課程等研究推進委託校（２年度～３年度）
令和　３年	１５代校長山崎聡子氏就任（４月１日）
令和　４年	教育課程実践検証協力校（国立教育政策研究所：算数）（１年間）
	給食室空調設備設置（２月）
令和　５年	１６代校長鳥淵美和子氏就任（４月１日）
	照明設備ＬＥＤ化工事（８月）
令和　６年	国際教室開設（４月１日）
	屋外トイレ洋式化工事（１月～２月）
	南門改修工事（２月～３月）
令和　７年	１７代校長武富美由紀氏就任（４月１日）
	北棟外壁改修工事（６月～）
	座間市教育課程等研究推進委託校（７年度～８年度）

旭小学校

昭和５５年	ひばりが丘小学校の児童数増加のため、その分身校として座間市立旭小学校が設置された。
	児童数８１７名（ひばりが丘小学校から５２４名、相模野小学校から１５７名が編入学）
	学級数２２
	初代校長三矢智光氏就任（４月１日）
	校旗作成（１１月２１日）
昭和５６年	屋内運動場竣工（１月３０日）、校歌制定（３月１６日）
昭和５８年	２代校長小畑玄功氏就任（４月１日）
昭和５９年	特殊学級（情緒障害）新設（４月１日）
昭和６０年	市教育委員会教育課程等研究推進校、国語科（作文指導）研究発表会開催（１月３１日）
昭和６１年	３代校長飯塚若男氏就任（４月１日）
平成　元年	市教育委員会教育課程等研究推進校、図画工作科（絵画指導）研究発表会開催（２月２日）
	創立１０周年記念式典、正門脇に校歌石碑設置（１１月１１日）
	４代校長大矢かつ氏就任（４月１日）
平成　２年	５代校長稲井由紀子氏就任（４月１日）
平成　４年	市教育委員会教育課程等研究推進校、図画工作科（絵画指導）研究発表会開催（１２月１日）

平成 6 年	6 代校長大谷徹氏就任（4 月 1 日） 平成 6・7 年度市教育委員会国際交流教育実践研究校の委託研究
平成 8 年	市教育委員会教育課程等研究推進校（算数科）の委託研究（4 月 5 日）
平成 9 年	市教育課程等研究推進校、算数科「児童が意欲的に学習できる指導法の工夫」研究発表 会開催（2 月） 7 代校長住谷繁氏就任（4 月 1 日）
平成 10 年	算数科「児童が意欲的に学習できる指導法の工夫」市小学校教育研究会にて研究発表 文部省 座間市東中学校区道徳的实践活動推進事業委託協力校（～12 年）
平成 11 年	特殊学級 あさひ級 1 組（知的）・あさひ級 2 組（情緒）となる。（4 月 1 日）
平成 12 年	8 代校長河合寛行氏就任（4 月 1 日）
平成 13 年	国際交流教育実践研究委託校（4 月 1 日）
平成 14 年	国際交流教育実践研究委託校（4 月 1 日） 市教育課程等研究推進校～総合的な学習～（4 月 1 日）
平成 15 年	9 代校長印牧勲氏就任（4 月 1 日） 座間市教育課程等研究推進校（総合的な学習）2 年目
平成 16 年	総合的な学習「心豊かに生き生きと活動する生活科・総合的な学習の時間の創造」 研究報告会（2 月 13 日） 座間市小学校教育研究発表（2 月 18 日） 10 代校長藤井正巳氏就任（4 月 1 日）
平成 17 年	神奈川県食育推進事業受託校（4 月） 耐震補強工事（7 月）
平成 18 年	11 代校長島田克己氏就任（4 月 1 日） 平成 18 年度神奈川県食育推進事業受託校（4 月）
平成 19 年	平成 19 年度神奈川県食育推進事業受託校（4 月 最終年度）
平成 20 年	市教育委員会教育課程等研究推進校（道徳教育 2 年間）委託研究（4 月）
平成 21 年	12 代校長砂田有三氏就任（4 月 1 日） 座間市教育委員会教育課程等研究推進校として研究発表 研究テーマ「豊かな心をもつ子の育成」 サブテーマ〈子どもとともに学び高め合う道徳の授業をめざして〉（11 月）
平成 22 年	創立 30 周年記念航空写真撮影（6 月）
平成 23 年	学校教育目標の改定（4 月） 通級指導教室新設（4 月）
平成 24 年	国際教室新設（4 月）
平成 25 年	13 代校長日向野亨氏就任（4 月 1 日）
平成 26 年	特別支援学級あさひ級 3 組（知的）を増設（4 月） 座間市教育課程等研究推進委託校（体育 2 年間）委託研究（4 月） 普通教室等空調整備工事（6 月～8 月）
平成 27 年	特別支援学級あさひ級 4 組（情緒）を増設（4 月） 座間市教育委員会教育課程等研究推進校として研究発表 体育科「豊かな心を持つ子の育成」

- ～運動の楽しさを大切にしながら豊かな心を育む体育指導～（１１月）
- 平成２８年 １４代校長泉田裕氏就任（４月１日）
外壁塗装工事（８月）
- 平成２９年 特別支援学級あさひ級４組（肢体不自由）を増設（４月）
- 平成３０年 特別支援学級あさひ級５組（病弱・身体虚弱）を増設（４月）
- 平成３１年 放課後子ども教室「おひさま」開設（４月）
座間市教育課程等研究推進委託校（国語教育２年間Ⅰ委託研究（４月）
- 令和 ２年 １５代校長橋本恵美子氏就任（４月１日）
座間市教育課程等研究推進委託校等研究推進校として研究発表
国語科「豊かな心をもつ子の育成」
～伝え合う力を育成することで、自信をもって自分の考えを伝え、達成感を味わえる授業づくり～（１１月）
- 令和 ４年 校舎内に「旭児童ホーム」開設
外トイレ改修工事（７月）
給食室空調設備設置（２月）
- 令和 ５年 特別支援学級あさひ級４組（肢体不自由）閉級
照明設備ＬＥＤ化工事（８月）
- 令和 ６年 １６代校長西條かおり氏就任（４月１日）

中原小学校

- 昭和５９年 座間市立中原小学校開校
学級数１９（うち特学１）、児童数６４８名
初代校長藤野建造氏就任（４月１日）
開校祝賀運動会（５月１日）
- 昭和６０年 県学園緑化指定校となり、藤棚及び庭園の造園（２月１日）
校歌制定及び発表、並びに校旗作成（３月２日）
開校記念日を５月７日に制定（３月２５日）
- 昭和６１年 神奈川新聞「わたしたちの学校」欄掲載（３月４日）
昭和６１・６２年度県教育委員会学校安全推進校及び昭和６１・６２年度市教育課程等研究推進校となる（４月１日）
昭和６１年度二宮記念交通安全教育研究委嘱校となる（４月１７日）
第２３回全国花いっぱいコンクール優良賞受賞（１１月８日）
昭和６１年度県交通安全優良校として表彰される（１１月２１日）
- 昭和６２年 アスレチック施設（綱登り、綱の目登り、タイヤ登り、タイヤの４基）
完成（３月３１日）
安全教育発表会開催（１１月９日）
第２４回全国花いっぱいコンクール優良賞受賞（１１月２４日）
- 昭和６３年 ２代校長井上收一氏就任（４月１日）
ＰＴＡ開校５周年記念植樹（１２月１９・２０日）
- 平成 元年 県視聴覚教育・放送教育研究合同大会公開授業（１１月１７日）

平成 2年	3代校長大矢かつ氏就任（4月1日）
平成 3年	神奈川新聞「わたしたちの学校」欄掲載（2月12日） 野外学習施設みどりの広場完成（7月1日）
平成 4年	造形砂場完成（3月1日） 4代校長飯塚文男氏就任（4月1日） ドラムを利用した野外テーブル完成（4月12日） 学級園完成（8月20日）
平成 5年	飼育観察池完成（3月20日） 平成5・6年度座間市教育課程推進校となる（4月1日） 創立10周年記念式典・祝賀会（5月1日）
平成 7年	5代校長印牧勲氏就任（4月1日）
平成 9年	平成9・10年度市教育委員会教育課程等推進校となる（4月1日）
平成12年	6代校長住谷繁氏就任（4月1日） 市教育委員会国際交流実践研究校となる（～13年度）
平成15年	7代校長大石壽雄氏就任（4月1日） 「創立20周年を祝う会」（7月14日）
平成16年	「子どもキラキラタイム実践研究」健康・体力づくり校平成16年度普及校となる（4月1日） 平成16・17年度児童・生徒の心に響く道徳教育推進事業協力校となる（4月1日）
平成17年	平成17・18年度市教育委員会教育課程等推進校となる（4月1日）
平成18年	市教育委員会教育課程等推進校研究発表（11月17日）
平成19年	神奈川県公立小学校英語活動研究委託校となる。
平成20年	8代校長齋藤征志氏就任（4月1日）
平成21年	市小学校教育研究会発表会で「楽しく伝え合う外国語（英語）」について発表
平成24年	9代校長尾崎幸利氏就任（4月1日）
平成25年	平成25・26年度市教育委員会教育課程等推進校となる（4月1日） 創立30周年記念式典（5月11日）
平成26年	国際教室新設（4月） 普通教室等空調整備工事（6月～8月）
平成27年	すこやか級（肢体不自由）開設
平成28年	10代校長倉田敦子氏就任（4月1日） 南棟トイレ改修工事（6月～10月）
平成29年	なかはら2級（知的障害）開設 北棟校舎内トイレ改修工事（4月～11月）
平成30年	平成30・31年度市教育委員会教育課程等推進校となる（4月1日）
令和 元年	放課後子ども教室「かちくぼ教室」開設（5月13日） 平成30・31年度市教育委員会教育課程研究発表（11月22日）
令和 2年	11代校長田中恵子氏就任（4月1日） B・C・D棟屋上防水工事（7月～9月）
令和 4年	給食室空調設備設置（2月）

令和 5年 照明設備LED化工事（4月）
 創立40周年航空写真撮影（6月21日）
 リーディングDXスクール事業指定校となる（7月1日）
 令和4・5年度市教育委員会教育課程研究発表（11月17日）
 令和 6年 12代校長野澤慎氏就任（4月1日）
 令和 7年 座間市校内教育支援センター（ひまわり教室）開設（4月1日）

座間中学校

昭和22年 学制改革に伴い、相模原町立座間中学校として座間小学校の校舎の一部を仮校舎とし、開校
 生徒数424名、学級数9（5月5日）
 初代校長榎本西之輔氏就任（4月30日）
 校歌制定（9月23日）
 昭和23年 座間が相模原町より分町独立したため、座間町立座間中学校と改称（9月1日）
 相模原町上鶴間旧陸軍東部第88部隊跡に移転（10月12日）
 県知事内山岩太郎氏教育視察のため来校（10月27日）
 昭和25年 本校舎米軍ハウス建設指定地となったため、座間第一小学校へ一部借用移転
 昭和26年 現在地に新校舎竣工移転
 昭和30年 屋内運動場竣工（12月10日）
 昭和33年 2代校長羽田賢司氏就任（7月1日）
 昭和35年 3代校長青木寅蔵氏就任（7月1日）
 校旗作成（10月13日）
 昭和37年 県指定社会福祉研究会開催（2月21日）
 1号棟鉄筋3階建校舎竣工（4月14日）
 昭和39年 理科特別研究校の委託を受ける（4月1日）
 県実験指定校として保健体育科研究発表会を開催（11月1日）
 昭和40年 2号棟鉄筋3階建て校舎竣工（12月17日）
 昭和41年 4代校長佐藤忠夫氏就任（9月1日）
 昭和42年 座間町立西中学校創立に伴い、学区変更（4月1日）
 昭和43年 5代校長小池知治氏就任（4月1日）
 昭和44年 3号棟鉄筋3階建校舎竣工
 用務員室新築完成（4月2日）
 6代校長中山茂氏就任（9月1日）
 昭和45年 3号棟鉄筋3階建増築落成
 屋外便所新設（4月1日）
 特殊学級開設（4月1日）
 昭和46年 市制施行に伴い、座間市立座間中学校と改称（11月1日）
 昭和47年 7代校長和田泰比古氏就任（4月1日）
 座間市立東中学校創立に伴い、学区変更（4月1日）
 昭和50年 8代校長宮治裕氏就任（9月1日）
 昭和52年 座間市立栗原中学校創立に伴い、学区変更（4月1日）

	県指定技術科研究発表会開催（１１月２５日）
昭和５４年	座間市立相模中学校創立に伴い、学区変更（４月１日）
昭和５５年	９代校長増田寛氏就任（９月１日）
昭和５９年	市教育課程研究推進校（数学科）の委託を受ける（４月１日）
昭和６１年	１０代校長菊田哲夫氏就任（４月１日）
昭和６２年	技術科教室（木工、金工）１棟完成（１２月９日）
昭和６３年	パソコン教室設置（９月１日）
平成 ２年	１１代校長中村政行氏就任（４月１日）
平成 ４年	市国際交流教育研究推進校の委託を受ける（４月１日より２年間） ソフトボール用バックネット，防球用ネットの新設、北門の新設（７月２１日）
平成 ５年	１２代校長高橋衛氏就任（４月１日）
平成 ７年	県教育委員会進路指導研究校（進路指導地区推進会議）の委託を受ける（４月１日） 相談指導学級（みのり学級）開設（４月１日） 第２グラウンド整地（８月２４日）
平成 ８年	１３代校長尾山眞幸氏就任（４月１日） 耐震性貯水槽（飲料水兼用）設置（８月１５日） 創立５０周年記念碑「座間中学校校歌碑」を建立、記念式典を挙行（１０月１９日）
平成１０年	屋外便所改修工事（２月２５日） 文部省研究委託「豊かな心を育む教育推進事業」実践研究協力校及び市教育委員会教育課程等研究推進校の委託を受ける（４月１日） 座間中学校地域交流協議会設立（５月２３日） パソコン教室改修工事（８月３１日） ３号棟１階内部改修工事（９月６日） ＰＴＡが日本ＰＴＡ全国協議会会長表彰される（１１月１６日）
平成１１年	屋内運動場竣工（３月９日） １４代校長西野達雄氏就任（４月１日） ２号棟耐震工事完了（８月３１日） 文部省及び市教育委員会委託研究発表会（１１月２日）
平成１２年	市道１７号線歩道設置に伴い正門移設及び歩道のバリアフリー化（１月１７日） ３号棟耐震工事完了（８月３１日）
平成１３年	１５代校長金子楨之輔氏就任（４月１日）
平成１４年	２号棟屋上防水改修工事
平成１６年	市教育課程等研究推進委託を受ける（～１７年度）
平成１７年	１６代校長高木孝氏就任（４月１日） 市教育課程等研究推進委託研究発表会（１１月２日）
平成１８年	創立６０周年記念 航空写真撮影（１０月１６日）
平成１９年	「座間中学校地域交流協議会」設立１０周年記念式典（１２月１日）
平成２０年	１号棟解体工事開始（６月～１１月）
平成２１年	相談指導学級「みのり級」閉級
平成２１年	特別支援学級 情緒級「あおば級」開設（４月１日）

平成21年	1号棟改築工事開始（7月17日）
平成22年	1号棟改築工事終了（3月29日）
平成22年	17代校長赤羽孝秀氏就任（4月1日）
平成22年	1号棟落成記念式典（4月23日）
平成23年	座間市教育課程等推進委託校（～24年度）
平成24年	南側フェンス整備工事
平成25年	18代校長吉川俊彦氏就任（4月1日） 中庭芝張り工事完了（7月1日）
平成26年	普通教室等空調整備工事（6月～8月）
平成27年	「座間中学校地域交流協議会」文部科学大臣表彰受章（12月3日）
平成28年	19代校長小西秀人氏就任（4月1日） 創立70周年記念 航空写真撮影（4月15日） 座間市教育課程等推進委託を受ける（4月1日）（～30年度） 特別支援学級 弱視級（みのり級）開設
平成29年	3号棟外壁塗装工事（7月～8月）
平成30年	20代校長田附裕治氏就任（4月1日） 「座間中学校地域交流協議会」設立20周年記念植樹（5月24日） 2号棟外壁塗装工事（7月～8月）
平成31年	市教育課程等研究推進委託研究発表会（1月21日） 特別支援学級 病弱・身体虚弱級（いぶき級）開設（4月1日）
令和 2年	特別支援学級 弱視級（みのり級）閉級（3月31日） 国際教室開設（4月1日）
令和 3年	21代校長櫛弘之氏就任（4月1日）
令和 4年	照明設備LED化工事（8月）
令和 5年	22代校長宮崎広孝氏就任（4月1日） 2号棟及び3号棟トイレ修繕（4月～8月）
令和 7年	23代校長江崎厚史氏就任（4月1日）

西中学校

昭和42年	座間町立西中学校校舎竣工（第一期工事）（3月8日） 座間中学校の学区の一部が独立し、座間町立西中学校として開校 初代校長石井三郎氏就任 生徒数168名、学級数4 校旗作成（10月8日）
昭和43年	増築工事竣工（職員室、普通教室4、便所6） 第二期工事竣工（調理室、生物室、視聴覚教室）（3月26日） 学園緑化推進指定校（7月1日）
昭和44年	社会福祉研究指定校（4月1日） 屋内運動場、技術科室竣工（7月12日）
昭和45年	校歌制定（2月21日）

	県Pより優良PTAとして表彰（9月6日）
	県より環境美化優良校として表彰（11月28日）
昭和46年	文部省道徳教育指定校（5月11日） 2代校長曾我晃也氏就任（9月1日） 市制施行に伴い、座間市立西中学校と改称（11月1日）
昭和47年	文部省指定道徳教育研究中間報告発表会（5月10日） 文部省指定道徳教育研究発表会開催（11月22日）
昭和50年	県教育委員会の自然保護教育実験校として委託（9月）
昭和52年	図書室、技術（木工）室、昇降口竣工（2月28日） 3代校長池田穰氏就任（9月1日） 県Pより優良PTAとして表彰（9月21日）
昭和53年	全国中学生卓球大会に出場（8月17日）
昭和56年	増築工事竣工（普通教室7、音楽室、被服室、美術室、特別活動室）（3月16日）
昭和57年	市教育委員会より「学校教育目標の具現化」の研究推進校として委託される（4月） 4代校長中山達雄氏就任（9月1日）
昭和58年	文部省指定研究校（心身障害児理解推進）（4月） 市教育委員会委託研究校（学校教育目標の具現化）（4月）
昭和59年	文部省・市教育委員会指定研究校（心身障害児理解推進校）
昭和60年	文部省指定心身障害児理解の研究発表大会（2月6日） 県中学校体育大会バレーボールの部優勝（7月30日） 女子バレーボール部関東大会出場（8月7日）
昭和61年	5代校長澤田安夫氏就任（4月1日） 県中学校体育大会女子バレーボールの部優勝（2年連続）（7月30日） 女子バレーボール部関東大会出場（8月8日）
昭和62年	本館教室内・廊下改修工事、及び本館全館塗装工事（7月）
昭和63年	6代校長安藤芳夫氏就任（4月1日） 新館全館内装工事（7月）
平成 元年	平成元・2年度文部省「中学校生徒指導総合推進校」指定、平成元・2年度市教育委員会「教育課程等研究推進校」指定（5月12日） 豊川市小中公立学校校務担当者視察（12月1日）
平成 2年	平成元・2年度文部省「中学校生徒指導総合推進校」、 平成元・2年度市教育委員会「教育課程等研究推進校」研究発表会開催（10月3日）
平成 3年	7代校長内藤正徳氏就任（4月1日） 県社会福祉協議会のボランティア活動普及事業協力校となる（4月）
平成 5年	8代校長柴田豊氏就任（4月1日） 本館給水管更生工事（7月）
平成 6年	市教育委員会委託研究「個を生かす学習指導」（～平成7年度）
平成 7年	市教委委託研究発表「個を生かす学習指導」（11月7日） 調理室改修（8月）
平成 8年	9代校長青木雅博氏就任（4月1日）

	市教委委託研究「国際交流教育実践研究校」(～平成9年度)
	公共下水道工事(8月)
	耐震性水槽埋設工事(10月)
平成9年	市教育委員会「環境浄化推進校」指定 新館屋上防水工事、PC教室改修工事、保健室・事務室移設改修工事、焼却炉新設工事(8月)
平成10年	10代校長中島七海雄氏就任(4月1日)
	校庭南側歩道拡幅工事
	女子バレー部関東大会出場(8月6日)
平成11年	市教育委員会委託研究「2002年に向けた教育課程の研究」(平成11・12年度)
	本館耐震工事、保健室・心の教室相談室に空調設置(8月)
	女子バレー部関東大会出場(8月7日)
	陸上部女子駅伝関東大会出場(12月5日)
平成13年	新館耐震補強工事(7～8月)
平成15年	11代校長富田忠雄氏就任(4月1日)
	座間市情報教育推進委託研究(～16年度)
	関東少年軟式野球大会(第6回)関東大会出場(11月15日)
平成16年	スクールカウンセラー配置
平成17年	座間市教育課程等推進受託校(～18年度)
平成18年	屋内運動場耐震補強工事(7月～8月)
	市教育委員会委託研究発表「学ぶ意欲・学ぶ力を育む教科指導」(11月2日)
	特別支援教育補助員設置
平成19年	問題を抱える子ども等の自立支援事業(国)受託(～20年度)
	心のフレンド員設置
	ひまわり環境ISO認定(5月16日)
平成20年	12代校長廣瀬豊氏就任(4月1日)
平成22年	女子バレーボール部関東大会出場(8月)
	水泳個人(1名)・メドレーリレー(1チーム)全国大会出場(8月)
平成23年	正門改修工事(3月)
	13代校長木島弘氏就任(4月1日)
	女子バレーボール部全国大会出場(8月18日)
	水泳個人(2名)・男子400mメドレーリレー(1チーム)全国大会出場(8月)
	吹奏楽部東関東大会出場(9月17日)
	金工室・木工室耐震補強工事
	ひまわり実行委員会善行章授章
平成24年	かながわ学びづくり推進地域研究委託事業受託(県)
	学習指導実践研究協力事業協力校(国)(～25年度)
平成25年	14代校長川崎高一氏就任(4月1日)
	座間市教育課程等推進受託
	水泳個人(1名)関東大会出場(8月)
	水泳個人(1名)全国大会出場(8月)

	普通教室等空調整備工事（6月～8月）
平成26年	PC教室パソコンリース替え（8月） 屋内運動場AED設置（8月） かながわ子どもスマイルウェブ地域フォーラム参加（11月）
平成27年	15代校長直井恵子氏就任（4月1日） スマーナ（テネシー州）からの交流事業（7月15日・16日） 初任者研修 他校種訪問事業（2名受け入れ）（12月）
平成28年	創立50周年記念式典開催（ハーモニーホール）（10月） 屋内運動場改修工事（7月～1月）、屋内運動場ステージ幕工事（2月）
平成29年	16代校長鈴木直人氏就任（4月1日） 創立50周年記念「憩いの広場」完成（体育館北側）（4月）
平成30年	市教育委員会から教育課程等研究推進校の委託（防災教育）
令和 元年	外トイレ改修工事（8月）
令和 2年	座間市教育課程等研究推進校の委託による研究発表会（1月17日） 「自立・共生・創造に向けて豊かな心を持つ生徒の育成」 ～防災教育を含めた、自己有用感を育む教育活動～ 17代校長牧野淳志氏就任（4月1日）
令和 3年	2号棟外壁改修工事及び屋上防水改修工事（7月～9月） 校務用ノートPCリース替え（8月） 柔道個人（1名）関東大会出場（8月）
令和 4年	学校運営協議会発足 2号棟トイレ改修工事（5月～11月） 照明設備LED化設備工事（8月）
令和 5年	1号棟・昇降口棟外壁改修工事及び屋上防水改修工事（6月～11月）
令和 6年	18代校長大西さくら氏就任（4月1日） 国際教室開設（4月1日） リーディングDX推進事業研究発表（11月8日）

東中学校

昭和47年	座間中学校の学区の一部が独立し、座間市立東中学校として開校 初代校長中山茂氏就任 校長以下職員24名着任（4月1日） 生徒数526名、学級数13 開校式、第1回入学式、始業式举行
昭和48年	校旗作成、校歌制定（2月1日） 屋内運動場竣工（2月8日） 県教育委員会から社会福祉普及校に指定（4月1日）
昭和49年	校舎増築工事着工（8月1日）
昭和50年	校舎増築工事完成（3月10日）
昭和53年	2代校長佐野淳一氏就任（9月1日）

昭和55年	校舎増築工事着工（4月24日）
昭和56年	校舎増築工事完成（3月10日） 創立10周年記念式典挙行、「校歌」の歌碑建立
昭和57年	3代校長和田重雄氏就任（9月1日）
昭和59年	4代校長田中恒行氏就任（4月1日）
昭和61年	座間市立南中学校創立に伴い、学区変更 特殊学級開設 5代校長草薙司郎氏就任（4月1日） 県教育委員会から学校保健領域の研究推進校に指定（2年間）
平成 2年	市教育委員会から教育課程等研究推進校の委託（生徒指導） グラウンドに夜間照明設置（10月）
平成 3年	6代校長高橋衛氏就任 創立20周年記念式典挙行（11月16日）
平成 4年	校舎旧館外壁装塗装工事（8月） 県教育委員会から学校安全に関する研究校に指定（2年間） 県中学校体育大会総合開会式会場になる（7月27日）
平成 5年	7代校長中村政行氏就任（4月1日） 校舎新館外壁装塗装工事 ソフトボール部関東大会出場（8月） 学校安全発表大会（11月11日）
平成 6年	卒業記念植樹（桜20本、3月10日） 市教育課程等研究推進校の委託（～8年度）
平成 8年	8代校長西野達雄氏就任（2月1日） 県・市教育委員会教育課程等研究推進校の委託（道徳） 屋内運動場外壁改修工事 ソフトボール部関東大会出場（8月）
平成 9年	卓球部及び陸上競技部（個人）関東大会出場
平成10年	文部省「東中学校区道徳的実践活動推進事業」の指定を東中学校区として受ける（～12年度）
平成11年	9代校長久保田武雄氏就任（4月1日） 道徳教育資料「きらめき」に関する研究の指定を受ける（平成11年度）
平成12年	卓球部関東大会出場 文部省委嘱「東中学校区道徳的実践活動推進事業」の研究発表会開催
平成13年	西棟耐震工事 卓球部関東大会出場
平成14年	東棟耐震工事
平成15年	10代校長永島悟氏就任（4月1日） 市教育委員会教育課程等研究推進校の委託（2年間）
平成17年	市教育委員会教育課程等推進校研究発表会開催（2月10日） サッカー部県大会準優勝・関東大会出場（8月）
平成19年	11代校長島田壽美氏就任（4月1日）

	平成19・20年度「かながわイキイキスクール実践研究」受託
	女子バレーボール部「県中学校バレーボール選手権大会」準優勝（6月）
	女子バレーボール部「県総合体育大会バレーボール選手権大会」3位（7月）
	女子バレーボール部「関東中学校バレーボール大会」出場（8月）
	吹奏楽部 神奈川県吹奏楽コンクール（県大会）金賞（8月）
	吹奏楽部 東関東吹奏楽コンクール大会出場（9月）
	【個 人】関東中学校陸上競技大会男子砲丸投げ出場（8月）
	関東中学校水泳競技大会女子50m出場（8月）
平成20年	平成19年・20年「かながわイキイキスクール実践研究」受託（2年目）
	【個 人】関東中学校水泳競技大会女子50m自由形 優勝（8月）
	関東中学校水泳競技大会女子100m自由形 3位（8月）
平成21年	【個 人】関東中学校陸上競技大会男子800m出場 8位（8月）
	全日本中学校陸上競技選手権大会男子800m出場（8月）
	全日本中学校水泳競技選手権大会女子50m自由形 出場（8月）
平成22年	県最優秀健康推進校として表彰される。
	市教育課程等研究推進校の受託（2年間）
平成23年	12代校長曾根伸二氏就任（4月1日）
	【個 人】関東中学校水泳競技大会男子1500m自由形 2位（8月）
	関東中学校水泳競技大会男子400m自由形 3位（8月）
	関東中学校水泳競技大会男子100m背泳ぎ 2位（8月）
	【団 体】関東中学校水泳競技大会男子団体総合 3位（8月）
平成24年	市教育課程等研究推進校研究発表会開催（11月14日）
平成26年	国際教室開設（5月）
	普通教室等空調整備工事（6月～8月）
平成27年	13代校長日極忠氏就任
	屋内運動場改修工事（8月～28年1月）
平成28年	市教育委員会教育課程等推進校の指定を受ける（～29年度）
平成29年	金工室・木工室外壁工事及び防水工事（7月～9月）
	市教育委員会教育課程等研究推進校として研究発表会を実施（11月14日）
	「豊かな心を育む教育活動の展開～一人ひとりに確かな学力を育む ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業と環境づくり～」
	「優良PTA神奈川県教育委員会表彰」受賞
平成30年	1号棟外壁及び屋上防水改修工事（7月～9月）
令和 元年	2号棟外壁及び屋上防水改修工事（7月～9月）
令和 2年	北門改修工事（3月）
	14代校長大沢奈緒美氏就任
令和 3年	階段天井（西側、中央）修繕（1月～3月）
	2号棟2階トイレ修繕（3月）
	1号棟3、4階トイレ修繕（5月～7月）
	1号棟給水管改修工事（6月～9月）

- 創立50周年記念式典挙行（10月）
- 令和 4年 2号棟給水管改修工事实施（6月～1月）
照明設備LED化工事（8月）
市教育委員会教育課程等研究推進校として研究発表会を実施（11月2日）
「授業内評価の方法と活用～生徒の「?（疑問）」と「!（感動）」をもとに～」
- 令和 5年 エレベーター設置工事（7月～2月）
- 令和 6年 令和6年度教育課程実践検証協力校（総合的な学習の時間）
県教育委員会児童・生徒指導研究校
【個人】全日本中学校陸上競技選手権大会男子400m出場（8月）
- 令和 7年 15代校長宮崎広孝氏就任（4月1日）

栗原中学校

- 昭和52年 座間中学校と東中学校の学区の一部が独立し、座間市立栗原中学校として開校
生徒数490名、学級数13（4月1日）
初代校長中山達雄氏就任（4月1日）
- 昭和53年 校旗作成 校歌制定（2月7日）
- 昭和54年 屋内運動場竣工（2月7日）
国際児童年記念カプセル埋設（10月31日）
- 昭和56年 女子バレー部関東大会出場（8月）
卓球部全国大会ベスト8（8月）
- 昭和57年 開校5周年記念植樹“桜”（2月20日）
2代校長佐野淳一氏就任（9月1日）
- 昭和58年 校舎増築（2月28日）
- 昭和61年 3代校長増田寛氏就任（4月1日）
県大会・関東大会で男子ソフト部優勝 全国大会へ出場（8月）
開校10周年記念式典（10月12日）
- 昭和62年 県大会・関東大会で男子ソフト部優勝 全国大会へ出場（8月）
女子ソフト部全国大会で準優勝（8月）
- 昭和63年 屋内運動場内装工事、非常用給水槽設置（7月～8月）
PC設置（7月）外国人英語講師の授業開始（10月）
- 平成 元年 校庭に夜間照明灯設置（8月～9月）11月使用開始
- 平成 2年 校庭開放利用に伴う防球ネット一部張替（5月）
4代校長諸節秀夫氏就任（4月1日）
- 平成 4年 市教育委員会教育課程等研究推進校（～5年）
変電器取替（～5年8月）
- 平成 5年 5代校長内藤正徳氏就任（4月1日）
北棟校舎一部防水工事（8月～9月）
関東大会1年男子1, 500m走新記録達成
- 平成 6年 県教育委員会教育課程研究推進校・市教育委員会教育課程等研究推進校指定（～7年度）
アラーム機器取替工事 教室、廊下天井張替工事（7月）

	全国中学校水泳競技大会出場（８月）
	国民体育大会水泳競技出場（９月）
平成 ７年	県・市教育委員会教育課程研究推進校の中間発表会（１１月１１日）
	ふれあい教育事業「愛の豚汁」（第１回）実施（１月）
	全国中学校水泳競技大会出場（８月）
	県・市教育委員会教育課程推進校として研究発表会（１１月１５日）
平成 ８年	屋上防水改修工事（１１月～２月）
	６代校長中島七海雄氏就任（４月１日）
	県教育委員会いじめ問題研究推進校の指定（４月）
	特殊学級（精神薄弱）新設（４月）
	関東中学校水泳競技大会出場、全国中学校水泳競技大会出場
	ジュニアオリンピック大会出場（８月）
	教室・廊下天井張替工事（８月）
平成１０年	テニスコート防球ネット支柱補強工事（９月～１０月）
	７代校長川村忠氏就任
	市教育委員会委託研究「国際交流実践研究推進校」指定
	屋内運動場屋根改修工事（１月～３月）
平成１１年	屋内運動場床改修工事（７月～８月）
平成１２年	神奈川県教育委員会「進路指導地区研究推進校」指定
平成１３年	関東中学校卓球大会出場
平成１４年	８代校長尾山眞幸氏就任
	関東中学校卓球大会出場
	市教育委員会教育課程研究推進校
	渡り廊下耐震補強工事
平成１５年	市教育委員会教育課程研究推進校として研究発表会（１１月１３日）
	南棟耐震補強工事
平成１６年	北棟耐震補強工事
平成１７年	９代校長金子楨之輔氏就任（４月１日）
平成１８年	吹奏楽部東関東大会出場（９月１６日）
	創立３０周年記念式典祝賀会挙行（１０月２１日）
	１０代校長木島弘氏就任（１２月２３日）
平成１９年	南棟トイレ改修工事（８月～９月）
平成２０年	平成２０年問題行動等未然防止推進事業「絆（きずな）」づくり推進事業実践校
	屋内運動場耐震補強工事
	図書検索システム整備
平成２１年	屋外トイレ改築及び公共下水道接続工事（７～１２月）
	野球部：関東近県中学校選抜野球大会 準優勝（８月２２、２３日）
平成２２年	神奈川県教育委員会委託事業「神奈川県公立学校人権教育研究」指定（～２３年）
	昇降口棟トイレ改修工事（７月～８月）
平成２３年	１１代校長廣瀬豊氏就任（４月）

平成25年	12代校長赤羽孝秀氏就任（4月） 南棟・昇降口棟外壁塗装工事（6月～9月）
平成26年	普通教室等空調整備工事（6月～8月）
平成27年	市教育委員会教育課程研究推進校（27・28年度） 給食配膳室設置工事（8月） 学校給食試行開始（デリバリー方式選択式）（9月1日）
平成28年	13代校長中木原利一氏就任（4月1日） 南棟女子トイレ洋風便器設置工事（7月～8月） 金工・木工室外壁及び屋上改修工事（6月～8月）
平成29年	北棟・昇降口棟屋上防水改修工事（9月～12月）
平成30年	14代校長櫛弘之氏就任（4月1日）
令和元年	【個人】陸上部砲丸投げ関東大会第5位、全国大会出場（8月） 【団体】吹奏楽部東関東大会出場（9月）
令和2年	市教育委員会教育課程研究推進校（令和2年度・令和3年度）
令和3年	15代校長鍛代哲也氏就任（4月1日） 国際教室新設（4月） 3年教室修繕（7月～8月）
令和4年	座間市教育課程等指定研究校研究発表会（1月19日） 照明設備LED化工事（8月）
令和5年	16代校長窪田晃子氏就任（4月1日） 屋内運動場屋根・外壁・床改修工事（6月～令和6年1月）
令和6年	南棟西側及び東側階段改修工事（7月～9月）

相模中学校

昭和54年	座間中学校から独立し、座間市立相模中学校として開校 初代校長菊田哲夫氏就任 生徒数821名、学級数20 PTA設立（4月2日）
昭和55年	国際児童年記念カプセル埋設（1月21日） 校旗作成・校歌制定（2月12日） 開校記念日を2月12日と制定（2月13日）
昭和56年	校歌碑建立（1月27日） 屋内運動場竣工（2月2日）
昭和57年	国際児童年記念碑設置（3月13日）
昭和59年	相模学級開設（4月1日） プレハブ2教室設置（4月5日） 市教育委員会研究推進校受託「生徒指導研究」（～昭和60年度）
昭和61年	2代校長安藤芳夫氏就任（4月1日）
昭和62年	市教育委員会研究推進校受託「生徒指導研究」（～昭和63年度） プレハブ2教室撤去
昭和63年	防災備蓄倉庫設置（市）（1月21日）

	3代校長田中恒行氏就任（4月1日）
	創立10周年記念式典挙行（5月8日）
	外国人英語講師による巡回指導開始
平成 元年	県教育委員会研究推進校受託「情報機器活用研究」 PC教育機器の導入並びに研修開始
平成 3年	4代校長澤田安夫氏就任（4月1日） 県教育委員会研究推進校受託「学校運営のあり方研究」（～平成6年度）
平成 4年	校庭に夜間照明等設置
平成 5年	下水道本管を公共下水道に接続、浄化槽撤去
平成 6年	5代校長青木雅博氏就任（4月1日） 県社会福祉協議会協力校受託「ボランティア活動」（～平成8年度）
平成 7年	市教育委員会研究推進校受託「国際交流教育実践研究」（～平成8年度）
平成 8年	6代校長久保田武雄氏就任（4月1日）
平成 9年	県教育委員会研究推進校受託「生徒指導の研究」 市教育委員会研究推進校受託「生徒指導の研究」（～平成10年度）
平成10年	文部省調査研究委託校受託「スクールカウンセラー活用調査研究」（～平成11年度） 県教育委員会研究推進校受託「生徒指導の研究」
平成11年	7代校長尾山真幸氏就任（4月1日）
平成12年	市教育委員会研究推進校「国際交流教育実践研究」（～13年度）
平成14年	8代校長栗城信雄氏就任（4月1日）
平成15年	県教育委員会研究推進校受託（2年間）「中学校区小中学校相互交流研究」（4月1日） 東側道路拡張に伴うテニスコート整備（8月）
平成16年	県教育委員会研究推進校「中学校区小中学校相互交流研究」（4月） スクールライフ・アドバイザー配置事業開始（4月） 外国人子女日本語指導等協力者派遣事業開始（5月）
平成17年	スクールカウンセラー事業開始（4月21日） 校舎耐震工事（7月）
平成18年	9代校長平本岳男氏就任（4月1日）
平成20年	市教育委員会研究推進校受託「教育課程の研究」（～平成21年度） 相模フェスティバル30「ファイナルステージ」開催（11月1日）
平成22年	市教育委員会研究推進校研究発表「教育課程の研究」（2月5日） 10代校長石原朗宏氏就任（4月1日） 屋内運動場耐震工事（7月）
平成25年	普通教室等空調整備工事（6月～8月）
平成26年	11代校長小西秀人氏就任（4月1日） 市教育課程等研究推進委託校（平成26・27年度） 校舎外壁工事（7月～9月）
平成27年	トイレ改修工事（7月～9月）
平成28年	市教育課程等研究発表会（1月26日） 12代校長大沢奈緒美氏就任（4月1日）

平成 29 年	学校給食開始（9 月 3 日）
平成 30 年	全日本少年軟式野球大会出場、開校 40 周年記念
平成 31 年	市教育課程等研究推進校受託（～令和 2 年度）
令和 2 年	13 代校長金子憲勝氏就任（4 月 1 日）
令和 3 年	市教育課程等研究推進委託校「授業改善の研究」（1 月 20 日）
令和 4 年	学校運営協議会の設置（4 月） 照明設備 LED 化工事（8 月）
令和 5 年	14 代校長小川雅嗣氏就任（4 月 1 日）
令和 6 年	市教育委員会研究推進校受託「防災の研究」（～令和 7 年度）

南中学校

昭和 61 年	初代校長田中恒行氏就任（4 月 1 日） 栗原中学校・東中学校の学区の一部が独立し、1・2 年学年で開校 （1 学年 5 学級、2 学年 5 学級） 男子 218 名、女子 203 名、生徒数 421 名、教職員 20 名 校旗作成、開校記念日制定（10 月 1 日） 校歌制定（12 月 15 日） 南中学校教育目標の決定：心身共に健康で、実践力のある生徒の育成・他を尊重し、礼儀正しい明るい生徒・丈夫で、粘り強い生徒
昭和 62 年	男子卓球部団体の部で関東大会に出場（8 月）
昭和 63 年	2 代校長澤田安夫氏就任。市教育委員会教育課程等研究推進校「パソコン教育」受託（～平成元年度） PC 導入（6 月）
平成 元年	特集学級「みなみ学級」開設（4 月） 県学校教育放送「教師の時間」番組「生徒の手による体育祭」制作（9 月 23 日） 県視聴覚・放送教育研究会で公開授業（11 月 17 日）
平成 2 年	市教育委員会教育課程等推進校「教育機器活用」受託（～3 年度） 学校教育番組モニター校受託（1 年間） スマーナ市視察団来校（11 月 19 日）
平成 3 年	3 代校長安藤芳夫氏就任（4 月 1 日） 教育機器活用研究発表会（11 月 19 日）
平成 4 年	県教育放送研究推進校受託（2 年間） 市教育委員会教育課程等研究推進校「教育機器活用」受託（～平成 5 年度）
平成 5 年	4 代校長久保田武雄氏就任（4 月 1 日） ロシア教育研修生来校（5 月 13 日） 県学校教育放送番組「中学生の生活」の「職業しらべ」番組制作（10 月） 教育機器活用研究発表会（2 月 3 日）
平成 6 年	日本新聞協会 NIE パイロット計画推進校（社会科）受託（～平成 7 年度） 県教育研究所連盟 PC 研究会の会場、公開授業（10 月 13 日）
平成 7 年	学校教育目標（夢目標）「夢と希望を持ち、生き方を考える生徒」を追加

	スクラップコンクール学校賞受賞。創立10周年記念祝賀会（10月21日）
	県学校教育放送番組「一人ひとり意見から」－私達の校則改正－制作
平成 8年	5代校長川村忠氏就任（4月1日）
平成 9年	市国際交流教育実践研究受託（～平成10年度）
平成10年	6代校長青木雅博氏就任（4月1日）
	スマーナ市長ほか中高校生教育視察訪問（7月15日）
	心の教育相談室開設（10月）
平成11年	教育課程研究（校内研究）「生きる力を育てる教育課程の編成に向けて」総合学習の実践をめざし研究開始
平成12年	市教育課程研究推進校「生きる力を育てる新教育課程」の受託（2年間）
	文部省「スクールカウンセラー活用調査研究」の受託（1年間）
平成13年	市教育課程研究推進校「生きる力を育てる新教育課程」の受託（2年目）
	県スクールカウンセラー活用事業開始
	市情報教育推進校受託（～平成14年度）
平成15年	7代校長河合寛行氏就任（4月1日）
平成16年	文科省道徳教育推進校「児童・生徒の心に響く道徳教育推進」の受託（～平成17年度）
平成17年	文科省道徳教育推進校「児童・生徒の心に響く道徳教育推進」の受託による道徳教育推進研究発表会（11月18日）
平成18年	市教育課程研究推進校「豊かな心を育てる道徳教育の推進」の受託（～平成19年度）
平成19年	8代校長進士隆行氏就任（4月1日）
	市教育課程研究推進校「豊かな心を育てる道徳教育の推進～道徳教育と総合的な学習の時間の連携～」の受託による研究発表会（11月6日）
平成20年	特別支援学級「しらかし学級」開設（4月）
平成21年	スクールニューディール構想（ICT化）により、50インチテレビ・電子黒板等導入
平成22年	9代校長川崎高一氏就任（4月1日）
	少人数学級研究の実施（第2学年）
平成23年	少人数学級研究の実施（第3学年）
平成24年	少人数学級研究の実施（第3学年）
	屋上防水改修工事
平成25年	10代校長廣瀬豊氏就任（4月1日）
	市教育課程等研究推進校受託（～平成26年度）
	少人数学級研究の実施（第1学年）
	普通教室等空調整備工事（6月～8月）
平成26年	少人数学級研究の実施（第2学年）
平成27年	座間市教育課程等研究推進校「学び・つながり・わくわく感のある分かる授業をめざして～校内研究の活性化により授業力の向上を図る～」の受託による研究発表会（1月21日）
	11代校長赤井諭氏就任（4月1日）
	少人数学級研究の実施（第3学年）
	タイムカプセル掘り出し（8月29日）

	開校30周年記念式典（10月24日）
平成28年	グラウンド土質改良工事（5月）
	屋内運動場屋上防水改修工事（10月）
平成29年	12代校長押田典明氏就任（4月1日）
	学校給食開始（9月3日）
	校舎内トイレ改修工事（9月）
平成30年	市教育課程等研究推進校受託（～令和元年度）
	屋内運動場等トイレ改修工事（7月～8月）
令和 元年	市教育課程等研究推進委託校研究発表「考える道徳授業の創造」（11月15日）
令和 3年	13代校長小川雅嗣氏就任（4月1日）
	「学校運営協議会」を設置（4月）
令和 4年	照明設備LED化工事（8月）
令和 5年	14代校長櫛弘之氏就任（4月1日）
令和 6年	市教育課程等研究推進校受託（～令和7年度）
令和 7年	15代校長碓井浩枝氏就任（4月1日）
	国際教室開設（4月1日）
	市教育課程等指定研究発表「生徒の学ぶ力を引き出す授業づくり」（10月30日）

第10 中学校卒業者の進路状況

1 中学校別進学・就職の状況

令和4年度（令和5年3月卒業）

中学校名	卒業生数（人）			進学者数（人）			進学率（％）			就職・その他（人）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
座間中学校	99	87	186	99	87	186	100	100	100	0	0	0
西中学校	94	83	177	93	82	175	98.9	98.7	98.8	1	1	2
東中学校	99	100	199	98	100	198	98.9	100	99.4	1	0	1
栗原中学校	71	74	145	71	74	145	100	100	100	0	0	0
相模中学校	94	90	184	93	89	182	98.9	98.8	98.9	1	1	2
南中学校	68	65	133	68	64	132	100	98.4	99.2	0	1	1

令和5年度（令和6年3月卒業）

中学校名	卒業生数（人）			進学者数（人）			進学率（％）			就職・その他（人）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
座間中学校	100	73	173	100	73	173	100	100	100	0	0	0
西中学校	102	85	187	102	85	187	100	100	100	0	0	0
東中学校	97	80	177	95	80	175	97.9	100	98.8	2	0	2
栗原中学校	94	90	184	94	90	184	100	100	100	0	0	0
相模中学校	92	97	189	91	95	186	98.9	97.9	98.4	1	2	3
南中学校	61	64	125	60	64	124	98.3	100	99.2	1	0	1

令和6年度（令和7年3月卒業）

中学校名	卒業生数（人）			進学者数（人）			進学率（％）			就職・その他（人）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
座間中学校	92	93	185	90	93	183	97.8	100	99	2	0	2
西中学校	104	87	191	103	87	190	99.5	100	99.8	1	0	1
東中学校	100	95	195	99	95	194	99	100	99.5	1	0	1
栗原中学校	77	60	137	73	60	133	94.8	100	97.4	4	0	4
相模中学校	76	90	166	76	88	164	100	97.8	98.9	0	2	2
南中学校	68	60	128	67	59	126	98.5	98.3	98.4	1	1	2

2 進路状況内容

令和4年度（令和5年3月卒業）

卒業者総数 (人)		進 学 者 (人)							就職者 (人)	その他 (人)
		進 学 者 合 計	全 日 制 高 等 学 校					その他		
			県 内 公 立			県 内 立	県 外 公 立 立			
			普 通 科	専門学科等	計					
男	525	522	254	71	325	104	14	79	1	2
女	499	496	250	75	325	82	15	74	0	3
計	1,024	1,018	504	146	650	186	29	153	1	5

令和5年度（令和6年3月卒業）

卒業者総数 (人)		進 学 者 (人)							就職者 (人)	その他 (人)
		進 学 者 合 計	全 日 制 高 等 学 校					その他		
			県 内 公 立			県 内 私 立	県 外 公 立 立			
			普 通 科	専門学科等	計					
男	546	542	245	84	329	91	22	100	0	4
女	489	487	261	66	327	71	13	76	0	2
計	1, 035	1, 029	506	150	656	162	35	176	0	6

令和6年度（令和7年3月卒業）

卒業者総数 (人)		進 学 者 (人)							就職者 (人)	その他 (人)
		進 学 者 合 計	全 日 制 高 等 学 校					その他		
			県 内 公 立			県 内 私 立	県 外 公 立 立			
			普 通 科	専門学科等	計					
男	517	508	237	81	318	99	18	73	6	3
女	485	482	249	64	313	72	22	75	0	3
計	1,002	990	486	145	631	171	40	148	6	6

第 1 1 特別支援教育

本市の特別支援学級は昭和 4 2 年 4 月に座間小学校に開設されて以来 5 6 年の歴史をもつに至った。

平成 8 年 4 月には市内全校への特別支援学級設置が実現し、現在小学校に 5 5 学級、中学校に 2 4 学級設置されている。学級種別は、知的障がい学級 3 8、自閉症・情緒障がい学級 2 8、肢体不自由級 7、病弱身体虚弱学級 4、弱視級 1、難聴級 1 と児童生徒の障がいの多様化傾向を反映している。

言語教室は、相模野小学校に昭和 5 1 年度に特別支援学級として開設され、平成 5 年度より言語通級指導教室に制度化され現在に至っている。さらに、平成 1 6 年 4 月には入谷小学校にも開設されている。

また、平成 2 1 年 4 月から情緒通級指導教室も立野台小学校に開設され、LD・ADHD・自閉症等の児童生徒の指導・支援の取組を行っている。さらに平成 2 3 年 4 月からは旭小学校に、平成 2 5 年 4 月からは座間小学校に、平成 3 1 年 4 月からは相模が丘小学校にも開設され、きめ細やかな支援を行っている。

特別支援教育がめざすものは、児童生徒一人ひとりのもつ可能性を最大限に伸ばし、積極的に社会に参加できるような人間を育てることにある。交流教育を重視し、市内特別支援学級移動教室や近隣校とのブロック交流などが行われている。平成 4 年 4 月から、障がいのある児童生徒の教育の充実を図るために、小中学校に障がい児介助員、平成 1 7 年 4 月から、通常級において特別な配慮を要する児童生徒に対し、きめ細かな支援を行うために特別支援教育補助員を配置したが、令和 2 年度より名称を統一し、特別支援教育支援員とした。また、学校内外おける医療的ケア等を実施するため、看護介助員も配置している。

1 特別支援学級在籍児童生徒数

(令和 7 年 5 月 1 日現在)

学 校 名	学 級 名	開 設 年 月	種別	学 年 別 児 童 数						合 計
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	
座 間 小 学 校	つぐみ 1	昭和 4 2 年 4 月	知的	3	3	1	1	0	0	8
	つぐみ 2	平成 2 4 年 4 月	知的	0	3	4	0	1	0	8
	つぐみ 3	令和 5 年 4 月	知的	0	0	2	1	0	2	5
	つぐみ 4	令和 6 年 4 月	知的	2	0	0	2	3	0	7
	つぐみ 5	平成 3 年 4 月	自情	1	1	1	2	0	0	5
	つぐみ 6	令和 4 年 4 月	自情	0	1	3	1	1	0	6
栗 原 小 学 校	さくら 1	昭和 4 8 年 4 月	知的	5	0	0	0	0	0	5
	さくら 2	令和 4 年 4 月	知的	0	4	0	0	3	1	8
	さくら 3	令和 6 年 4 月	知的	0	2	3	2	0	0	7
	さくら 4	令和 7 年 4 月	知的	0	2	3	0	0	0	5
	わかば 1	平成 1 9 年 4 月	自情	0	1	5	1	0	0	7
	わかば 2	令和 5 年 4 月	自情	0	0	0	0	2	2	4
相 模 野 小 学 校	ひろの 1	平成 1 1 年 4 月	知的	1	0	0	4	2	1	8
	ひろの 2	令和 4 年 4 月	知的	1	3	0	2	1	1	8
	さがみの 1	平成 6 年 4 月	自情	0	2	0	1	1	0	4
	さがみの 2	令和 6 年 4 月	自情	0	1	2	0	2	0	5
	のぞみ 1	令和 6 年 4 月	病弱	0	0	1	0	0	0	1
相 武 台 東 小 学 校	たんぼぼ 1	昭和 4 8 年 4 月	知的	4	1	1	1	0	1	8
	たんぼぼ 2	令和 6 年 4 月	知的	4	1	1	1	0	1	8
	つくし	平成 2 0 年 4 月	自情	1	2	1	0	1	0	5

ひばりが丘小学校	ひばり 1	昭和 5 3 年 4 月	知的	0	1	1	2	0	1	5
	ひばり 2	平成 1 9 年 4 月	自情	0	1	2	3	0	0	6
	ひばり 3	令和 6 年 4 月	自情	0	1	3	0	0	0	4
	ひばり 4	令和 7 年 4 月	知的	3	0	0	0	2	0	5
東 原 小 学 校	あさかぜ 1	昭和 6 3 年 4 月	知的	3	0	0	1	0	2	6
	あさかぜ 2	令和 6 年 4 月	知的	0	2	3	0	0	1	6
	こだま 1	平成 9 年 4 月	自情	2	0	0	1	1	0	4
	こだま 2	令和 7 年 4 月	自情	0	1	1	1	1	1	5
相 模 が 丘 小 学 校	なかよし 1	昭和 5 1 年 4 月	知的	2	0	0	0	0	5	7
	なかよし 2	昭和 5 1 年 4 月	知的	2	1	3	1	0	0	7
	なかよし 3	令和 6 年 4 月	知的	0	3	3	0	1	0	7
	ともだち 1	平成 1 9 年 4 月	自情	0	0	3	1	1	1	6
	ともだち 2	令和 4 年 4 月	自情	1	1	0	2	2	0	6
	たんぼぼ	令和 5 年 4 月	肢体	0	0	0	0	1	0	1
立 野 台 小 学 校	たつのこ 1	平成 2 4 年 4 月	知的	2	1	1	3	0	0	7
	たつのこ 2	平成 3 0 年 4 月	知的	2	2	1	1	0	1	7
	たつのこ 3	令和 4 年 4 月	知的	2	2	1	1	0	1	7
	ひまわり 1	平成 5 年 4 月	自情	0	0	1	2	1	1	5
	ひまわり 2	令和 6 年 4 月	自情	1	1	0	0	2	1	5
	みどり 1	令和 6 年 4 月	難聴	0	0	0	0	0	1	1
	みどり 2	令和 5 年 4 月	病弱	1	0	0	0	0	0	1
入 谷 小 学 校	あおぞら 1	昭和 6 0 年 4 月	知的	1	2	1	2	2	0	8
	あおぞら 2	令和 4 年 4 月	知的	1	3	0	1	3	0	8
	そよかぜ	平成 2 1 年 4 月	自情	0	2	2	0	0	1	5
	たいよう	令和 5 年 4 月	肢体	0	0	0	1	0	0	1
旭 小 学 校	虹組 1	平成 1 1 年 4 月	知的	2	5	0	0	0	0	7
	虹組 2	平成 2 9 年 4 月	知的	1	0	0	2	0	3	6
	虹組 3	令和 7 年 4 月	知的	0	0	1	0	3	2	6
	星組 1	昭和 5 9 年 4 月	自情	1	0	1	0	2	1	5
	星組 2	令和 6 年 4 月	自情	1	0	2	2	0	0	5
中 原 小 学 校	なかはら 1	昭和 5 9 年 4 月	知的	0	4	1	0	0	0	5
	なかはら 2	令和 6 年 4 月	知的	0	0	2	0	1	2	5
	おおぞら 1	平成 9 年 4 月	自情	2	0	0	3	0	2	7
	おおぞら 2	令和 6 年 4 月	自情	0	2	0	0	4	0	6
	すこやか	令和 6 年 4 月	肢体	0	1	0	0	0	0	1
合 計				5 2	6 3	6 1	4 9	4 4	3 6	3 0 5

学 校 名	学 級 名	開 設 年 月	種別	学 年 別 生 徒 数			合 計
				1 年	2 年	3 年	
座 間 中 学 校	いずみ 1	昭和 4 5 年 4 月	知的	2	1	4	7
	あおば 1	平成 7 年 4 月	自情	2	2	3	7
	いぶき 1	令和 7 年 4 月	病弱	1	0	0	1
西 中 学 校	西 1	昭和 5 6 年 4 月	知的	0	5	1	6
	西 2	令和 7 年 4 月	肢体	1	0	0	1
	西 3	平成 9 年 4 月	自情	3	0	0	3
	西 4	令和 7 年 4 月	自情	3	1	2	6
東 中 学 校	東 1 A	昭和 6 1 年 4 月	知的	1	0	3	4
	東 1 B	令和 6 年 4 月	知的	0	2	3	5
	東 2	平成 3 0 年 4 月	自情	3	0	3	6
	東 3	令和 5 年 4 月	病弱	1	1	0	2
	東 4	令和 5 年 4 月	肢体	1	0	1	2
栗 原 中 学 校	栗原 1	平成 8 年 4 月	知的	3	1	1	5
	栗原 2	令和 7 年 4 月	知的	2	2	1	5
	芹沢 1	平成 2 4 年 4 月	自情	1	1	2	4
	芹沢 2	令和 7 年 4 月	自情	2	1	2	5
相 模 中 学 校	相模 1	昭和 5 9 年 4 月	知的	4	2	1	7
	相模 2	平成 1 1 年 4 月	自情	2	1	2	5
	相模 3	令和 5 年 4 月	肢体	0	0	1	1
	相模 4	令和 7 年 4 月	弱視	1	0	0	1
南 中 学 校	みなみ 1	平成 元 年 4 月	知的	2	1	2	5
	みなみ 2	令和 5 年 4 月	知的	0	1	3	4
	しらかし	令和 3 年 4 月	自情	2	1	3	6
	みなみ 3	令和 6 年 4 月	肢体	0	1	0	1
合 計				3 7	2 4	3 8	9 9

2 通級指導教室（言語・情緒）児童数

（令和 7 年 5 月 1 日現在）

学校名／学年		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
相模野小学校	人 数	1	5	2	3	0	1	1 2
入谷小学校	人 数	0	5	2	2	3	3	1 5
立野台小学校	人 数	0	3	5	9	7	7	3 1
旭 小 学 校	人 数	0	2	4	5	3	8	2 2
座間小学校	人 数	0	0	5	4	8	1 4	3 1
相模が丘小学校	人 数	0	2	7	9	1 2	8	3 8
合 計		1	1 7	2 5	3 2	3 3	4 1	1 4 9

3 特別支援諸学校在籍児童生徒数

(令和7年5月1日現在)

学校名／学年	小学校						中学校			合 計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
座 間 支 援 学 校	0	1	0	2	0	1	2	0	0	6
相模原中央支援学校	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
えびな支援学校	2	4	1	3	3	2	4	5	1	25
秦 野 支 援 学 校	0	0	1	0	0	1	1	0	0	3
合 計	2	5	2	5	4	4	7	5	1	35

4 特別支援学級在籍児童生徒数の推移

(令和7年5月1日現在)

年 度	小 学 校							中 学 校				総合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	合計	
26年	13	12	26	21	17	21	110	18	11	19	48	158
27年	16	18	13	29	23	17	116	20	16	12	48	164
28年	13	24	21	13	29	25	125	17	25	18	60	185
29年	21	17	26	22	13	29	128	19	18	25	62	190
30年	18	26	18	25	26	14	127	24	21	19	64	191
令和 元年	21	22	29	19	25	25	141	15	24	24	63	204
2年	20	26	24	33	23	26	152	26	16	25	67	219
3年	27	21	30	26	37	25	166	27	33	20	80	246
4年	30	33	25	33	27	43	191	22	28	34	84	275
5年	41	37	38	32	40	28	216	40	24	30	94	310
6年	58	53	45	41	38	42	277	25	40	24	89	366
7年	52	63	61	49	44	36	305	37	24	38	99	404

5 小・中学校障がい児介助員数の推移

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
小学校	12	13	13	15	16
中学校	2	3	4	3	3
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
小学校	16	18	21	20	22
中学校	6	6	6	7	7

*令和2年度から特別支援教育支援員に名称を統一しました。

6 小・中学校特別支援教育補助員数の推移

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
小・中学校	9	11	12	12	13
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
小・中学校	14	16	17	17	17

*令和2年度から特別支援教育支援員に名称を統一しました。

7 特別支援教育支援員

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
支 援 員	50	54	51	58	59	59
うち看護介助員	3	2	2	3	4	4

第 1 2 国際教室

1 国際教室の役割

近年の中南米、東南アジア諸国からの移住者の増加に伴い外国籍の児童も増えてきたため、外国籍児童の新たな学習支援として開級した。平成 19 年度に栗原小学校、平成 20 年度に東原小学校、平成 24 年度にひばりが丘小学校、旭小学校、平成 25 年度に相模野小学校、相模が丘小学校、平成 26 年度に中原小学校、東中学校、平成 28 年度に座間小学校、相武台東小学校、平成 30 年度に立野台小学校、相模中学校、令和 2 年度に座間中学校、令和 3 年度に栗原中学校、令和 6 年度に入谷小学校、西中学校、令和 7 年度に南中学校に国際教室を開級し、外国籍児童生徒にきめ細かな日本語指導を行うものである。

2 目標

- ・ 日本の言葉の理解を深め、学習の援助を図る。
- ・ 日本の文化、習慣についての理解を深め、学校生活や社会生活への適応を図る。
- ・ 母国と日本の互いの文化を理解し合い、豊かな国際感覚を養う。
- ・ 日本語がほとんど分からない児童に日常会話や学校生活の仕方などを教える。
- ・ 日常会話はできるが、日本語の「読み」「書き」が不十分な児童の指導や補習などを行う。
- ・ 通級にあたっては、各担任と相談して決め、児童生徒の実態に応じて取り出し学習を行う。

3 国際教室

母語別児童数状況

計：155人

(令和7年4月1日現在)

座間小学校	ベトナム語	2年生(1人)
	英語	4年生(1人)
	タミル語	3年生(1人) 4年生(1人) 5年生(1人) 6年生(4人)
	ウルドゥー語	5年生(1人) 6年生(2人)
	クメール語	3年生(1人)
栗原小学校	ベトナム語	2年生(1人) 6年生(1人)
	タガログ語	5年生(1人) 6年生(1人)
	中国語	4年生(1人)
	シンハラ語	3年生(1人) 5年生(2人)
	フランス語	2年生(1人)
相武台東小学校	中国語	1年生(1人)
	ベトナム語	1年生(1人)
	タガログ語	2年生(2人) 3年生(1人) 4年生(1人) 6年生(1人)
	インドネシア語	2年生(1人)

ひばりが丘小学校	スペイン語	4年生（1人） 6年生（1人）
	タガログ語	3年生（1人） 5年生（1人）
	ベトナム語	4年生（1人）
	中国語	1年生（1人）
東 原 小 学 校	モンゴル語	2年生（1人） 5年生（1人）
	ベトナム語	1年生（1人） 3年生（1人） 4年生（1人）
	タガログ語	2年生（1人） 6年生（2人）
	スペイン語	1年生（1人）
相模が丘小学校	中国語	2年生（1人） 4年生（1人）
	タガログ語	2年生（3人） 5年生（1人） 6年生（2人）
	ベトナム語	4年生（1人）
立 野 台 小 学 校	ベトナム語	4年生（1人） 5年生（1人）
	タガログ語	2年生（1人） 4年生（1人） 5年生（1人）
	中国語	2年生（1人） 6年生（1人）
	シンハラ語	4年生（1人）
入 谷 小 学 校	中国語	2年生（1人） 6年生（1人）
	タガログ語	1年生（1人） 5年生（1人）
	ビサヤ語	4年生（1人）
	タイ語	4年生（1人）
旭 小 学 校	英語	5年生（2人）
	ウルドゥー語	4年生（1人）
	ベンガル語	3年生（1人）
	タイ語	6年生（1人）
	ベトナム語	6年生（1人）
中 原 小 学 校	タミル語	1年生（4人） 2年生（2人） 3年生（2人） 4年生（3人） 5年生（3人）
	スペイン語	3年生（1人） 6年生（1人）
	英語	3年生（1人） 5年生（1人）
	ベトナム語	1年生（1人） 5年生（1人）
	タガログ語	3年生（1人） 6年生（1人）

	カンボジア語	2年生（1人）
	ベンガル語	2年生（1人）
座間中学校	タガログ語	1年生（1人） 3年生（3人）
	中国語	2年生（1人）
	ベトナム語	3年生（1人）
	英語	3年生（1人）
西中学校	ベンガル語	3年生（1人）
	タガログ語	2年生（1人） 3年生（1人）
	タミル語	3年生（2人）
	英語	1年生（1人）
	ベトナム語	1年生（2人） 2年生（1人）
	ウルドゥー語	1年生（1人） 3年生（1人）
	タイ語	1年生（1人）
東中学校	タガログ語	1年生（3人） 2年生（4人） 3年生（3人）
	スペイン語	2年生（1人） 3年生（1人）
栗原中学校	タミル語	1年生（3人） 2年生（1人）
	スペイン語	2年生（1人） 3年生（1人）
	カンボジア語	2年生（1人）
	英語	3年生（1人）
	シンハラ語	1年生（1人）
相模中学校	タガログ語	3年生（3人）
	中国語	2年生（1人）
	シンハラ語	3年生（1人）
	英語	1年生（1人）
	ベンガル語	1年生（2人）
南中学校	中国語	1年生（1人） 2年生（1人） 3年生（1人）
	英語	2年生（1人） 3年生（2人）
	タガログ語	1年生（1人）
	ウルドゥー語	1年生（1人）
	タミル語	1年生（1人）

第 13 学校保健

座間市の児童生徒の発育状況

1 平成 25 年度以降令和 4 年度に至る 3 年ごとの体位計測結果平均値の推移

年 区 分		学年別	身長 (cm)	体重 (kg)	胸囲 (cm)	座高 (cm)
男 子	平成 25	小 1	116.0	20.6	—	64.6
		小 6	145.3	37.9	—	77.6
		中 3	163.0	52.1	—	86.6
	平成 28	小 1	116.2	21.0	—	—
		小 6	144.8	38.0	—	—
		中 3	165.7	54.2	—	—
	令和 元	小 1	115.9	21.0	—	—
		小 6	144.7	37.9	—	—
		中 3	165.1	53.7	—	—
	令和 4	小 1	116.8	21.8	—	—
		小 6	145.8	39.7	—	—
		中 3	166.1	55.0	—	—
女 子	平成 25	小 1	115.7	20.5	—	64.2
		小 6	146.9	38.2	—	79.1
		中 3	156.7	50.2	—	84.6
	平成 28	小 1	115.8	20.9	—	—
		小 6	146.0	38.2	—	—
		中 3	156.7	50.0	—	—
	令和 元	小 1	115.4	20.7	—	—
		小 6	146.7	38.7	—	—
		中 3	156.5	49.6	—	—
	令和 4	小 1	116.2	21.1	—	—
		小 6	147.8	40.0	—	—
		中 3	156.6	49.5	—	—

座高については、平成 28 年 4 月 1 日付けで学校保健安全法施行規則の一部改正が行われ、必須項目から除外とされたため実施していません。

2 令和6年度小・中学校身体計測平均一覧

※県及び全国平均は令和5年度

学 年	男 子		小学校	女 子		学 年
	身長 (cm)	体重 (kg)	区 分	身長 (cm)	体重 (kg)	
1年	116.5	21.3	市 平 均	115.6	20.8	1年
	117.0	21.4	県 平 均	115.9	21.0	
	116.7	21.4	全 国 平 均	115.8	21.0	
2年	122.3	24.2	市 平 均	121.4	23.6	2年
	122.6	24.0	県 平 均	122.3	23.8	
	122.6	24.2	全 国 平 均	121.8	23.7	
3年	128.5	27.9	市 平 均	127.9	26.7	3年
	129.0	27.6	県 平 均	128.0	26.8	
	128.5	27.6	全 国 平 均	127.7	26.9	
4年	134.1	31.3	市 平 均	134.6	30.8	4年
	133.9	30.2	県 平 均	134.0	30.2	
	134.0	31.2	全 国 平 均	134.1	30.5	
5年	139.6	35.1	市 平 均	141.1	35.6	5年
	140.1	35.4	県 平 均	140.7	34.3	
	139.7	35.2	全 国 平 均	141.1	35.0	
6年	145.1	39.4	市 平 均	147.4	40.3	6年
	146.0	38.8	県 平 均	148.0	39.9	
	146.0	39.6	全 国 平 均	147.8	40.1	

※県及び全国平均は令和5年度

学 年	男 子		中学校	女 子		学 年
	身長 (cm)	体重 (kg)	区 分	身長 (cm)	体重 (kg)	
1年	154.1	44.9	市 平 均	152.5	44.1	1年
	154.1	45.1	県 平 均	152.6	43.8	
	154.0	45.3	全 国 平 均	152.3	44.4	
2年	161.1	49.6	市 平 均	155.2	47.3	2年
	161.2	49.8	県 平 均	155.4	47.2	
	161.1	50.5	全 国 平 均	155.0	47.5	
3年	165.6	54.2	市 平 均	156.7	50.0	3年
	167.0	54.5	県 平 均	156.9	48.6	
	166.1	55.0	全 国 平 均	156.4	49.6	

第 14 学校給食

当市における学校給食は、学校給食法第一条に示すとおり児童の心身の健全な発達と食生活の改善を目標にして数年にわたる調査・研究の経過を経て開始されたものである。現在小学校においては単独調理方式による学校給食を、中学校においては中学校給食（選択式）を実施している。

1 沿革

昭和35年	2月	座間第一小学校給食A型開始、給食費1人当たり	1か月400円
	5月	給食研究会設立	
昭和38年	2月	座間第二小学校、座間第三小学校給食開始、給食費一人当たり	1か月550円
	9月	昭和38年度学校給食会全国大会において座間第一小学校文部大臣賞を受ける	
	10月	昭和38年度学校給食県大会において座間第一小学校県教育委員会の表彰を受ける	
昭和41年	1月	給食費増額	1か月650円
昭和43年	4月	給食費増額	1か月800円
昭和45年	4月	相武台東小学校開校により給食開始	
	6月	給食費増額	1か月1,000円
昭和46年	4月	ひばりが丘小学校開校により給食開始	
昭和47年	3月	給食費増額	1か月1,200円
	5月	座間市学校給食研究会設立総会開く	
昭和48年	1月	パン食の併用として、実験的に月1回程度自校炊飯による米飯給食を実施	
	4月	東原小学校開校により給食開始	
昭和49年	1月	給食費増額	1か月1,500円
	6月	給食費増額	1か月2,000円
昭和51年	4月	相模が丘小学校開校により給食開始	
昭和52年	4月	立野台小学校開校により給食開始	
昭和53年	4月	入谷小学校開校により給食開始	
	10月	委託炊飯給食開始（はし持参）月2回（自校炊飯と合せ4回）	
昭和54年	1月	県教育委員会より東原小学校昭和53年度県学校給食優良校として表彰を受ける	
	4月	小学校牛乳がビン装から紙装になる	
昭和55年	1月	県教育委員会より相模が丘小学校県学校給食優良校として表彰を受ける	
	4月	旭小学校開校により給食開始	給食費増額 1か月2,600円
	10月	相模が丘小学校学校給食優良校として文部大臣賞表彰を受ける	
昭和59年	9月	中学校2学期より牛乳がビン装から紙装になる	
昭和57年	4月	給食費増額	1か月2,900円
昭和58年	9月～昭和59年	1月	
		栗原小学校給食室改善により相模野小学校、旭小学校から給食運搬	
昭和59年	2月	栗原小学校新給食室竣工により自校給食開始	
	4月	中原小学校開校により給食開始	
平成 元年	10月	給食費増額	1か月3,000円
平成 2年	5月	米飯週2回になる（自校炊飯月2回、委託炊飯月4回）	

	5月	ランチルームに強化磁器食器の導入
平成 3年	4月	給食費増額 1か月3,500円
平成 4年	11月	栗原地区野菜市組合と協議開催（以降、年1回開催）
平成11年	4月	生ごみ処理機の導入
平成12年	4月	給食費増額 1か月3,800円
平成15年	4月	スプーン導入開始
平成16年	4月	フォーク導入開始
	9月	スチームコンベクション導入開始
平成21年	4月	給食費増額 1か月4,200円
	9月	給食用食器に樹脂製食器の導入（3年間で全校更新）
平成22年	4月	栄養教諭1名配置
平成23年	4月	米飯週3回になる（自校炊飯月2～3回、委託炊飯月3～9回）
	9月	樹脂製食器導入完了
平成24年	4月	栄養教諭2名配置
平成27年	9月	東中学校及び栗原中学校に中学校給食（選択式）の試行導入
平成29年	8月	市内中学校6校に中学校給食（選択式）を導入
平成30年	4月	給食費増額 1か月4,500円
令和 3年	11月	市政50周年記念給食「ごまりん給食」の実施（座間産米全校使用）
令和 4年	9月	トイレの導入（4年間で全小学校入替済）
令和 5年	2月	全校調理室にエアコンを導入
令和 5年	4月	小学校給食費の公会計制度開始
令和 5年	9月	米飯用の食器の導入
令和 6年	4月	栄養教諭1名配置（市内4名配置）
令和 7年	4月	給食費増額 1か月5,300円

2 食に関する指導目標

望ましい食習慣と自己管理能力を高める食に関する指導の工夫改善を図る。

- ・ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることにより、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性をはぐくんでいくための基礎が培われるよう、栄養のバランスや規則正しい食生活、食品の安全性等を意識した営みが続けられるよう指導を行う。
- ・ 心身の健康に関する内容に加えて、自然の恩恵・勤労などへの感謝や食文化などについても教科等の内容と関連させた指導を行う。

3 運 営

学校給食の運営は、教育委員会の指導助言により当該学校の校長が計画し、管理し、職員を指導監督して行っている。

○ 学校給食研究会

学校給食研究会は、会長に小学校長、副会長に教頭をあて、給食主任及び学校栄養職員をもつて組織し、必要な研究会を開き学校給食の充実発展に努めている。

(ア) 給食主任部会

小学校給食主任部会は、児童に対して食事についての正しい理解と望ましい習慣を身につけさせるための研究と合わせて、食生活の合理化、栄養の改善、健康の増進を図っている。

(イ) 栄養士部会

小学校栄養士部会は、献立作成など栄養管理の研究に努めている。

栄養管理・・・学校給食の目標にてらし健康なからだ作りのため栄養価での十分な配慮。

献立作成・・・学校給食摂取基準の確保。

季節の食品と他の食品との組み合わせ。食品衛生に留意。

4 給食費

小学校 月額 5,300円 年額 58,300円 (5,300円×11ヶ月)

年間 181食 一食平均 322円 (令和7年度)

中学校 学校行事により各校学年に多少の差があり、ミルク給食の年間総額は、6,000円程度である。中学校給食(選択式)は一食あたり320円

5 食事内容

基準献立作成にあたり特に次の点に注意している。

- (1) 集団給食であるため限度はあるが、できるだけ手作りにする
- (2) 学校給食摂取基準、標準食品構成表を確保するよう努めている
- (3) できるだけ無添加の食品を使用する
- (4) 食品本来の味を引き出すため化学調味料は使用しない
- (5) できるだけ旬の食品を使用し季節感を出す

児童1人1回当たりの学校給食摂取基準

(8歳～9歳の場合)

(令和3年4月1日改正)

エネルギー (kcal)	650
たんぱく質 (%)	摂取エネルギー全体の13～20%
脂 質 (%)	摂取エネルギー全体の20～30%
ナトリウム (食塩相当量g)	2未満
カルシウム (mg)	350
鉄 (mg)	3
ビタミンA (μgRAE)	200
ビタミンB1 (mg)	0.4
ビタミンB2 (mg)	0.4
ビタミンC (mg)	25
食物繊維 (g)	4.5以上
マグネシウム (mg)	50
亜 鉛 (mg)	2

6 食に関する指導

- (1) 学校での取り組み
 - ア 各教科での指導
 - イ 給食時の指導
 - ウ 学校保健委員会での取り組み
- (2) 家庭・地域との連携
 - ア 献立表、給食だよりの配布
 - イ 給食試食会
 - ウ 夏休み親子料理教室
- (3) その他
 - ア 地産地消事業の推進（地元野菜の導入）
 - イ できるだけ国産の食品を使用する
 - ウ 神奈川県学校給食を活用した地産地消推進事業への参加
平成17・18・19年（3年間）入谷小学校、旭小学校が協力校に

V 教育研究所事業概要

1 教育研究所の設置目的

変転する時代の要請や教育の動向を踏まえ、座間市教育の改善と向上を図ることを目的として、教育に関する専門的及び技術的事項の調査研究並びに教育関係職員の研修等の事業を行う。

2 運営方針

- (1) 本市の教育に関する調査研究を行い、本市の教育に役立てる資料を作成する。
- (2) 教職員の資質向上並びに市民の教育に対する理解を図るための専門的・技術的研修を行う。
- (3) 地域に根ざした教育活動を展開するための出版広報事業を推進する。
- (4) 教育研究に対応するための図書や資料を収集・整理する。
- (5) 教育の個性化・多様化に応ずる教材の開発・蓄積・提供を行い、交流を促進する。
- (6) 本市の教育の歴史を後世に伝えるため、教育史の編さんをすすめる。
- (7) 児童生徒の教育相談及び学校の教育相談を援助する。
- (8) 主に心理的な要因による不登校児童生徒が学校復帰や社会的自立に向け、教育支援教室事業を推進する。
- (9) 多様な教育的ニーズに応えるため、特別支援学級における支援体制整備と、きめ細かい就学相談を行う。また、特別支援諸学校との連携に努める。

3 機 構

- | | | |
|------------|-------|---|
| (1) 研 修 | | ① 教職員研修事業 |
| (2) 研 究 | | ① 教育研究事業
② 教育情報提供事業
③ 教育史編さん事業 |
| (3) 教育相談 | | ① 教育相談事業
② 教育支援教室事業 |
| (4) 情報教育 | | ① 情報教育推進事業 |
| (5) 特別支援教育 | | ① 特別支援教育事業（通級指導教室含む）
② 就学相談
③ 教育支援委員会運営 |
| (6) 管 理 | | ① 人事・服務
② 一般管理
③ 経理・財務 |
| (7) 渉 外 | | ① 関係機関 |

職員構成

所 長.....総括、研修、渉外、管理
研究相談係長.....事業計画立案・調整、渉外、その他
指導主事(5名).....研究、研修、教育相談、情報教育、教育情報提供、
特別支援教育、就学相談
専任教員.....不登校児童生徒教育支援・教育相談
事務補佐員.....財務庶務
情報教育アドバイザー(2名).....研究、教育情報提供
教育史編集員.....教育史編さん

教育史調査員・・・・・・・・・・教育史編さん
 教育史調査補助員（２名）・・・・教育史編さん
 教育相談員・・・・・・・・・・教育相談
 教育心理相談員（３名）・・・・教育相談
 学校教育心理相談員（９名）・・・・教育相談（学校配置）
 スクールソーシャルワーカー・・教育相談
 《以下、ＳＳＷ》
 家庭訪問相談員・・・・・・・・・・不登校児童・生徒教育支援
 教育支援員・・・・・・・・・・不登校児童・生徒教育支援
 専任助手（３名）・・・・・・・・・・不登校児童・生徒教育支援
 特別支援教育支援員（５５名）
 看護介助員（２名）

4 事業内容

（１）研 修

教職員研修事業

- ア 社会科教育研修講座（１回）
地域学習の充実を図るための講義及び野外研修
- イ 理科教育研修講座（１回）
理科資料集を有効に活用するための研修
- ウ 環境教育研修講座（１回）
環境教育に関わる研修（磯の生き物）
- エ 情報教育研修講座（１回）※出張研修、オンライン研修は含まず。
情報教育を効果的に推進するための講義及び実技研修
- オ 教育相談研修講座（２回）
学校における教育相談のあり方等講義や演習を通して学校教育相談の充実を図る研修
- カ 外国語教育研修講座（２回）
小学校外国語活動と中学校英語教育に関わる研修
- キ 授業づくり研修講座（２回）
教科教育の充実を図るための研修
- ク 教育教養研修講座（２回）
教育のあり方を広い視野で考え、教育実践の充実を図る研修

講座名等 (回)	内 容	対 象	期 日	講 師
社会科教育 研修講座 (1)	地域学習～市内めぐり～ ＊マイクロバス利用	希望者	8/22（金） PM	浅野 寛 氏 他
理科教育 研修講座 (1)	理科資料集「自然はおもしろい」の活用について 会場：５－２会議室	小１名以上 未受講者を中心に	6/19（木） PM	座間の自然研究員
環境教育 研修講座 (1)	「磯の生き物」 会場：真鶴方面	各校希望者	8/5（火） 全日	横浜国立大学大学院教授 菊池 知彦 氏

講座名等 (回)	内 容	対 象	期 日	講 師
情報教育 研修講座 (3)	「校務 DX に向けて」 ※各校での実施を検討中	市内小・中学校 教職員	各校と日程 調整	教育研究所 情報教育アドバイザー
	「ICT の利活用について」 会場：オンライン開催	各校 1 名以上	7/23 (水) AM	認定 NPO 法人ほっかい どう学推進フォーラム 理事長 新保 元康 氏
	「授業での端末活用 Google Workspace for Education Plus (有償版) でできること」 会場：5-1 会議室	各校 1 名以上	7/23 (水) AM	Google 関係者
教育相談 研修講座 (2)	育てるカウンセリング演習講座 会場：4-2・3 会議室	各校 1 名以上	8/18 (月) 全日	明治大学教授 諸富 祥彦 氏
	支援教育基礎研修 会場：4-2・3 会議室 「座間市の支援教育について」 「教育相談・教育支援教室 (つばさ) について」 「特性のある児童・生徒の理解と支援」	2 年目の教員 (昨年度の初任者) および各校希望者	8/22 (金) AM	教育支援教室専任教員 ・ 教育相談員 座間支援学校 ・ 地域支援担当者
外国語教育 研修講座 (1)	「小中連携の推進」 会場：5-4・5 会議室	各小学校 1 名以上 中：希望者	7/28 (月) PM	東京学芸大学教授 粕谷 恭子 氏
外国語教育 研修講座 (2)	「中学校外国語の評価および作問について」 会場：5-4・5 会議室	各中学校 1 名以上 ・ 外国語教育研究員 ・ 英語専科担当者 小：希望者	12/26 (金) AM	神奈川大学教授 久保野 雅史 氏
授業づくり 研修講座 (2) ※連続講座 ではない。	「論理的な文章を書く力を高める指導」 会場：5-4・5 会議室	各校 1 名以上	7/28 (月) AM	東京学芸大学教授 中村 和弘 氏
	「今日的な課題から文章を書く力を高める指導」 会場：5-5 会議室	各校 1 名以上	12/25 (木) AM	
教育教養 研修講座 (2)	第 1 回 教育相談 会場：4-2・3 会議室	各校 1 名以上 市民	8/18 (月) AM	神奈川県立精神医療セ ンター精神科認定看護 師 中谷 将 氏
	第 2 回 座間の教育史 会場：4-2・3 会議室	各校 1 名以上 市民	8/18 (月) PM	教育史編集員 浅野 寛 氏

(2) 研 究

ア 教育研究事業

- (ア) 社会科学習資料に関する調査研究
副読本の見直しに関する調査研究を行い、教育資料を作成する。
- (イ) 座間の自然に関する調査研究
理科資料集「自然はおもしろい」に関する調査研究を行い、教育資料を作成する。
- (ウ) 教育課題に関する調査研究
教育の今日的課題に関する調査研究を行い、教育資料を作成する。【休止中】

- (エ) 環境教育に関する調査研究
環境教育に関する調査研究を行い、教育資料を作成する。【休止中】
- (オ) 情報教育に関する調査研究
情報教育に関する調査研究を行い、情報教育推進への支援活動を行う。
- (カ) 教育相談に関する調査研究
学校教育相談に関する調査研究を行い、教育資料を作成する。【休止中】
- (キ) 教育史に関する調査研究
本市の教育の歴史について調査研究を行う。【休止中】
- (ク) 外国語教育に関する調査研究
小学校外国語活動から中学校英語へのスムーズな連携に関する調査研究を行う。
- (ケ) 道徳教育に関する調査研究
特別な教科「道徳」の授業および評価等に関する調査研究を行い、教育資料を作成する。
- (コ) 指導法等に関する個別課題の調査研究
教育課程の実施に伴う指導上の諸問題に関して、教育実践を踏まえた個別の課題研究を行う。
- (サ) 情報教育アドバイザーが、コンピュータ等を活用した教育活動に支援を行う。

名 称	内 容	参 加 対 象	期日・会場	講 師
第35回座間市教育研究所研究発表会・教育講演会	1 小学校社会科研究員会の発表 2 教育講演会 『本とつながる 本をつなげる』	各校管理職を含む 5名程度 (研究員を除く)	8/20(水) サニープレイス座間: 多目的室	1 小学校社会科研究員 2 升水 由希 氏

イ 教育情報提供事業

- (ア) 地域学習や郷土理解に関する副読本・学習資料の刊行を行う。
- ・ 小学校社会科副読本「わたしたちの座間」
 - ・ 理科資料集「自然はおもしろい」
 - ・ 環境学習ガイドブック「わたしたちと環境」
 - ・ 中学校社会科資料集「座間」
 - ・ 学習資料「白地図」
 - ・ 「郷土の先人に学ぶ」
- (イ) 調査研究の成果をホームページに掲載する。
- ・ 研究紀要、教育研究の掲載
- (ウ) 教育研究所の紹介等の広報活動を行う。
- ・ 研究所報（125号・127号・127号）の発行
 - ・ 教育研究所要覧の発行
 - ・ 教育相談の案内の発行
 - ・ 教育研究所ホームページにて沿革・研修講座・ビデオライブラリー等を紹介する。
- (エ) 研究文献や研究実践記録などの情報資料を蓄積・整理し、教育研究や指導への活用を図る。
- (オ) 視聴覚教材の開発研究と蓄積・提供・流通を図る。
- (カ) 教育活動に有効と思われるWebコンテンツの紹介及び配信を行う。

ウ 教育史編さん事業

- (ア) 座間市域における教育史資料を収集・整理する。
- (イ) 「座間市教育史 通史編」発刊に向けて、教育史編さんを行う。

(3) 教育相談

ア 教育相談事業

- (ア) 電話・来所による教育相談により、児童・生徒の教育相談及び学校の教育相談を援助する。
- (イ) 小・中学校を巡回し、教職員や保護者から、児童・生徒の問題や指導に関わる教育相談を受け、問題の解決や回復のための助言や援助を行う。
- (ウ) 教育相談のあり方について専門家（スーパーバイザー）の指導や助言を受ける。
- (エ) 教育相談コーディネーター会議を開き、情報交換や教育相談について各校との連携を深める。
- (オ) 教育心理相談員を配置し、教育相談員と連携を図りながら課題の解決を図る。
- (カ) 教育心理相談員を配置し、特別な配慮を要する児童・生徒の発達検査や行動観察を行い、教職員や保護者が児童・生徒に適切な支援ができるよう助言を行う。
- (キ) 市内全小学校に学校教育心理相談員を配置し、教育相談および支援の充実を図る。
- (ク) 市内全中学校にスクールカウンセラーを配置し、活用事業を行う。（国・県事業）
- (ケ) 市のＳＳＷを配置し、県のＳＳＷと連携を図りながら諸問題に対応する。
- (コ) 心のフレンド員を中学校６校に派遣し、不登校対策を図る。
- (サ) 不登校支援教育相談員を派遣。
不登校児童・生徒の登校支援、別室での学習支援、相談対応。
- (シ) 不登校児童・生徒のための居場所を設置。
生活、学習面での支援や相談、登校支援等にあたる。
- (ス) 校内教育支援センターを４校に設置、支援員を派遣し学習支援、相談対応にあたる。

イ 教育支援教室事業

- (ア) 主に心理的要因により学校生活に適應できない不登校児童・生徒を対象に、教育支援等を行う。
- (イ) 学校訪問要請相談等により相談ケースについての解決・回復のための助言や援助を行う。
- (ウ) 教育支援教室のあり方について、専門家（スーパーバイザー）の指導や助言を受ける。
- (エ) 教育支援教室に「教育支援員」「専任助手」を配置し、きめ細かな支援および指導の充実に努める。
- (オ) 家庭訪問相談員を配置し、家に引きこもり、家族との関わりしかもてない児童・生徒に対して、定期的・継続的な支援を行う。

(4) 情報教育

ア 情報教育推進事業

(ア) GIGAスクール構想の実現

(イ) ICT支援員の小・中学校への配置（週1回程度）（委託業務）

- ・ 教職員によるプログラミング教育の推進およびICTを活用した教育活動を支援する。

(ウ) 情報教育アドバイザー

- ・ GIGAスクール構想の実現およびICTを活用した教育環境整備等について、助言する。
- ・ 教育委員会が主催する研修会等について助言する。

(5) 特別支援教育事業

ア 特別支援教育支援員

(ア) 市内小・中学校の特別支援教育の充実を図る

- ・ 特別支援教育支援員派遣 55人
- ・ 看護介助員派遣 2人

イ 通級指導教室

(ア) 座間市言語通級指導教室 2校に設置（相模野小学校・入谷小学校）

(イ) 座間市情緒通級指導教室 4校に設置（座間小学校・立野台小学校・旭小学校・相模が丘小学校）

(6) 就学相談

- ・ 児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、きめ細かな就学相談・支援を行う。

(7) その他

- ・ 神奈川県教育研究所連盟および関係機関の大会、研究会、研修会等への参加

VI 生涯學習

施設・設備

1 市立公民館

公民館名	座間市公民館			北地区文化センター			東地区文化センター		
所在地	入谷西二丁目 5 3 番 3 4			相模が丘五丁目 3 0 番 4			東原三丁目 1 番 1 号		
敷地面積	1,518.59 m ²			1,727.78 m ²			3,003.94 m ²		
延べ床面積	1,654.80 m ²			1,167.93 m ²			1,520.73 m ²		
構造	鉄骨ラーメン構造 3 階建			鉄筋コンクリート 2 階建			鉄筋コンクリート 2 階建		
開館日	平成 8 年 1 1 月 2 1 日			昭和 5 2 年 4 月 1 日			昭和 5 6 年 4 月 1 日		
施設の概要	室名	(m ²)	(人)	室名	(m ²)	(人)	室名	(m ²)	(人)
	講座室	70	40	第 1 会議室	21	12	第 1 集会室 (ホール)	252	250
	会議室	70	40	第 2 会議室	31	15	第 2 集会室	50	25
	小会議室	45	20	講座室	78	60	第 3 集会室	72	40
	実習室	65	30	実習室	48	30	学習室	77	60
	休養室 (和室)	60	60	和室	81	60	実習室	60	30
	歴史民俗資料	42	—	ホール	217	250	休養室 (和室)	61	30
	集会室	258	200	図書室	48	—	図書室	165	—
	日本間	80	60	児童室	48	—	保育室	44	—
	図書室	100	—						

2 市民文化会館

名 称	座間市立市民文化会館 (ハーモニーホール座間)		
所 在 地	緑ヶ丘一丁目 1 番 2 号		
建築面積等	敷地面積 10,556.57 m ² 建築面積 5,946.08 m ² 延べ床面積 17,385.00 m ²		
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、地下 2 階地上 2 階		
駐 車 場	屋内 1 9 6 台 (市庁舎共用) 駐輪場有り		
竣 工	平成 7 年 8 月 2 6 日	開 館 日	平成 7 年 9 月 5 日
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大ホール ……………客席数 1, 3 1 0 席(車椅子席 6 席対応) 1 階席 9 4 6 席(オーケストラピット使用時 8 1 0 席) 2 階席 3 6 4 席 楽屋 6 室(定員 5 6 人) ・ 小ホール ……………客席数 4 1 0 席 可変式ステージ 楽屋 2 室(定員 2 8 人) ・ リハーサル室 ……… 1 4 8 m²(分割利用可) ・ 練習室 …………… 2 室各 9 4 m² ・ ギャラリー ……… 1 6 9 m²(分割利用可) 壁面総延長 1 0 0 m ・ 常設展示室 ……… 5 8 m² ・ 大会議室 ……… 1 2 4 m² 定員 6 4 人 ・ 中会議室 ……… 8 5 m² 定員 4 5 人 ・ 小会議室 ……… 6 8 m² 定員 1 6 人 ・ 大和室 …………… 3 2 畳 ・ 小和室 …………… 1 6 畳(炉、水屋付き) ・ 喫茶コーナー ……… 2 0 席 		

3 市立図書館

名 称	座間市立図書館
所 在 地	座間市入谷東一丁目3番1号
建築面積等	敷地面積 5,577.55 m ² 延面積 3,524.00 m ²
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階・地上2階
蔵 書 数	406,851冊
移動図書館箇所数	16箇所
工 期	着工昭和56年10月、竣工昭和58年3月
開 館 日	昭和58年4月5日
最大収納冊数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般開架スペース …………… 90,000冊 ・ 児童開架スペース …………… 20,000冊 ・ 郷土資料開架スペース ……… 8,000冊 ・ 参考図書室 …………… 15,000冊 ・ 移動図書館用書庫 …………… 20,000冊 ・ 保存書庫 …………… 350,000冊

4 視聴覚ライブラリー

所 在 地	座間市入谷東一丁目3番1号（市立図書館内）
-------	-----------------------

5 社会体育プール

プール名	所在地	構 造	規模 (m)	敷地面積 (m ²)	開設年月日
立 野 台 プ ー ル	立 野 台 1 - 1 - 2	S U S	25×15	1, 474	昭和37年8月15日
座 間 公 園 プ ー ル	座 間 1 - 3 6 7 1	F R P	25×15	1, 471	昭和39年7月15日
広 野 プ ー ル	広野台 1 - 3 7 - 1	コンクリート	25×15	1, 710	昭和42年7月22日
東 原 プ ー ル	東 原 3 - 3 - 1 4	鋼 板	25×15	1, 530	昭和44年8月4日
ひばりが丘プール	ひばりが丘 4 - 4 - 3	鋼 板	25×15	1, 838	昭和51年7月29日
相 武 台 プ ー ル	相武台 4 - 2 - 1 3	アルミ製	25×15	1, 607	昭和51年8月3日
相 模 が 丘 プ ー ル	相模が丘 2 - 1 - 9	F R P	25×15	1, 465	昭和57年4月1日
入 谷 プ ー ル	入谷西 5 - 4 3 - 1	アルミ製	25×15	1, 982	昭和58年4月1日
旭 プ ー ル	ひばりが丘 5 - 2 8 - 5	アルミ製	25×15	2, 498	昭和60年4月14日
中 原 プ ー ル	西栗原 2 - 1 4 - 1	アルミ製	25×15	1, 917	昭和62年4月1日

6 野球場等

名 称	所在地	面積(㎡)	開設年月日	備 考
新田宿グラウンド	新田宿 2 1 7 8	19,406	昭和55年5月1日	軟式野球
座間市民球場	相模が丘 6-36-24	16,269	昭和55年11月1日	軟式野球
相模川グラウンド	座間入谷 4 4 6 8	80,452	昭和60年5月1日	サッカー、ソフトボール 少年野球、その他
栗原遊水地 スポーツ広場	栗原 1 7 0 2-3	14,746	平成10年8月1日	少年野球、ソフトボール
ニュースポーツ 多目的広場	四ツ谷 1 0 4 4-1	3,222	平成16年6月1日	ターゲットバードゴルフ、 グラウンドゴルフ、その他

7 テニスコート

名 称	所在地	構 造	コート数 (面)	面積(㎡)	開設年月日
ひまわり公園テニスコート	入谷東 1-6-3	クレーコート	4	2,538	昭和52年5月15日
		オムニコート	2	1,292	昭和54年11月1日
栗原遊水地テニスコート	栗原 1 7 0 2-3	ハードコート	2	1,296	平成9年8月22日
座架依橋壁打ちテニス 練習場	座 架 依 橋 下	—	1	360	平成17年7月1日

8 市民体育館

名 称	座間市立市民体育館（スカイアリーナ座間）
所 在 地	相武台一丁目 4 7 番 1 号
建築面積等	敷地面積 7,631 ㎡ 建築面積 5,048 ㎡ 延床面積 19,377 ㎡
構 造	鉄筋コンクリート一部鉄骨構造 地下1階 地上5階
駐 車 場	136台 駐輪場48台
開 館 日	平成6年11月1日
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> 大体育室……………バレーボール4面 バスケットボール3面 バトミントン12面 卓球30台 体操9種目対応 観客席2,136席（移動席含む） 中体育室……………バレーボール2面 バスケットボール1面 バトミントン6面 卓球18台 体操7種目対応 武道室……………柔道2面 剣道2面 弓道室……………近的競技28m対応 5人立 トレーニング室………トレーニング機器55種 体力測定器具等 ミーティングルーム…1階 1室（2分割可） ジョギングコース……4階 1周220m その他……………放送室 更衣室 保健室 幼児体育室 喫茶コーナー

9 青少年センター

平成9年4月6日に開館（県より移管）し、令和6年度末に廃止。

10 清川自然の村

平成3年8月6日に開村し、平成23年度末に廃止。

11 その他生涯学習関連公共施設

名 称	所在地	構 造	延床面積 (㎡)	開設日	所 管
立野台 コミュニティセンター	立野台3-14-12	鉄筋コンクリート2階建	924.8	平成2年4月	地域づくり部
新田宿・四ツ谷 コミュニティセンター	四ツ谷1026	鉄筋コンクリート2階建	863.9	平成3年4月	地域づくり部
小松原 コミュニティセンター	小松原1-45-14	鉄筋コンクリート2階建	885.4	平成4年4月	地域づくり部
東原 コミュニティセンター	東原4-13-13	鉄筋コンクリート2階建	911.3	平成5年9月	地域づくり部
相模が丘 コミュニティセンター	相模が丘3-38-1	鉄筋コンクリート2階建	949.3	平成8年11月	地域づくり部
相武台 コミュニティセンター	相武台3-20-18	鉄筋コンクリート2階建	903.4	平成9年10月	地域づくり部
ひばりが丘 コミュニティセンター	ひばりが丘1-49-1	鉄筋コンクリート2階建	950.7	平成15年11月	地域づくり部
栗原 コミュニティセンター	栗原中央3-29-17	鉄筋コンクリート2階建	883.6	平成21年12月	地域づくり部
市民健康センター	緑ヶ丘1-1-3	鉄筋コンクリート2階建	2,094.3	平成8年8月	健康部
サニープレイス座間	緑ヶ丘1-2-1	鉄筋コンクリート3階建 一部鉄骨造	3,668.26	平成13年4月	福祉部

12 市内中学校屋外運動場照明設備

学校名	照明塔数 (基)	設置年月日	照度(ルクス)	運動場面積 (㎡)	主な利用種目
栗原中学校	7	平成元年10月13日	300～500	10,438	サッカー、ラグビー、軟式野球
東中学校	8	平成2年11月2日	300～500	16,502	サッカー、ラグビー、軟式野球
相模中学校	7	平成4年10月8日	300～500	12,177	サッカー、ラグビー、軟式野球